

## ウォシュレット® ネオレストハイブリッドシリーズ手洗器付（ワンデーリモデル）

カウンタータイプ 壁排水

手洗器Mサイズ（UWL \* WAM/UWL \* AAM/UWL \* MAM/UWL \* HAM）

Sサイズ（UWL \* WAS/UWL \* AAS/UWL \* MAS/UWL \* HAS）

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

製品の機能が十分発揮できるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

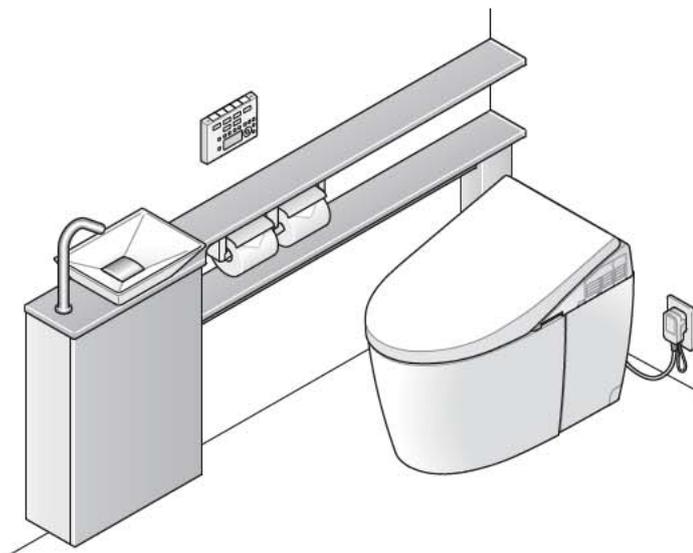
本書は手洗器が左勝手を基準に説明しております。本書に記載の寸法の単位はmmです。

下記商品の取り付けは、各商品に同梱の施工説明書を参照してください。

〈ウォシュレット・タオル掛け（壁付タイプ）・手すり・化粧鏡〉



### 商品タイプの確認 2



#### 情報編

3

- |              |    |
|--------------|----|
| 1. 安全上のご注意   | 4  |
| 2. 取り付け前のご注意 | 6  |
| 3. 部品の確認     | 12 |

#### 手順編

19

施工ダイジェストを見る

<http://su.toto.com/csf00012>

※通信料がかかります。

※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。



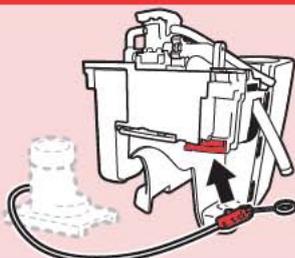
必ず  
実施

### 工事店様へ

従来にはない施工が必要です。排水ソケットに付いている手動レバーを必ず便器に取り付けてください。▶P.60

#### 従来製品からの主な注意点

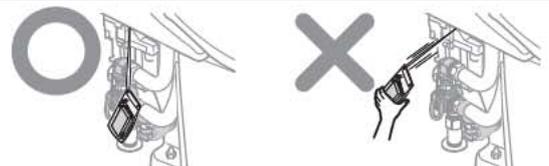
##### ①便器取り付け前に手動レバーを取り付ける



正しく取り付けられていないと、ブザー音が鳴り、ランプがすべて点滅します。

▶P.60

##### ②停電時に使用するため電池ボックスは取り外さない



※袋のヒモが切れてしまった場合は、もう一方の穴に通して取り付けください。

取扱説明書の最終ページの保証書に、必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡ししてください。お渡しできない場合は、目立つ場所に置いてください。

取り付け後、ウォシュレットの機能、使いかたなどについてお客様にご説明をお願いいたします。

新築などでお客様に引渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。

# 商品タイプの確認

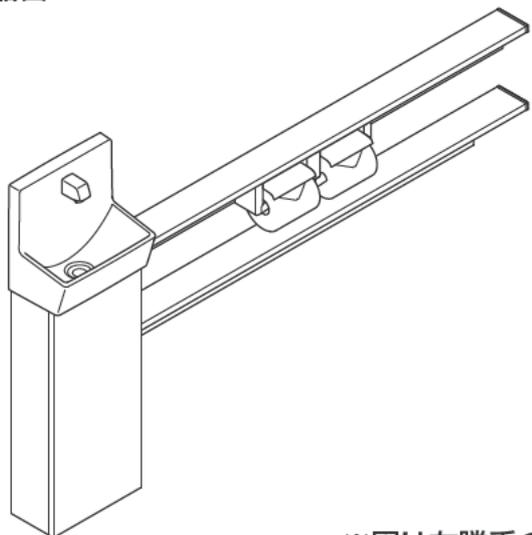
商品タイプにより施工手順が異なります。

お施主様のお宅は、どのタイプですか？

## 手洗器タイプ

### Sサイズ

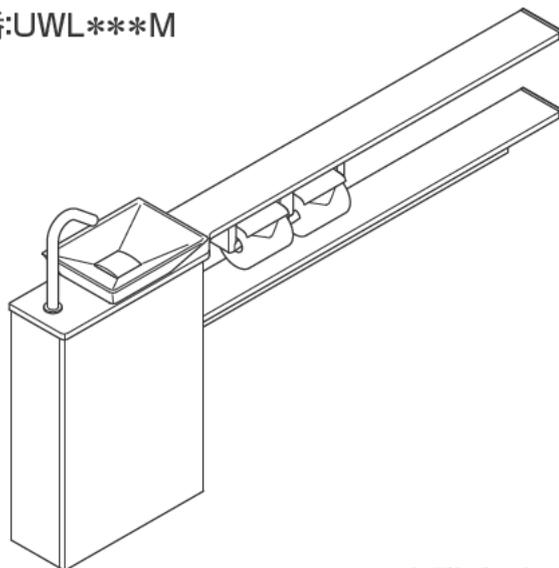
品番:UWL\*\*\*S



※図は左勝手の場合

### Mサイズ

品番:UWL\*\*\*M

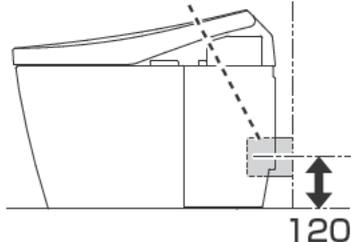


※図は左勝手の場合

## 給排水タイプ

### 後ろ抜き

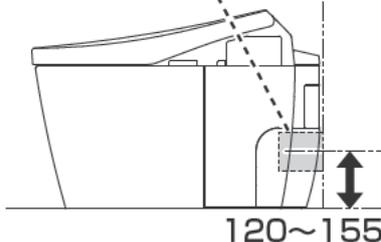
品番:UWL\*W  
給水新設(隠ぺいタイプ)



120

### 後ろ抜きリモデル

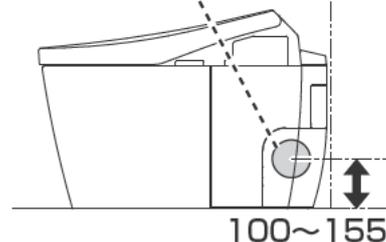
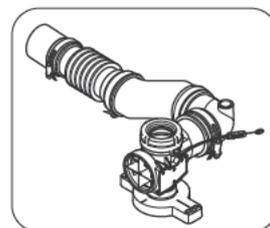
品番:UWL\*A  
既存給水流用(露出タイプ)



120~155

### 左右抜きリモデル

品番:UWL\*M/UWL\*H  
既存給水流用(露出タイプ)



100~155

# 情報編

## 1. 安全上のご注意 ▶ 4

---

## 2. 取り付け前のご注意 ▶ 6

**1** 設置寸法 6

**2** 電気配線 7

**3** 給排水位置 8

**4** 補強 11

**5** 窓枠 11

**6** 必要工具 11

---

## 3. 部品の確認 ▶ 12

---

# 1.安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取り付け前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。  
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

●表示と意味はつぎのようになっています。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。



**警告**

誤った取り扱いをすると、「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。



してはいけない「禁止」の内容です。



**注意**

誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害※の発生が想定される」内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

|               |   |   |   |
|---------------|---|---|---|
| <br>分解禁止      | <b>修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない</b><br>火災や感電の原因となります。                                      | <br>ぬれた手禁止  | <b>ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない</b><br>感電の原因となります。   |
|               | <br>アース接地   |   | <b>アース(D種接地)工事がされていることを確認する</b><br>アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因となります。<br>アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。 |
| <br><b>警告</b> | <br>禁止  | <b>水道水および飲用可能な井戸水・地下水以外は使用しない</b><br>皮膚の炎症などを起こす原因となります。  | <b>電源プラグやコードが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいまままで使用しない</b><br>火災や感電の原因となります。                                    |
|               |   | <b>指定する電源(交流100V)以外では使用しない</b><br>火災の原因となります。   | <b>ガタついているコンセントは使わない</b><br>火災や感電の原因となります。  |
|               |   | <b>電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない</b><br>傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない<br>傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。 | <b>給水および排水管の真下部にコンセントを設置しない</b><br>結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。                            |
|               |   | <b>屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所に取り付けない</b><br>取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがやときに死亡の原因となります。   | <b>器具取付用のねじ固定部の壁裏には、配管・配線を通さない</b><br>火災や感電の原因となります。<br>水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。              |
|               |   | <b>雷が発生しているときは、電源プラグに触れない</b><br>感電の原因となります。  | <b>コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない</b><br>たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。                              |
|               |   | <b>ウォシュレットの給水ホースをコンセントに接触させない</b><br>結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。  |   |
| <br>必ず守る      | <b>電源プラグは根元まで確実に差し込む</b><br>火災や感電の原因となります。  | <b>壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏を補強する</b><br>商品の転倒、落下によりけがやときに死亡の原因となります。  |   |
|               | <b>コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項を厳守する</b><br>結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。 | <b>電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く</b><br>コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因となります。   |   |
|               | <b>取り付け面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ(現場手配)を使用する</b><br>取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。    | <b>工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する</b><br>商品が落下したり、外れたりしてけがやときに死亡の原因となります。   |   |

|   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| <br><b>警告</b> | <br><b>必ず守る</b> | <p>商品を取り付ける柱・間柱は、腐食などで強度不足でないことを確認する<br/>取付物の転倒・落下によりけがやときに死亡の原因となります。</p> <p>石こうボードの場合は指定のボードアンカーを使用する<br/>取付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。</p> | <p>コンセントは水や小水がかからない位置に設置する<br/>コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。</p> <p>機器の設置は専門業者が行う<br/>また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行う<br/>火災や感電の原因となります。水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。<br/>商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。</p> |
|   | <p>手洗器用クッション材の張り付け、シリコン系シール剤の塗布(コーキング)は確実に<br/>水などがキャビネット内に浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。</p>      |   |  |

|   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| <br><b>注意</b> | <br><b>禁止</b>     | <p>止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない<br/>水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p> <p>給水ホースが破損するようなことをしない<br/>傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない<br/>給水ホースが破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の原因となります。</p> | <p>商品に強い力や衝撃を与えない<br/>商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p> <p>カウンターの上に乗って作業しない<br/>カウンターが破損したり落下したりして、けがの原因となります。</p>  |
|   | <br><b>必ず守る</b> | <p>給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める<br/>水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p> <p><b>※ 止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。</b></p>   | <p>設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する<br/>取付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p> <p>給水・排水接続に関する作業は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する<br/>水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p> |
|   |  | <p>工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する<br/>水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>   | <p>ボードアンカーへのねじの固定は電動ドライバーを使用しない(手締めする)<br/>ボードアンカーの破損により、取付物が落下し、けがの原因となります。</p>   |
|   |  | <p>カットした面は滑らかに仕上げる<br/>滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがをする原因となります。</p>   | <p>給水ホースと分岐金具を正しく接続する<br/>水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>   |
|   |  | <p>商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する<br/>商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。</p>  | <p>ねじ部の固定については、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する<br/>商品が破損し、けがをする原因となります。</p>   |
|   |  | <p>商品の壁への固定が完了するまで、もたれたりものを載せたりしないよう十分注意する<br/>商品が倒れたり落下してけがの原因となります。</p>   | <p>水準器を用いて水平に設置する<br/>収納物が落下してけがの原因となります。</p>  |
|   |  | <p>推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する<br/>取付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。</p>  | <p>手洗器等、器具周囲のすきま処理は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する<br/>水が浸入し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>   |
|   |  | <p>凍結のおそれがある地域では、凍結防止工事を行う<br/>凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>  | <p>給水ホースと分岐金具床継手は必ず指定のクイックファスナーで固定する<br/>ホースが外れて水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>   |
| <p>金属露出部や鋭利な部位を扱うときは、軍手などを使用する<br/>取り付け時にけがをする原因となります。</p>                                      |  |   |  |

## 2. 取り付け前のご注意

### 取り付け前の確認

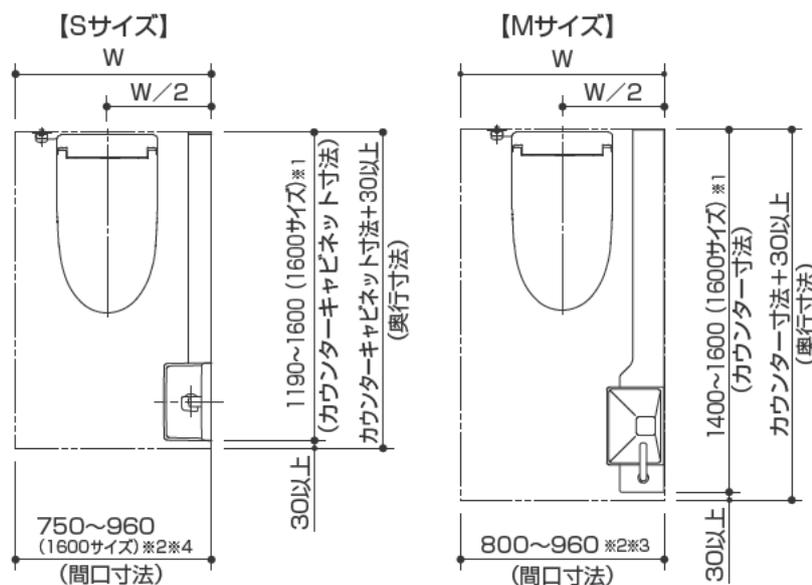
左右抜きの場合、排水ジョイント(HP82S)を別途手配ください。

- 1 取り付けに必要なトイレスペースを確保する  
▶P.6「設置寸法」参照  
※ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 2 室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保する  
※壁が変色する原因となります。
- 3 AHタイプの場合、窓柵・棚・収納キャビネットなど便ふたの干渉に注意する  
※便ふたが当たって開ききらないことがあります。  
棚、収納キャビネットは下端FL+1400mm以上を目安としてください。
- 4 商品への通電および漏水確認は本説明書に準じて行う
- 5 定格電源、定格消費電力は下表を参照  
※AC100V 50/60Hz共通です。
- 6 給水取出位置・排水管位置およびコンセント位置が所定の位置であることを確認する  
※ウォシュレット用電源コードの長さは約1.0m、ヒーター付便器約1.1m、自動水栓用電源コードの長さは2.9mです。  
コンセントはこの長さに適した所定の位置に設置しているか確認してください。
- 7 給水条件  
最低必要水圧：0.05MPa(流動10L/min)  
最高水圧：0.75MPa(静止時)  
給水温度：40℃以下  
この圧力範囲で使用してください。
- 8 ボードアンカーは、引抜強度200N以上のものを使用する

| 機種    |           | 定格消費電力         |
|-------|-----------|----------------|
| 便器    | DH2・DH1   | 1268W (1308W)  |
|       | AH1・RH1   | 1279W (1319W)  |
|       | AH2W・RH2W | 1379W (1419W)  |
| 電気温水器 |           | 505W           |
| 自動水栓  |           | 0.4W / 作動時0.6W |

※( )内はヒーター付便器の場合

### 1 設置寸法



カウンタータイプ(Sサイズ)1600サイズで間口800mm以上必要となる  
トイレ奥行き寸法

| 大便器給排水タイプ<br>壁排水・壁排水リモデル | トイレの奥行き寸法<br>~1342 |
|--------------------------|--------------------|
|--------------------------|--------------------|

※1 使い勝手に応じて手洗器位置を設定し、  
トイレ奥行き寸法にあわせて任意の長さ  
にカットすることができます。カットしてご  
利用の際は、周辺機器との取り合いを十  
分確認してください。

※2 手洗器が右勝手にウォシュレット機能  
AH2W、RH2Wを選ぶ場合、間口  
860mm以上必要となります。

※3 便器中心からカウンター側の横壁まで  
400mm、便器中心からカウンターと反  
対側の横壁まで375mmを確保できる場  
合は、間口775mmから対応できます。

※4 トイレ奥行き寸法が左表の範囲の場合、間  
口800mm以上必要となります。ただし  
便器中心からカウンター側の横壁まで  
400mm、便器中心からカウンターと反  
対側の横壁まで375mmを確保できる  
場合は、間口775mmから対応できます。

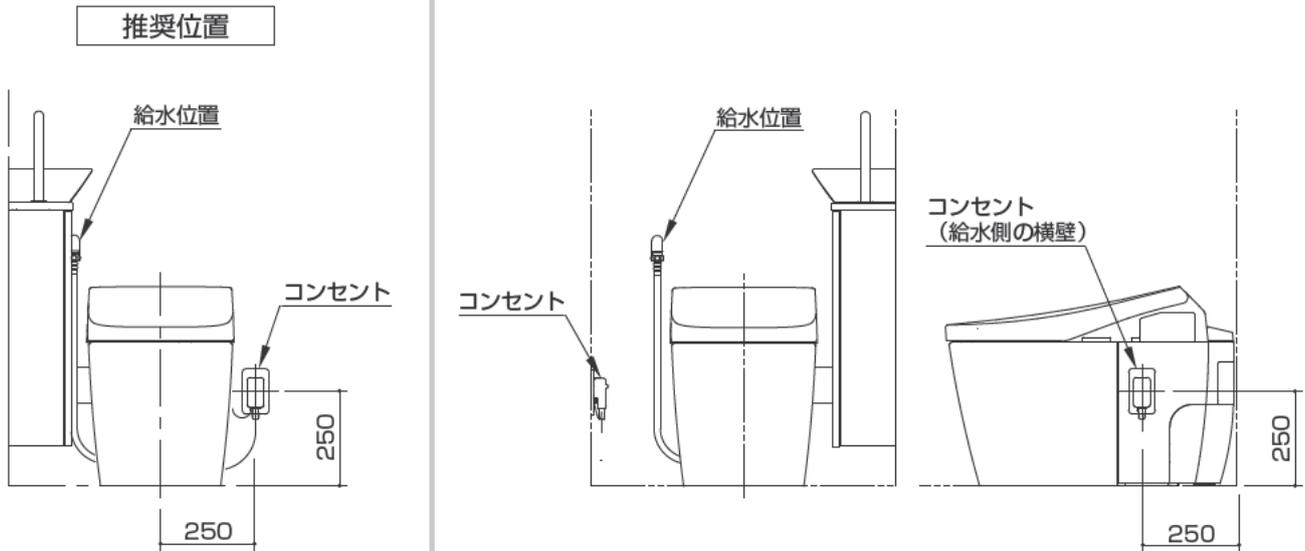
## 2 電気配線

### 大便器・自動水栓用

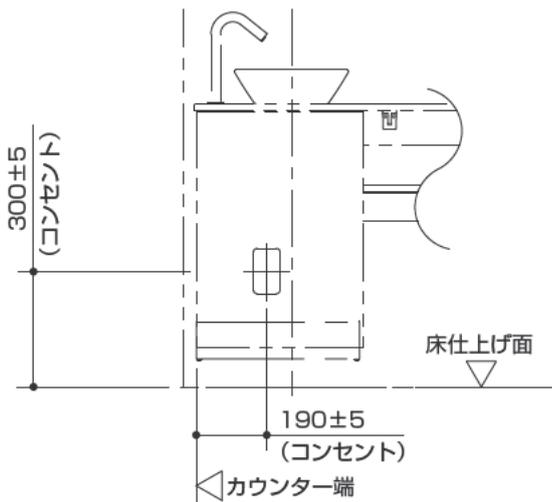
コンセント設置位置は、便器を挟んで給水位置と反対側、もしくは横壁に設置してください。ただし、給水位置と反対側に手洗器がある場合には、給水側の横壁に設置してください。下図に、推奨位置を示しますので、参照してください。

なお、コンセントは接地用端子の付いた接地極付の壁埋込式コンセント(自動水栓の場合、接地用端子の付いた接地極付の壁埋込式2口コンセント)を取り付けておいてください。コンセントは付属品として同梱されておりませんので、現場にて手配してください。

#### 給水位置と反対側に手洗器がある場合



#### 電気温水器付自動水栓用 (Mサイズのみ)



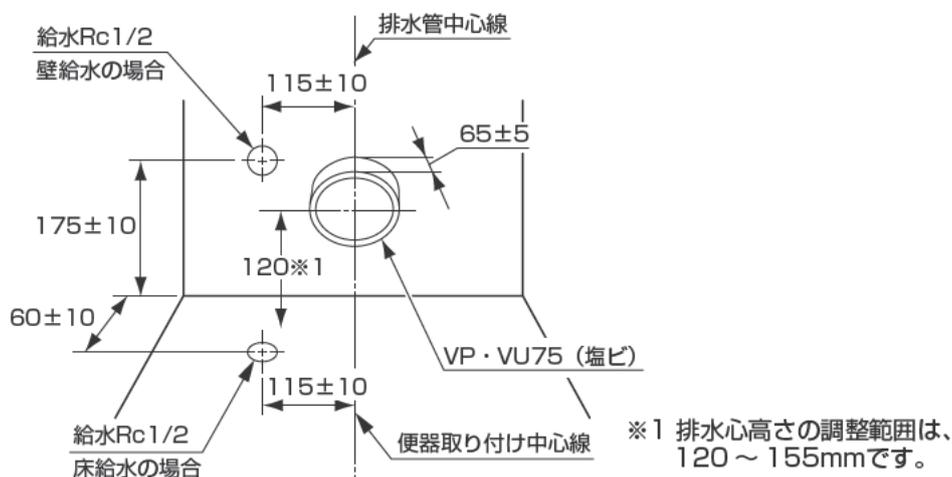
電気温水器付自動水栓の場合は、手洗器キャビネット内に、大便器用コンセントとは独立系統で、別途専用配線にて、接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式2口コンセントを取り付けておいてください。コンセントは付属品として同梱されておりませんので、現場にて手配してください。

左図は左勝手の場合です。右勝手の場合は左図と逆勝手になります。

### 3 給排水位置

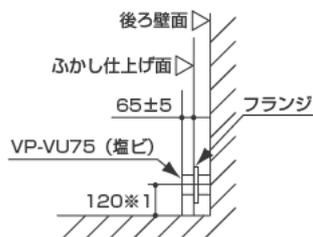
#### 後ろ抜き（排水心高さ120mm）給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS989BDP

- ・施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。
- ・排水勾配は必ず1/50以上確保してください。
- ・下図の位置に仕上げ面と同一面にRc1/2の給水管を取り出してください。



#### フランジ付配管の場合

- ・建築側での対応となります。トイレの後ろ壁を下図のようにふかして、フランジ前面と同一面となるように仕上げてください。また、給水位置や各器具の設置位置はふかした仕上げ面を基準に取り付けてください。



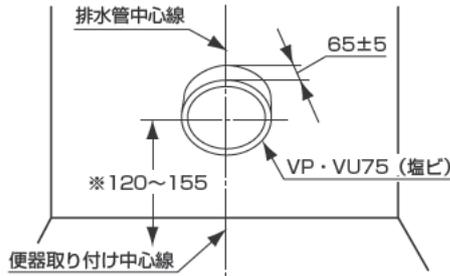
# 後ろ抜きリモデル (排水心高さ120~155mm) 給水露出タイプ・便器品番：CS989BDX

・施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。

## 排水位置

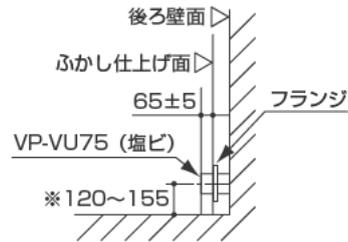
・排水勾配は必ず1/50以上確保してください。

※100~119mmの場合は別売品のフランジユニット (HP406) および壁フランジ (HP551VPR、HP551VUR) が必要です。



## 【フランジ付配管の場合】

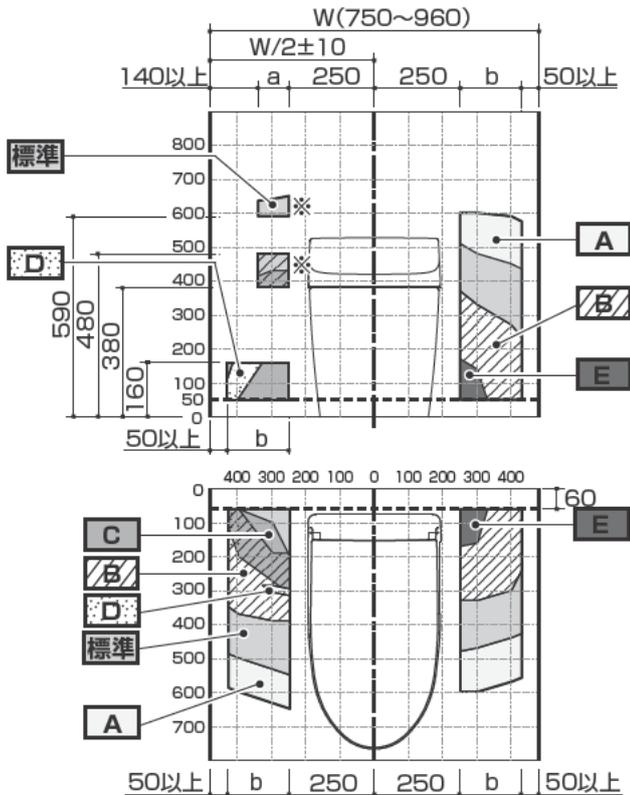
建築側での対応となります。トイレの後ろ壁を下図のようにふかして、フランジ前面と同一面となるように仕上げてください。また、給水位置や各器具の設置位置はふかした仕上げ面を基準に取り付けてください。



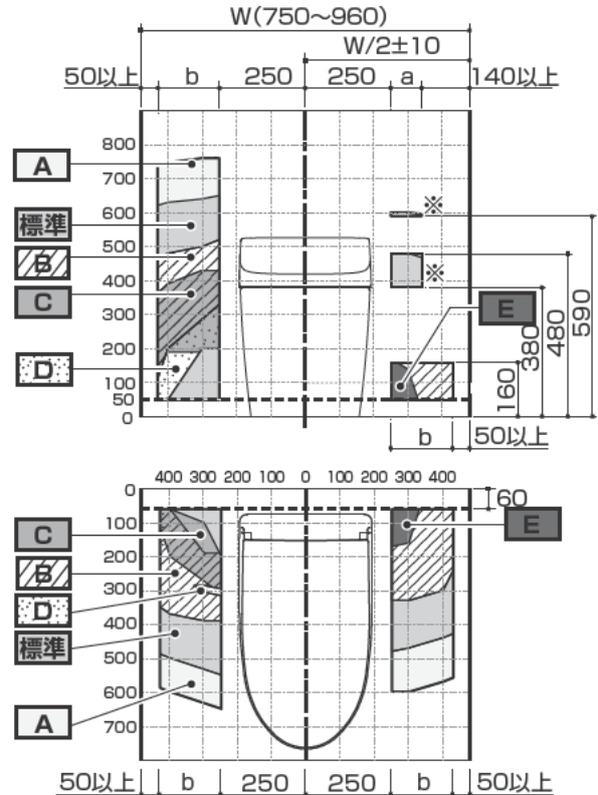
## 給水位置

・下図の位置にRc1/2の給水管の中心があることを確認してください。給水管の位置により、下記のオプション給水ホースを手配してください。

### 【左勝手】



### 【右勝手】



| 単位 (mm) |         |         |
|---------|---------|---------|
| 間口      | ※a寸法    | b寸法     |
| 750~780 | —       | W/2~300 |
| 781~960 | W/2~390 |         |

※間口781~960の場合のみ

### オプション給水ホース

| 標準                          | A                                 | B                                  | C                                 | D                                  | E                                  |
|-----------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| リモデル標準給水ホース<br>止水栓範囲(700mm) | 860mm<br>TN111L86<br>¥11,000 (税抜) | 550mm<br>TN111L552<br>¥12,800 (税抜) | 450mm<br>TN111L45<br>¥10,500 (税抜) | 400mm<br>TN111L40*<br>¥13,000 (税抜) | 370mm<br>TN111L37*<br>¥12,000 (税抜) |

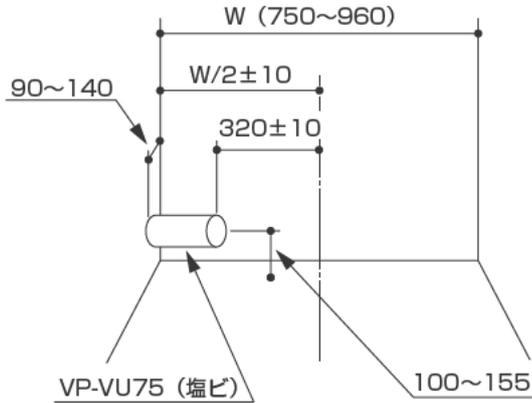
\*1 エルボが同梱されております。 \*2 長さ調整用の継手が同梱されております。

左右抜きリモデル (排水心高さ100~155mm)  
給水露出タイプ・便器品番：CS989BDX

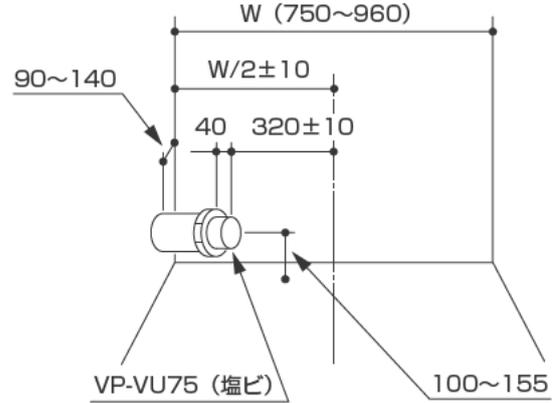
・施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。

排水位置

・下図は左抜きの場合を示します。右抜きの場合は左右反転となります。  
別売品の排水ジョイント (HP82S) が必要です。



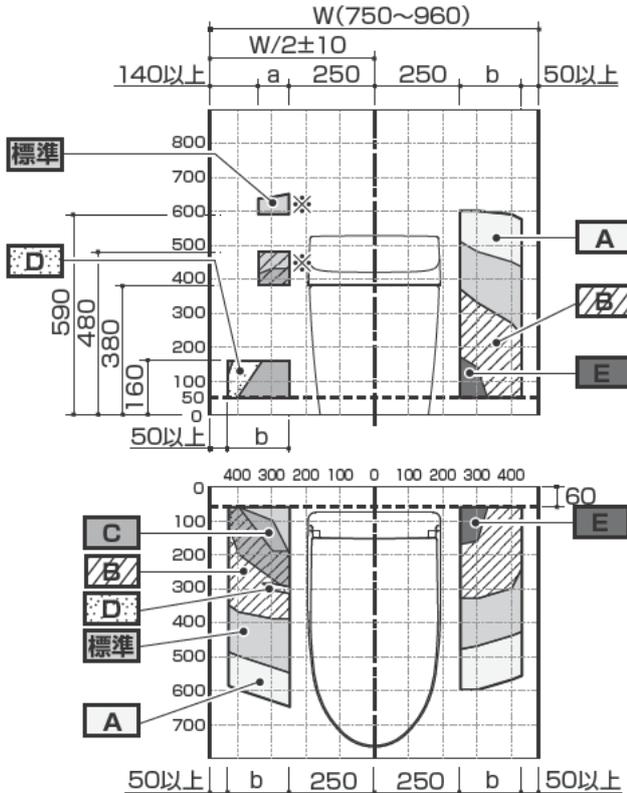
【フランジ付配管の場合】



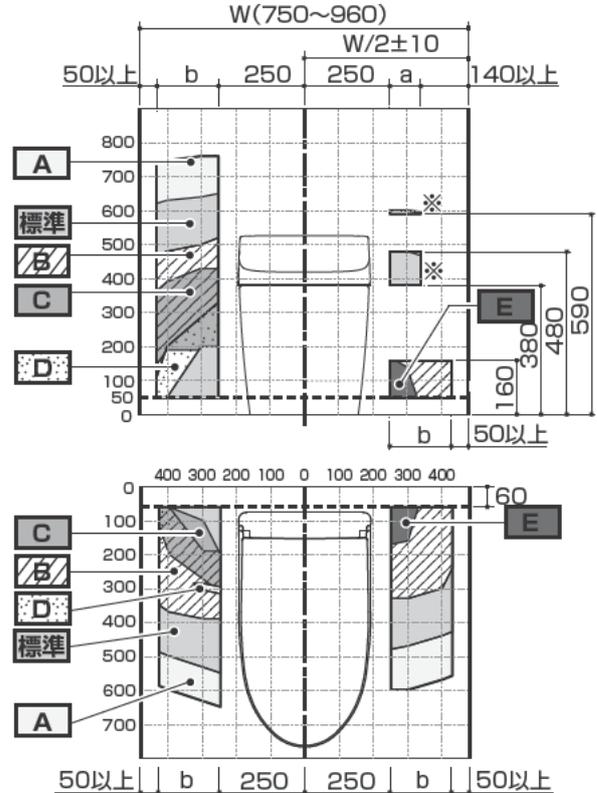
給水位置

・下図の位置にRc1/2の給水管の中心があることを確認してください。給水管の位置により、下記のオプション給水ホースを手配してください。

【左勝手】



【右勝手】



| 間口      | *a寸法    | b寸法     |
|---------|---------|---------|
| 750~780 | —       | —       |
| 781~960 | W/2-390 | W/2-300 |

※間口781~960の場合のみ

オプション給水ホース

| 標準                          | A                                | B                                 | C                                | D                                  | E                                  |
|-----------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| リモデル標準給水ホース<br>止水栓範囲(700mm) | 860mm<br>TN111L86<br>¥11,000(税抜) | 550mm<br>TN111L552<br>¥12,800(税抜) | 450mm<br>TN111L45<br>¥10,500(税抜) | 400mm<br>TN111L40*1<br>¥13,000(税抜) | 370mm<br>TN111L37*2<br>¥12,000(税抜) |

\*1 エルボが同梱されております。 \*2 長さ調整用の継手が同梱されております。

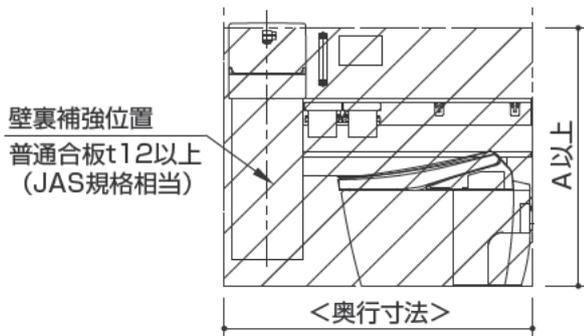
## 4 補強

ねじ位置については下記URL内の「ねじ位置情報」をご覧ください。  
[URL]  
<http://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/default.htm>



・手洗器およびカウンター、周辺部材の壁固定ねじ取り付け位置には、補強材として普通合板t12以上を壁面に入れておいてください。JAS規格相当の合板を使用してください。

・タイル、コンクリート壁の場合は、壁固定位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。

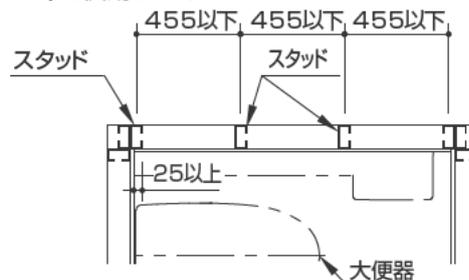
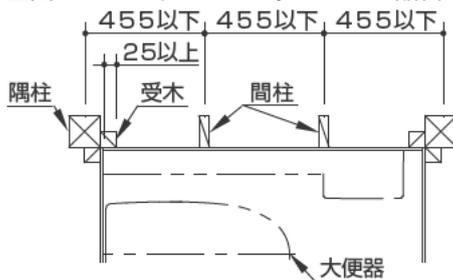


|      |      |
|------|------|
| 手洗器  | A    |
| Sサイズ | 1030 |
| Mサイズ | 750  |

### 壁裏補強なしの場合

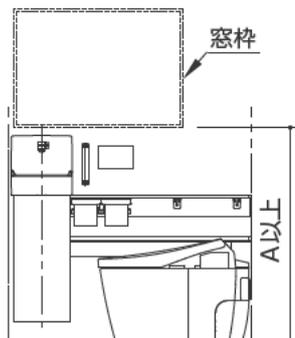
・間柱および受木、もしくは軽量鉄骨(スタッド)にカウンターを固定します。下図のように、カウンター取り付け面に、455mmピッチ以下で、間柱および受木、もしくは軽量鉄骨(スタッド)があることを確認してください。

また、柱以外の壁面には、ボードアンカー(オプション:品番UGA490B)を使用してください。



## 5 窓枠

・窓がある場合、下図のような制約が付きます。事前に製品と干渉しないように注意してください。



|      |      |
|------|------|
| 手洗器  | A    |
| Sサイズ | 1090 |
| Mサイズ | 890  |

※周辺部材(鏡・バックパネル・手すり・石けん受など)を取り付ける場合は、周辺部材の説明書を参照ください。

## 6 必要工具

※一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具を用意してください。



電動ドライバー  
・(+ )65mmビット  
・(+ )200mmビット



のこぎり



小型のこぎり  
(コンセント開口用)



スタビー  
ドライバー(+)



電動ドリル  
φ3、φ4、φ5、φ6、φ9



シリコン系  
シール剤



アングル形ドライバー

# 3.部品の確認

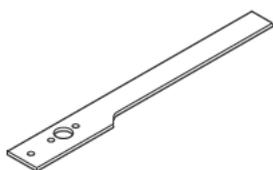
・専用の施工説明書が同梱されている商品は、外装箱のみ表記しています。

## 手洗器カウンターセット

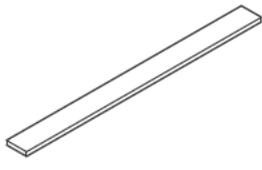
### 手洗器カウンターセット

【Mサイズの場合】

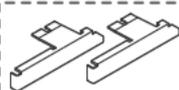
【Sサイズの場合】



上段カウンター



上段カウンター



カウンター キャップ (2個)



トラスタッピンねじ  $\phi 4 \times 10$  (2本)



皿タッピンねじ  $\phi 4 \times 40$  (10本)



座付なべタッピンねじ  $\phi 3 \times 6$



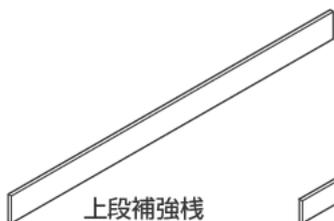
下段ブラケット (3個)



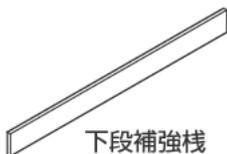
トラスタッピンねじ  $\phi 4 \times 20$  (6本)



座付なべタッピンねじ  $\phi 4 \times 16$  (6本)



上段補強棒



下段補強棒



下段カウンター



配管カバー



ブラケット (3個)



座付なべタッピンねじ  $\phi 4 \times 16$  (9本)



トラスタッピンねじ  $\phi 4 \times 30$  (6本)



配管固定材 (2個)



皿タッピンねじ  $\phi 4 \times 16$



皿タッピンねじ  $\phi 4 \times 40$   
Mサイズ:2本  
※Sサイズのみ Sサイズ:1本



配管支持材 (2個)



インシュロック (2本)



なべタッピンねじ  $\phi 4 \times 16$  (2本)



端部キャップ

【Mサイズの場合】



アングル材 (白)



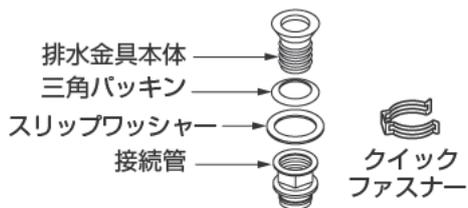
アングル材



トラスタッピンねじ  $\phi 4 \times 20$  (1本)



座付なべタッピンねじ  $\phi 4 \times 16$  (3本)



排水金具本体  
三角パッキン  
スリップワッシャー  
接続管

クイックファスナー



排水トラップ



クイックファスナー



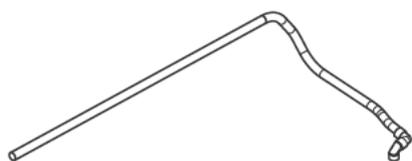
クイックファスナー



接続継手



トラップ排水接続管

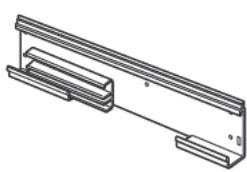


手洗器用排水ホース

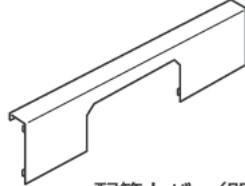
# 手洗器キャビネット部材の詰め合わせ

## 手洗器排水管セット

【後ろ抜きの場合】



配管ブラケット(間口側)



配管カバー(間口側)



縦カバー



施工補助材(2個)



配管カバー  
エンドキャップ



平座金



ホースクランプ(4個)



ボードアンカー(7本)



トラスタッピンねじ  
φ4×50



トラスタッピンねじ  
φ4×30



トラスタッピンねじ  
φ4×40(9本)

【後ろ抜きモデル  
左右抜きモデル】



配管ブラケット(間口側)



配管カバー(間口側)



縦カバー



施工補助材



平座金



ホースクランプ(2個)



トラスタッピンねじ  
φ4×50



トラスタッピンねじ  
φ4×30



ボードアンカー(4本)



支持アングル



ボードアンカー(2本)  
(支持アングル用)



トラスタッピンねじ  
φ4×40(8本)

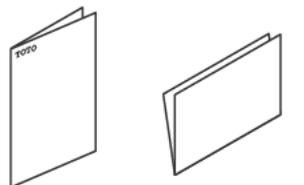
## フレキホース(手洗器用)



※ニップル  
※パッキン

※手洗器Mサイズ  
ハンドル式水栓の場合は  
ニップルは入っていません。

## 施工説明書



施工説明書 ダイジェスト版

型紙(2枚)

- ・Mサイズ用
- ※Sサイズの場合使用しません
- ・Sサイズ用
- ※Mサイズの場合使用しません

## 取扱説明書



取扱説明書  
チラシ



開閉工具

## 手洗器キャビネット部材の詰めあわせ(つづき)

### 手洗器Mサイズのみに入っているもの

**自動水栓**

※自動水栓の場合



**ハンドル式水栓**

※ハンドル式水栓の場合



**排水目皿**



**手洗器固定金具セット**



クッション材



手洗器固定金具  
(2個)



取付ボルト  
(2本)



ワッシャー  
(2個)



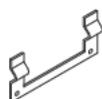
取付ナット  
(2個)

### 手洗器Sサイズのみに入っているもの

**施工部材セット**



固定プッシュ  
(2個)



手洗器固定金具



クッション材



ホース  
クランプ



トラスタッピンねじ  
φ4×30(3本)



トラス小ねじ  
M5×54(2本)



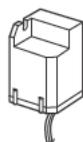
ワッシャー  
(2個)

### 自動水栓／電気温水器付自動水栓の場合

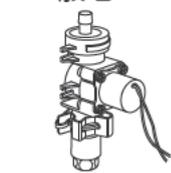
**自動水栓機能部**

＜一般地＞

＜寒冷地＞



コントローラー



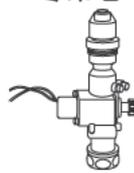
自動水栓機能部



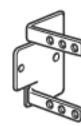
ホースクランプ



座付タッピンねじ  
φ4.5×38(2本)



自動水栓機能部



取付金具



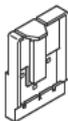
座付タッピンねじ  
φ4.5×38(2本)



座付なべ小ねじ  
M4×10(3本)

### 自動水栓／電気温水器付自動水栓の場合

**コントローラー固定材**



コントローラー固定材



トラスタッピンねじ  
φ4×30(3本)

**コンセントプレートカバー**

※電気温水器設置の場合のみ

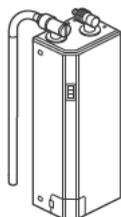


コンセントプレートカバー



トラスタッピンねじ  
φ4×30(2本)

**電気温水器**



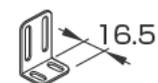
電気温水器本体



化粧ラベル



L=300  
排水ホース



固定アングル1



固定アングル用  
座付なべ小ねじ  
M4×10(2本)



壁固定用木ねじ  
φ4×30(2本)

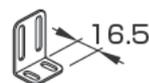


スペーサー  
取付用ねじ  
M4×5(2本)

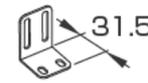


スペーサー

＜下記部品は使用しません＞



固定アングル1



固定アングル2



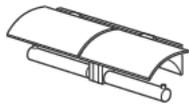
壁固定用木ねじ  
φ4×30(2本)

# 手洗器キャビネット部材の詰め合わせ(つづき)

## 紙巻器

### 紙巻器

【メタル製】



紙巻器本体



なべタッピンねじ  
φ4×40(4本)

〈下記の部品は使用しません〉

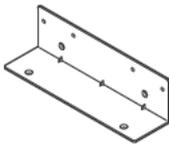


なべ座金組込小ねじ  
M4×8(4本)

クッション材  
(4個)

型紙

### 紙巻器固定材



紙巻器固定材

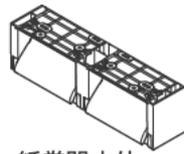


皿タッピンねじ  
φ4×40(2本)



皿タッピンねじ  
φ4×16(2本)

【樹脂製】※ねじセットの番号は各袋に記載の番号です。



紙巻器本体



コーナースパサ  
(2個)

ねじセット④



トラスタッピンねじ  
φ4×14(4本)

ねじセット①

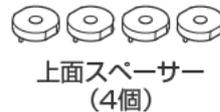


なべタッピンねじ  
φ4.5×40(4本)



平座金  
(4個)

〈下記の部品は使用しません〉



上面スパサ  
(4個)

ねじセット②



ドリルねじ  
φ4×16(4本)

## 排水ソケット

### 排水ソケットセット

【後ろ抜きの場合】

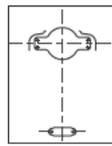
【後ろ抜きリモデル(排水心高さ120mm~155mm)】



排水ソケット



ゴムジョイント



位置決めシート



ホースバンド(2個)



ふさぎシート  
(※後ろ抜き(排水芯120mm)の  
場合は使用しません)



固定片



接着ブロック



トラスタッピンねじ  
φ5×40(2本)



六角ボルト(2本)



止め金具(2個)



ナット(2個)



座金(2個)



トラスタッピンねじ(排水ソケット用)  
φ5×50(4本)

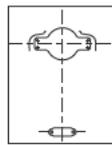
【左右抜きリモデルの場合】



排水ソケット



排水エルボ



位置決めシート



ホースバンド(1個)



ふさぎシート  
(給水配管用)



固定片



接着ブロック



トラスタッピンねじ  
φ5×40(2本)



六角ボルト(2本)



止め金具(2個)



ナット(2個)



座金(2個)



トラスタッピンねじ(排水ソケット用)  
φ5×50(4本)

## 手洗器キャビネット部材の詰めあわせ(つづき)

## 給水金具セット

※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。

## 【給水新設の場合】



## 【既存給水流用の場合】



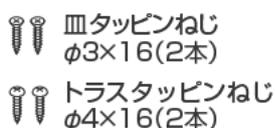
## 商品選択されている場合に入っているもの

## タオル掛け

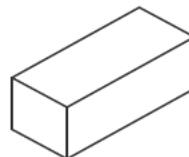
## 【手洗器下取付タイプ】

手洗器Sサイズの場合

手洗器Mサイズの場合

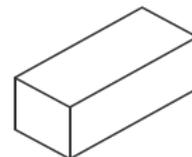


## 【壁取付タイプ】



## 手すり

## 【ハンドグリップ】



## その他包装

## 大便器

【後ろ抜き(排水心高さ120mm)の場合】 便器品番:CS989BDP

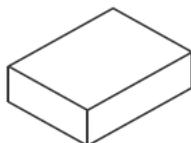


【後ろ抜きリモデル(排水心高さ120mm~155mm)・左右抜きリモデルの場合】 便器品番:CS989BDX



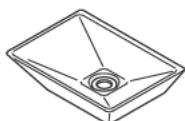
## その他包装 (つづき)

### ウォシュレット

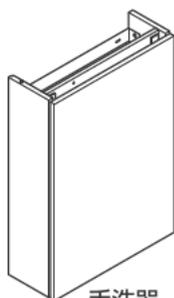


#### 手洗器セット

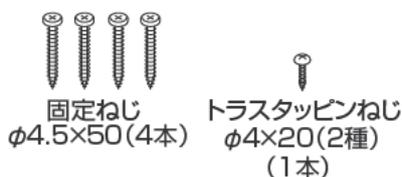
【Mサイズの場合】



#### 手洗器キャビネット(手洗器Mサイズの場合)

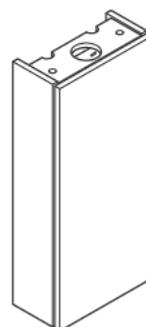


手洗器  
キャビネット

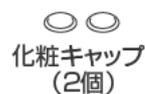


#### 手洗器キャビネット

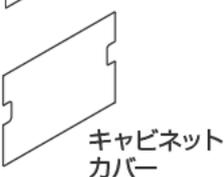
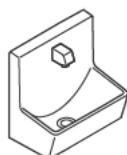
(手洗器Sサイズの場合)



手洗器  
キャビネット

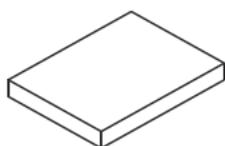


【Sサイズの場合】



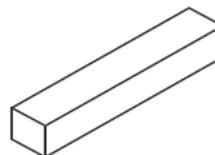
商品選択されている場合に入っているもの

#### 化粧鏡



#### 手すり

【インテリア・バー(コンテンポラリータイプ)、天然木手すり】



# MEMO

# 手順編

|                   |        |       |      |
|-------------------|--------|-------|------|
| 1.給水・排水部          | 給水タイプ  | 給水隠ぺい | 給水露出 |
|                   |        | ▶20   | ▶22  |
| 2.手洗器キャビネット・カウンター | 手洗器サイズ | Sサイズ  | Mサイズ |
|                   |        | ▶28   | ▶36  |
| 3.手洗給水・排水部        | 給水タイプ  | 給水隠ぺい | 給水露出 |
|                   |        | ▶44   | ▶47  |
| 4.手洗器             | 手洗器サイズ | Sサイズ  | Mサイズ |
|                   |        | ▶50   | ▶55  |
| 5.下段カウンター（取り外し）   |        |       | ▶59  |
| 6.手動レバー           |        |       | ▶60  |
| 7.大便器             |        |       | ▶61  |
| 8.ウォシュレット         |        |       | ▶62  |
| 9.下段カウンター（取り付け）   |        |       | ▶62  |
| 10.器具類            |        |       | ▶63  |
| 11.確認・仕上げ         |        |       | ▶64  |

## マーク表



手締めで

電動ドライバー  
使用禁止です。  
手締めしてください。



下穴

下穴をあけてください。  
(例:φ3の場合)



ボードアンカー

ボードアンカーを  
差し込んでください。



シール

シールテープを  
巻いてください。



カット

カットしてください。



けがき



けがき

けがきを  
してください。



水平確認

水準器で水平確認  
してください。

後ろ抜き | 後ろ抜きモデル | 左右抜きモデル

# 1. 給水・排水部

給水隠ぺいタイプ  
便器品番:CS989BDP

「給水露出タイプ」の場合  
P.22を参照してください。

後ろ抜き(排水心高さ120mm)

**1 排水ソケット取付位置のけがき**

▶P.20

**2 給水金具の取り付け**

▶P.21

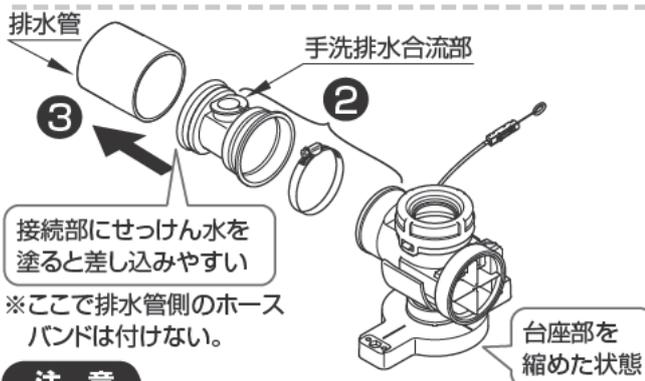
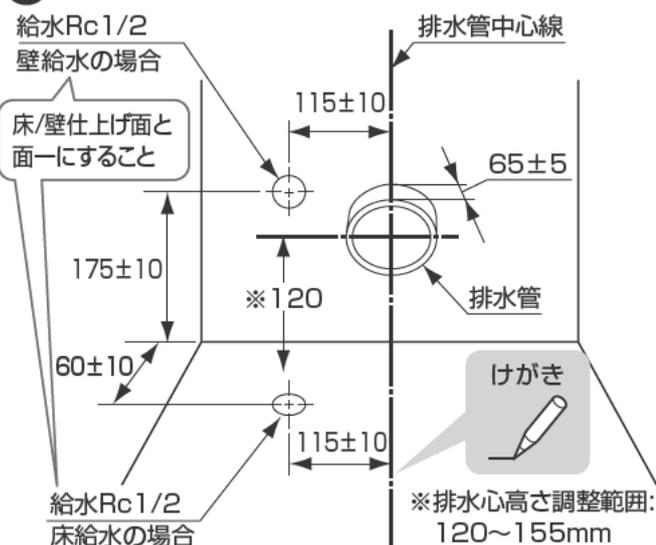
**3 排水ソケットの取り付け**

▶P.21

## 後ろ抜き (排水心高さ120mm)

### 1 排水ソケット取付位置のけがき

**1 給排水管の取り出し**



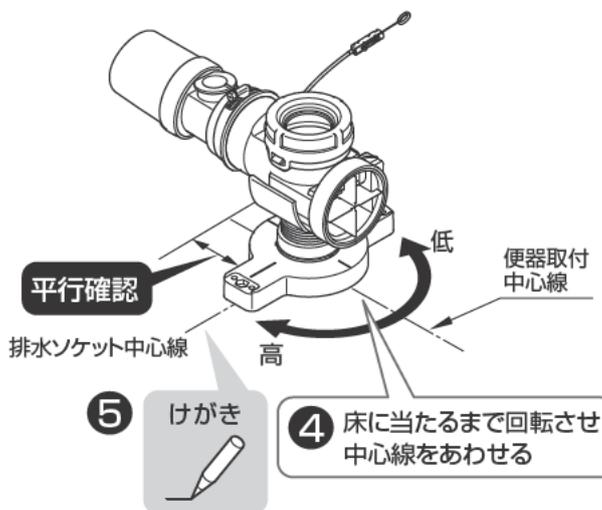
**注意**

手洗排水合流部が真上になるように接続する排水の勾配が確保できないおそれがあります。

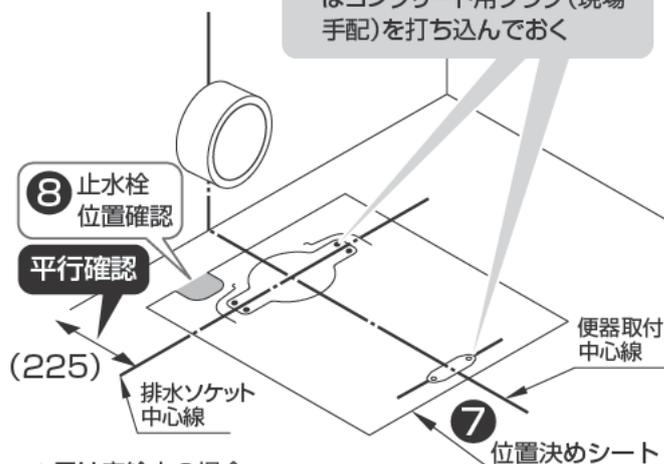
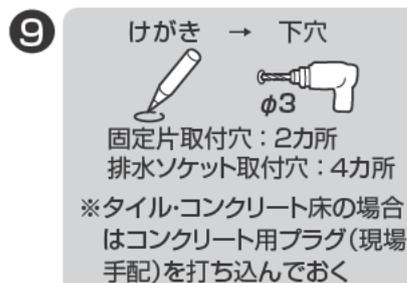
**注意**

バンドは手締めにてしっかり締め付ける  
電動ドライバーで締め付けると、ゴムジョイントが破れ水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

必ずする



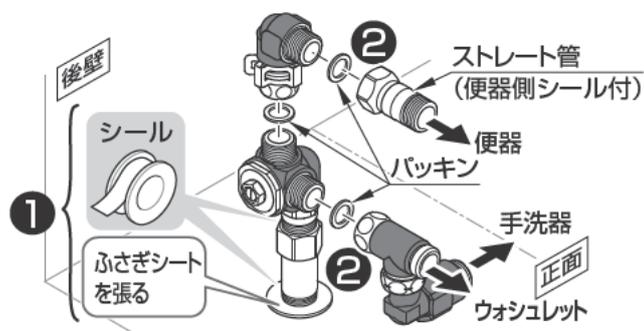
**6 排水ソケットをいったん外す**



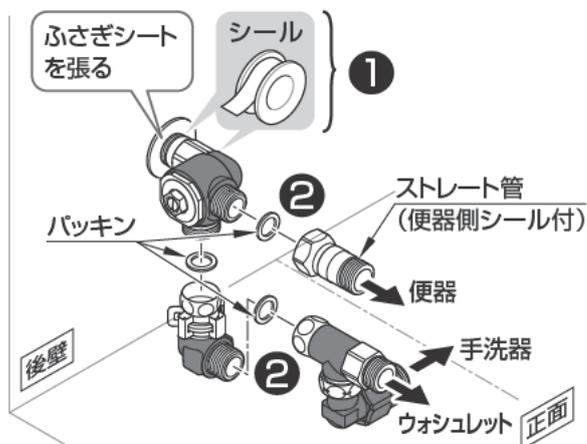
※図は床給水の場合  
※寸法出しは後壁から(幅木からではありません)。  
※給水位置が適切でないと止水栓が製品に干渉することがあります。

## 2 給水金具の取り付け

### 床給水



### 壁給水

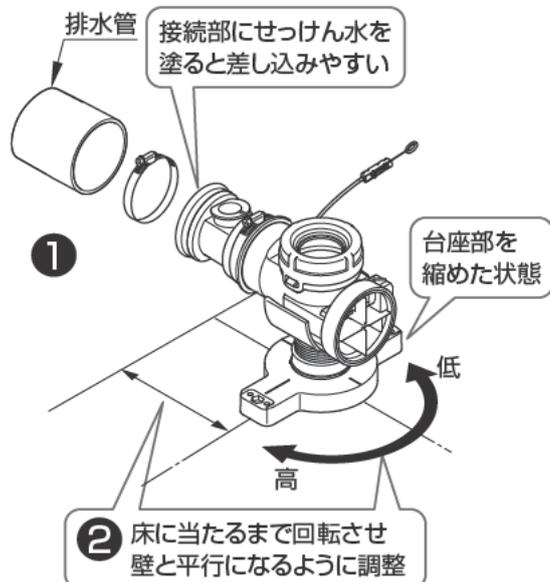


### 注意

**止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓（フィルター付き）を取り付けてください**

設置しただけの場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

## 3 排水ソケットの取り付け



### 注意



必ず守る

**ゴムジョイントによる接続では、逆勾配とならないように注意する**

器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

### 注意

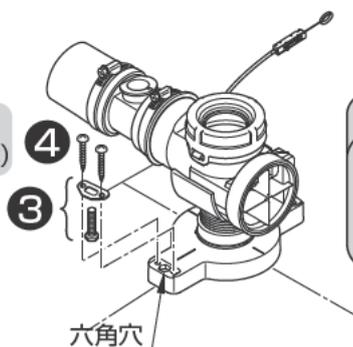


必ず守る

**バンドは手締めにてしっかり締め付ける**

電動ドライバーで締め付けると、ゴムジョイントが破れ水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

トラスタッピンねじ  
φ5×50(左右計4本)



### 注意



必ず守る

**排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にめ込む**

便器がガタつくおそれがあります。

後ろ抜き 後ろ抜きリモデル 左右抜きリモデル

# 1.給水・排水部

給水露出タイプ  
便器品番:CS989BDX

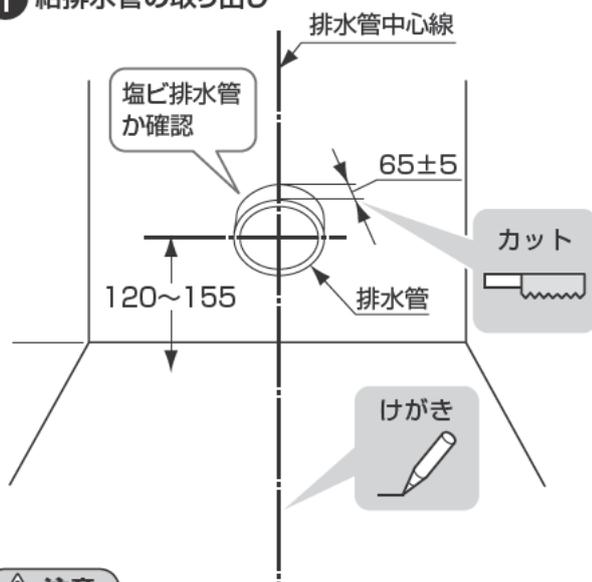
「給水隠ぺいタイプ」の場合  
P.20を参照してください。

|          |   |  |  |  |   |  |
|----------|---|--|--|--|---|--|
| 後ろ抜きリモデル | <b>1</b> 排水ソケット<br>取付位置のけがき<br><br>▶P.22 | <b>2</b> 排水ソケット<br>・床継手の<br>取り付け<br><br>▶P.23 | <b>3</b> 分岐金具<br>の取り付け<br><br>▶P.24 | <b>4</b> 給水ホース<br>の接続<br><br>▶P.24 | <b>5</b> 止水栓<br>の取り替え<br><br>▶P.25 |  |
|          | 左右抜きリモデル  | <b>1</b> 排水ソケット<br>取付位置のけがき<br><br>▶P.25      | <b>2</b> 床継手<br>の取り付け<br><br>▶P.26  | <b>3</b> 分岐金具<br>の取り付け<br><br>▶P.26 | <b>4</b> 給水ホース<br>の接続<br><br>▶P.26  | <b>5</b> 排水ソケット<br>の取り付け<br><br>▶P.26 |

## 後ろ抜きリモデル (排水心高さ120~155mm)

### 1 排水ソケット取付位置のけがき

#### ① 給排水管の取り出し



#### ⚠ 注意

既設排水管切断面は、斜めにならないようにカットする

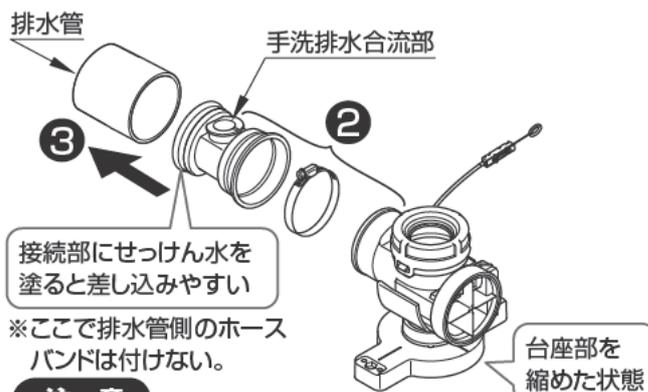
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。



必ず守る

既設排水管切断面のバリなどは、必ず取り除く

水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

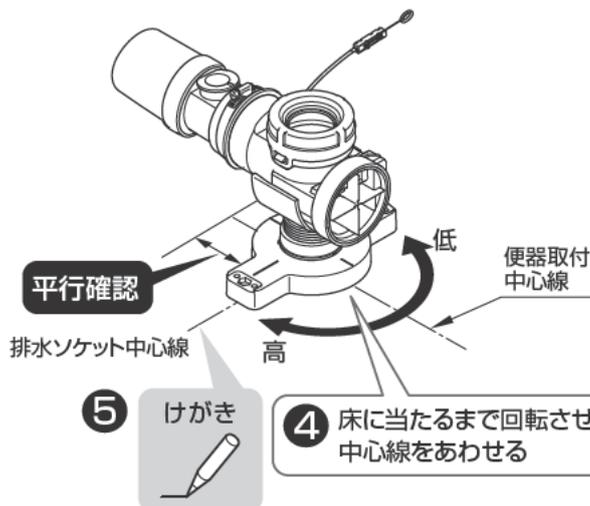


#### 注意

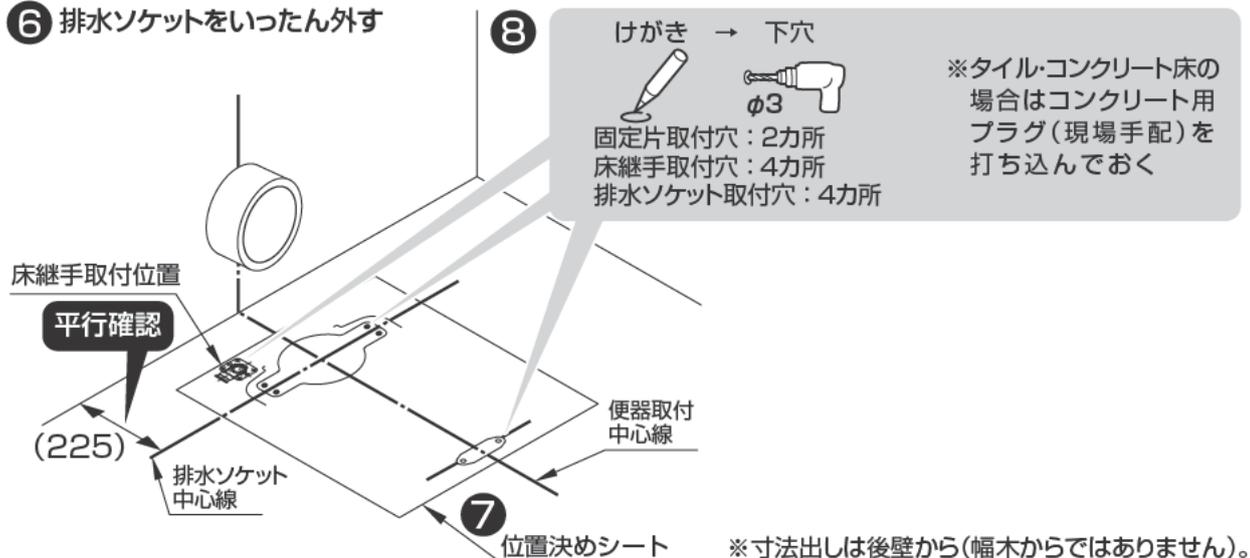
手洗排水合流部が真上になるように接続する排水の勾配が確保できないおそれがあります。

#### ⚠ 注意

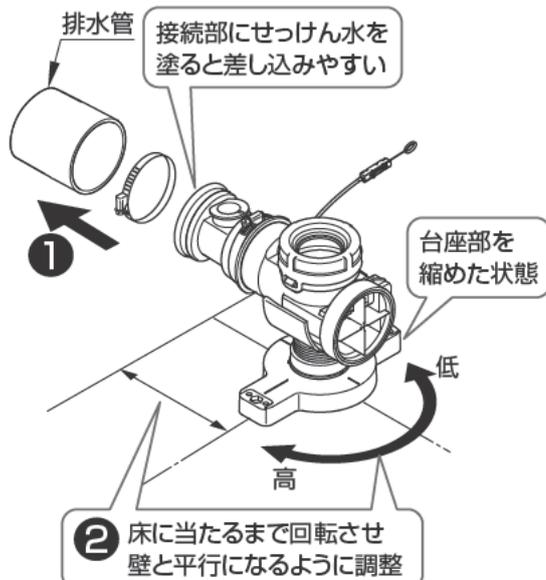
バンドは手締めにてしっかり締め付ける  
電動ドライバーで締め付けると、ゴムジョイントが破れ水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。



## ⑥ 排水ソケットをいったん外す



## 2 排水ソケット・床継手の取り付け



## ⚠ 注意



ゴムジョイントによる接続では、逆勾配とならないように注意する

必ず守る

器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

## ⚠ 注意



バンドは手締めにてしっかり締め付ける

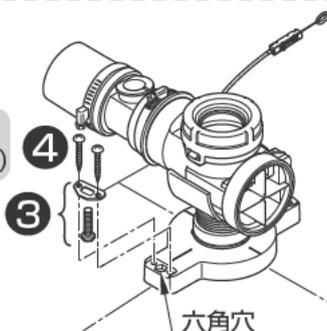
必ず守る

電動ドライバーで締め付けると、ゴムジョイントが破れ水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

## ポイント

ホースバンドの締め付け部は真上にこないようにする

トラスタッピンねじ  
φ5×50(左右計4本)



## ⚠ 注意



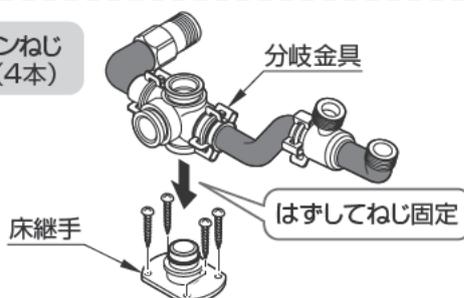
排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にめ込む

必ず守る

便器がガタつくおそれがあります。

## ⑤ 床継手の取り付け

なべタッピンねじ  
φ4×30(4本)



後ろ抜き

後ろ抜きモデル | 左右抜きモデル

## 3

## 分岐金具の取り付け

※インシュロックは切らないでください。

給水位置が左側にある場合

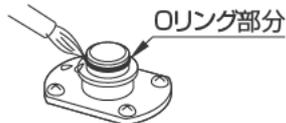


給水位置が右側にある場合



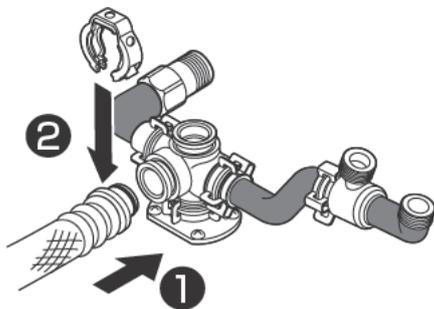
## ポイント

リング部分に  
水をつけると  
取り付けやすい



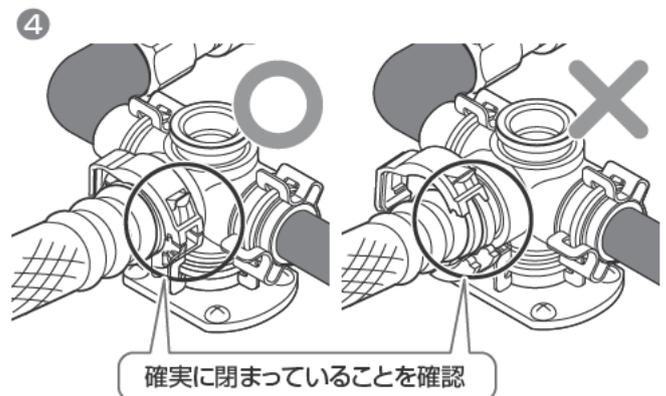
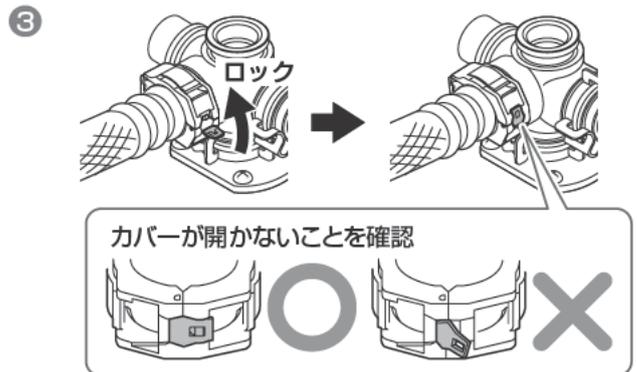
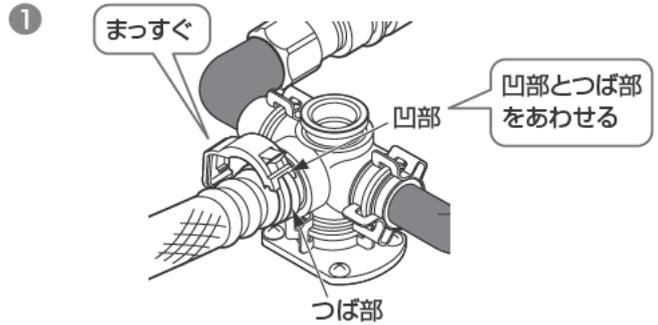
## 4

## 給水ホースの接続



※分岐金具と給水ホースは、便器取り付け時に挟まない位置  
に取り回しておいてください。

## クイックファスナーの取り付けかた



## 注意

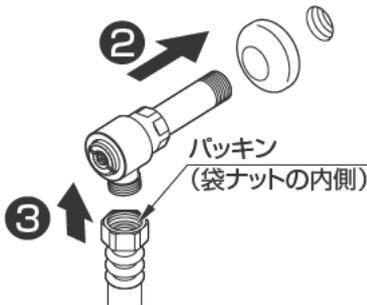
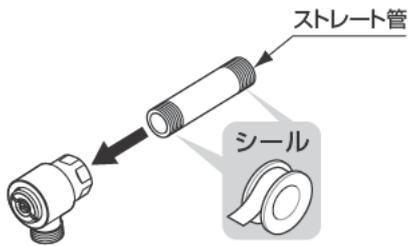
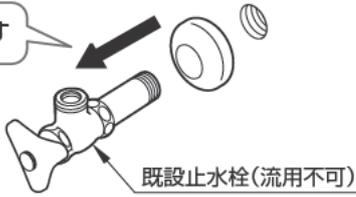


必ず守る

- ・分岐金具と給水ホースはすき間ができないように確実に押し込む
  - ・クイックファスナーは正しく取り付け、目視などで確認する
  - ・カバーが閉まらない場合は、必ずクイックファスナーを取り外して正しく接続し直す
- 取り付けが不十分な場合、外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

## 5 止水栓の取り替え

① 取り外す



### 注意

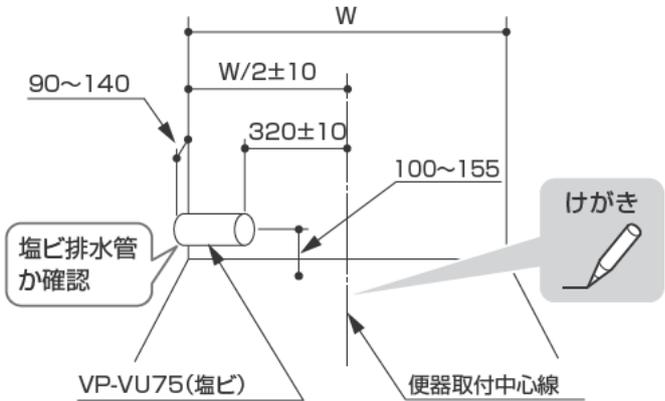
**止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください**

設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

## 左右抜きリモデル(排水心高さ100~155mm)

### 1 排水ソケット取付位置のけがき

① 給排水管の取り出し



※別売の排水ジョイント(HP82S)を必ず使用してください。

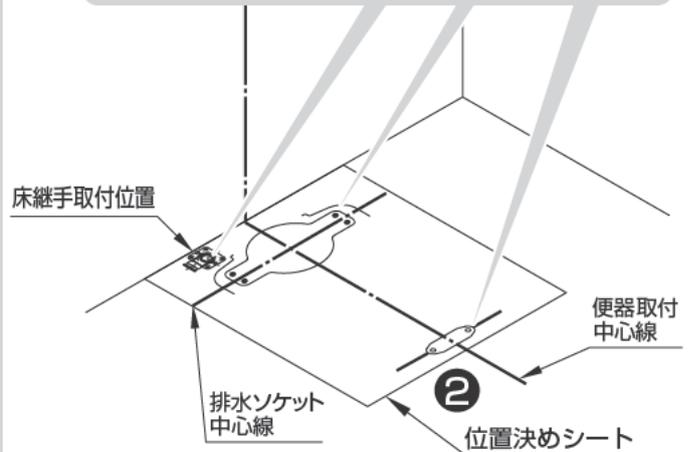
③

けがき → 下穴



固定片取付穴: 2カ所  
床継手取付穴: 4カ所  
排水ソケット取付穴: 4カ所

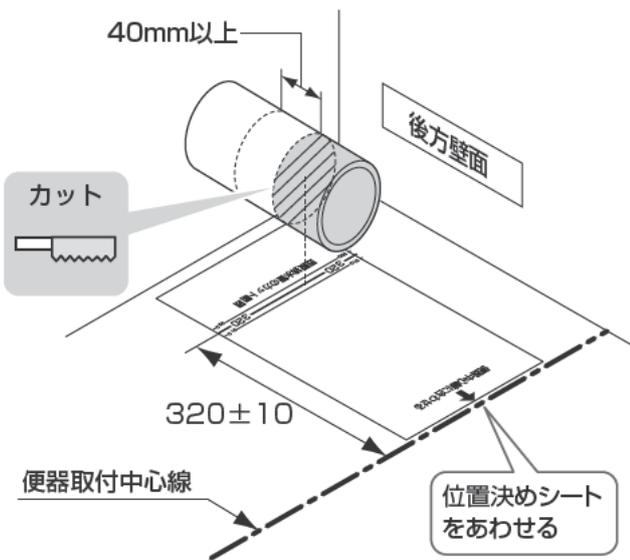
※タイル・コンクリート床の場合はコンクリート用プラグ(現場手配)を打ち込んでおく



※寸法出しは後壁から(幅木からではありません)。

## MEMO

後ろ抜き | 後ろ抜きモデル | 左右抜きモデル

**4** 既設排水管の長さ調整**ポイント**

排水ジョイントとの接続代は40mm以上確保する

**注意**

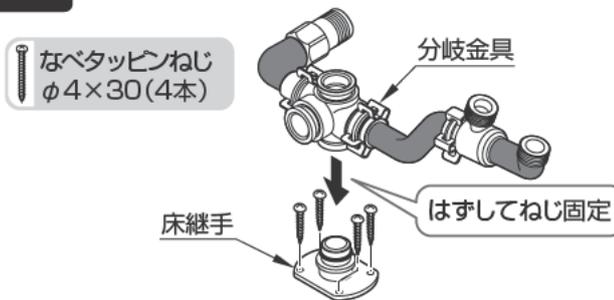
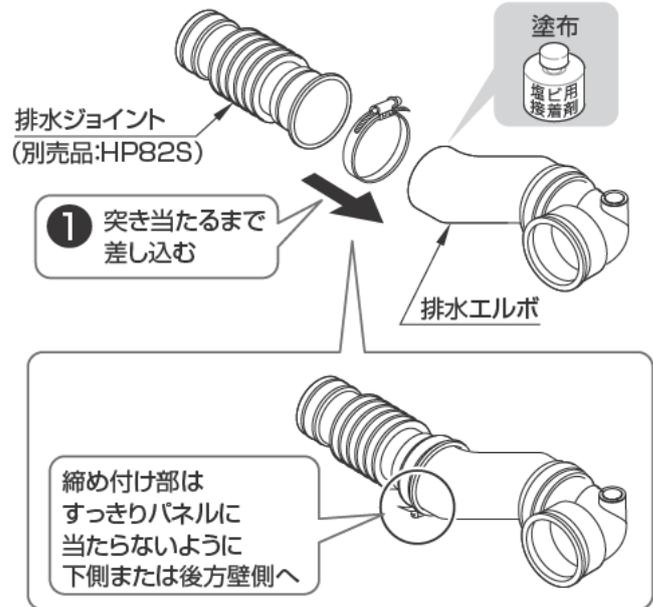
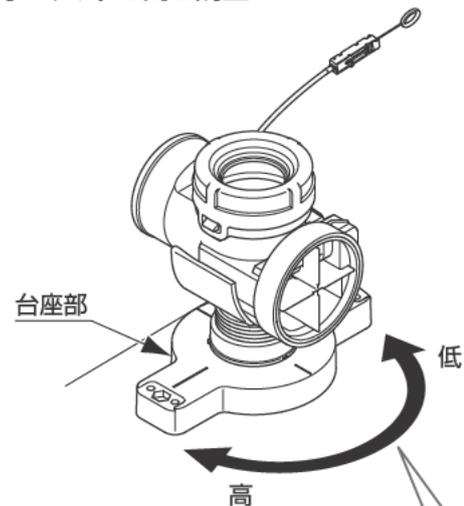
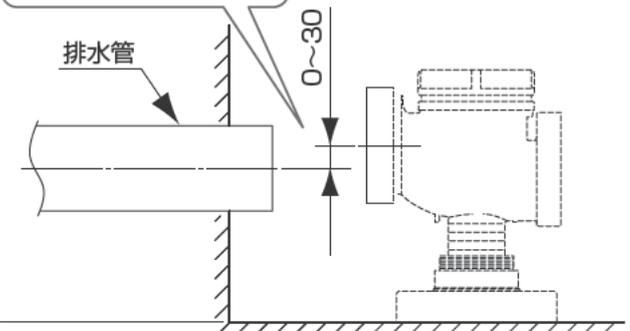
既設排水管切断面は、斜めにならないようにカットする

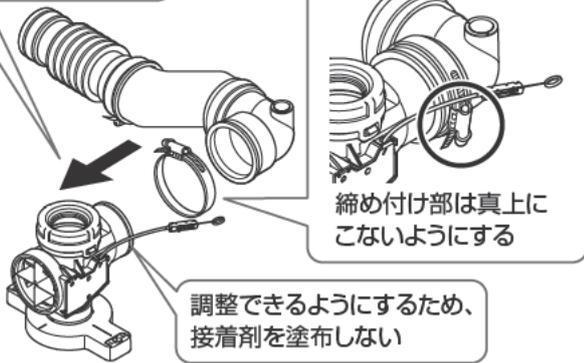
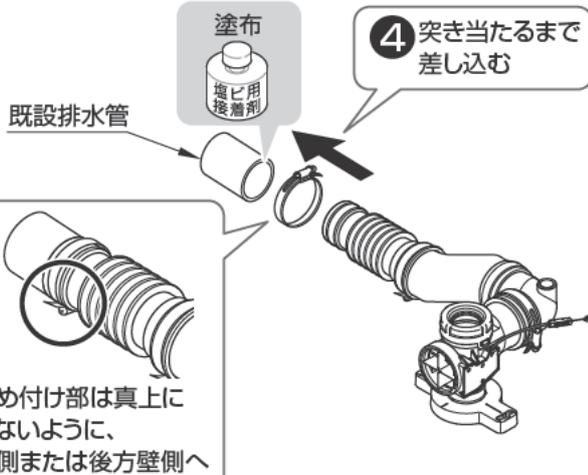
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



既設排水管切断面のバリなどは、必ず取り除く

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

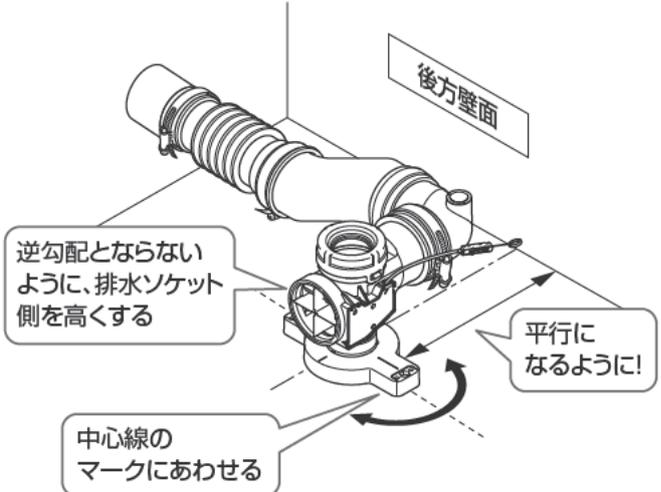
**2** 床継手の取り付け**3** 分岐金具の取り付け▶P.24「**3** 分岐金具の取り付け」**4** 給水ホースの接続▶P.24「**4** 給水ホースの接続」**5** 排水ソケットの取り付け**2** 排水ソケットの高さ調整既設排水管より  
低くならないように調整(例: 既設排水心高さ120mmの場合、  
排水ソケットの排水心高さは120~150mm)

**3** 突き当たるまで  
差し込む**4** 突き当たるまで  
差し込む**注意**

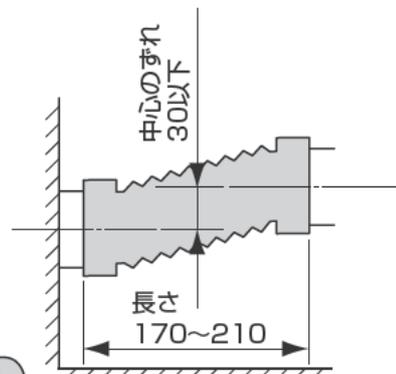
必ず守る

ホースバンドでの固定の際には、排水エルボや排水ジョイントにシワができないように締め付ける

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

**5** 排水ソケットの取り付け

## 【排水ジョイント調整範囲】

**注意**

必ず守る

排水ジョイントによる接続では、逆勾配とならないように注意する

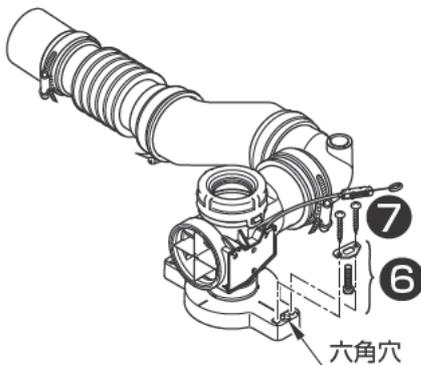
排水ジョイントや排水エルボがつぶれたり無理な力が加わっていないか確認する

器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

**注意**

必ず守る

排水ソケット台座部の六角穴に、六角ボルトの頭部を確実ににはめ込む  
便器がガタつくおそれがあります。



トラスタッピンねじ  
φ5×50(左右計4本)

**6** 止水栓の取り替え

▶P.25「5 止水栓の取り替え」

MEMO

## 手洗器 S サイズ

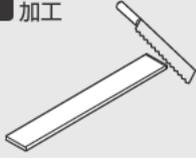
## 2-S.手洗器キャビネット・カウンター

「手洗器Mサイズ」の場合  
P.36を参照してください。

## カウンターの水平について

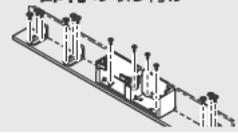
ブラケットおよびカウンターが水平となるように、スペーサーなど(現場手配)で必ず調整してください。  
壁仕上げの状態(垂直、目地、鏡面など)によって、カウンターの見ばえに影響が出ることがあります。

## 1 カウンター類の加工



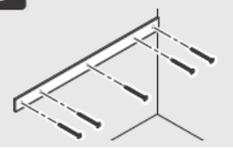
▶ P.28

## 2 上段カウンターの部材の取り付け



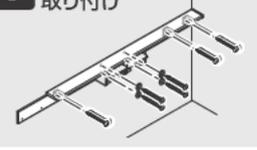
▶ P.29

## 3 上段補強棧の取り付け



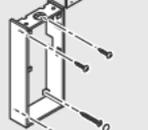
▶ P.31

## 4 上段カウンターの取り付け



▶ P.32

## 5 手洗器キャビネットの取り付け



▶ P.32

## 6 下段カウンターのカット



▶ P.32

## 7 下段カウンターの部材の取り付け



▶ P.32

## 8 下段補強棧の取り付け



▶ P.34

## 9 下段カウンターの取り付け

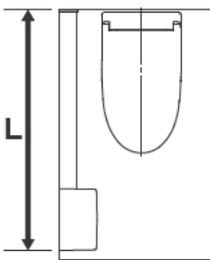


▶ P.35

## 1 カウンター類の加工

カウンターをカットする場合

## 奥行寸法Lの測定範囲



## ポイント

表面(化粧あり)を上にしてカットする



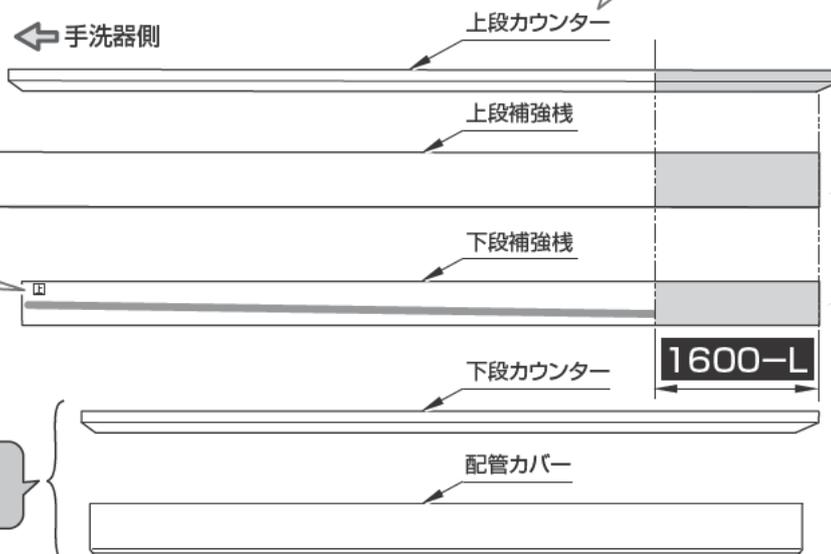
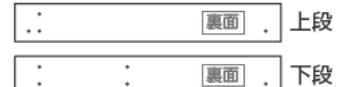
## 注意



カット面は滑らかに仕上げ  
お客様の手が触れ、けがをする  
おそれがあります。

必ず守る

カウンターの見分けかた



木口張り面:下向き  
表面:白

田マーク

カット

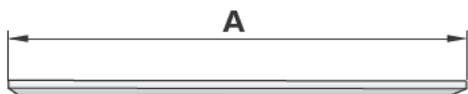
1600-L

下段カウンターと配管カバーは  
ここではカットしない

## 2 上段カウンターの部材 の取り付け

### ポイント

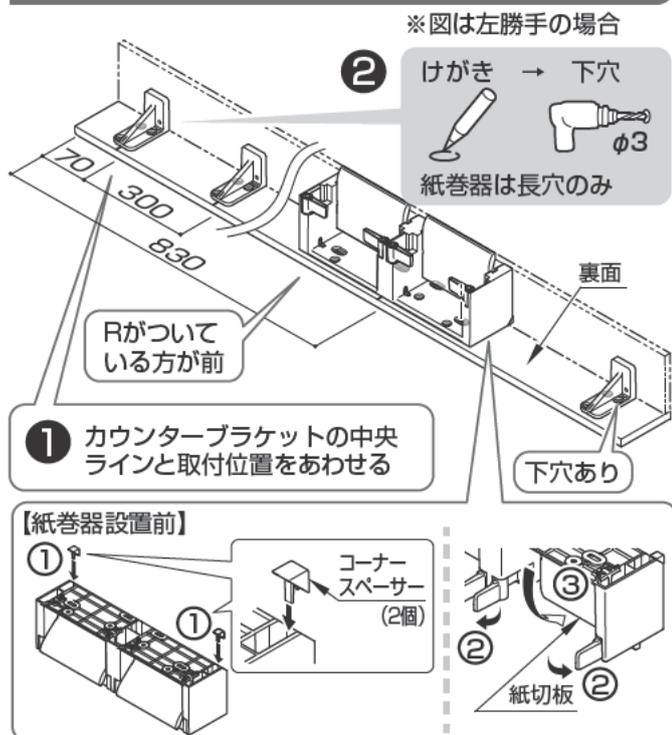
ブラケット類の裏面に  
上段補強枠をあてがい、  
固定する



### A寸法が1100mm以上の場合

※ブラケットは3カ所

樹脂製紙巻器の場合



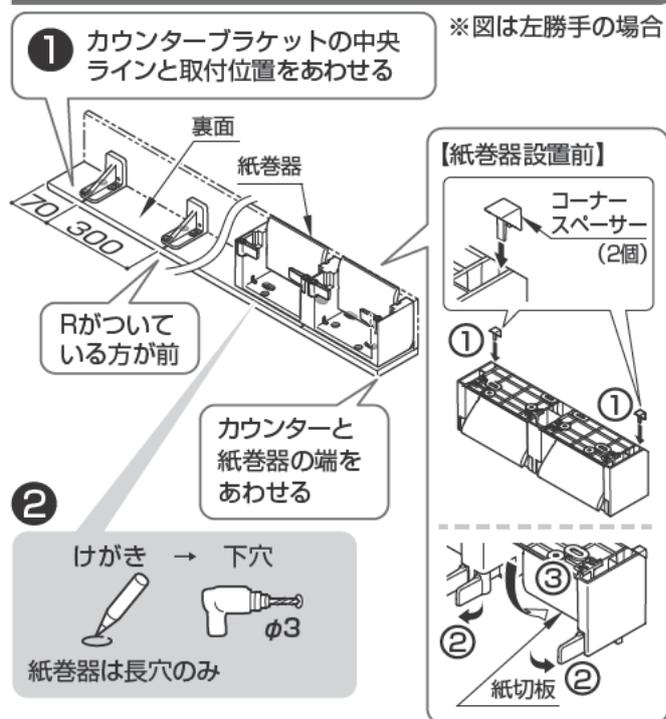
### ポイント

下穴の深さは5mmであける  
※貫通させないこと

### A寸法が1100mmより小さい場合

※ブラケットは2カ所

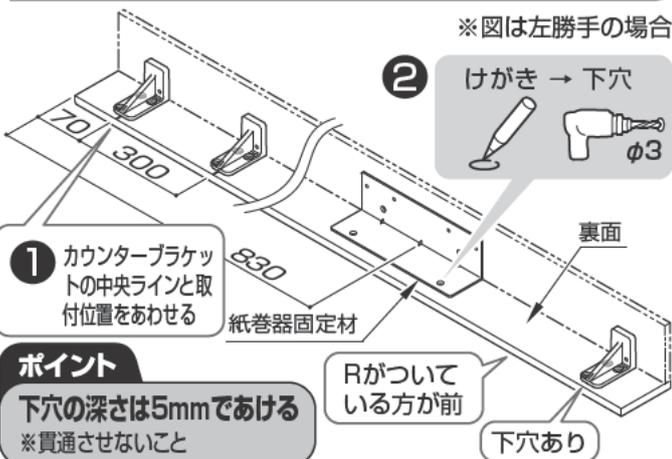
樹脂製紙巻器の場合



### 注意

紙切板は外さない  
紙切板が動作不良を起こすことがあります。

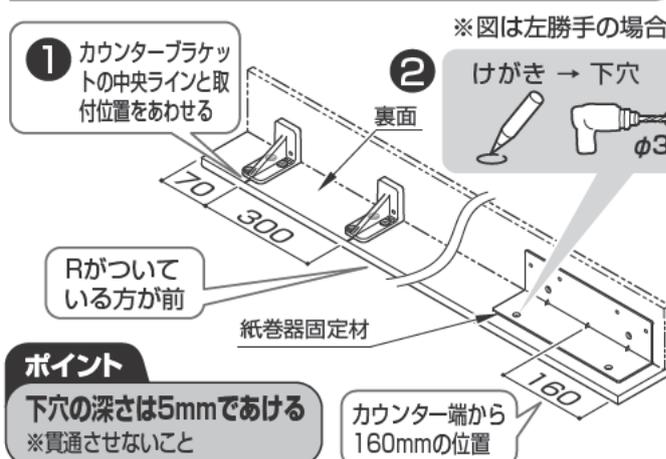
メタル製紙巻器の場合



### ポイント

下穴の深さは5mmであける  
※貫通させないこと

メタル製紙巻器の場合



### ポイント

下穴の深さは5mmであける  
※貫通させないこと

カウンター端から  
160mmの位置

Sサイズ

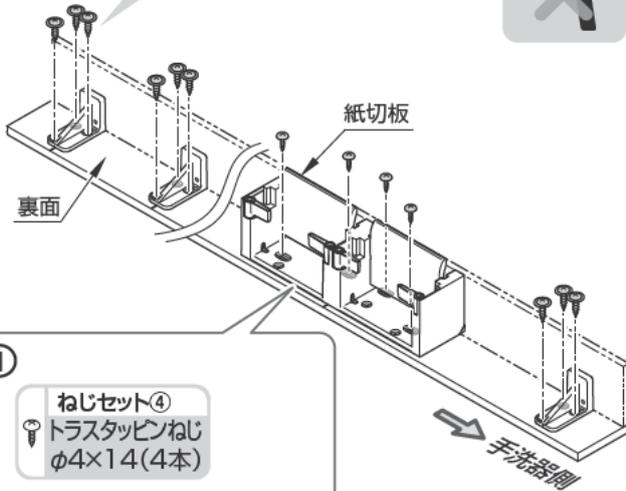
Mサイズ

## A寸法が1100mm以上の場合

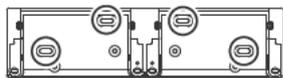
## 樹脂製紙巻器の場合

- ③ 座付なベタッピンねじ  
φ4×16(9本)

手締めで



- ① ねじセット④  
トラスッピンねじ  
φ4×14(4本)



【固定穴位置】

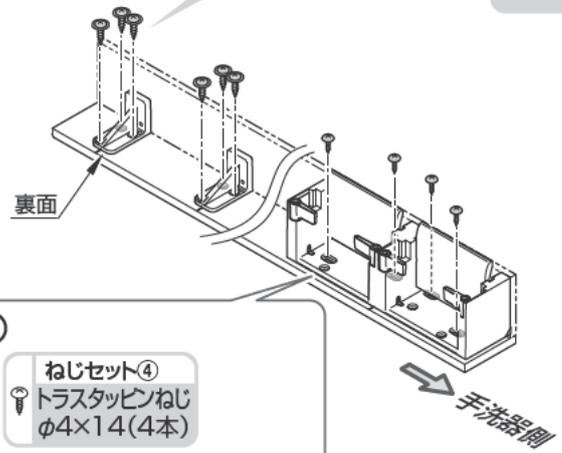
- ② 紙切板を元にもどす

## A寸法が1100mmより小さい場合

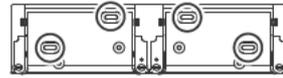
## 樹脂製紙巻器の場合

- ③ 座付なベタッピンねじ  
φ4×16(6本)

手締めで



- ① ねじセット④  
トラスッピンねじ  
φ4×14(4本)



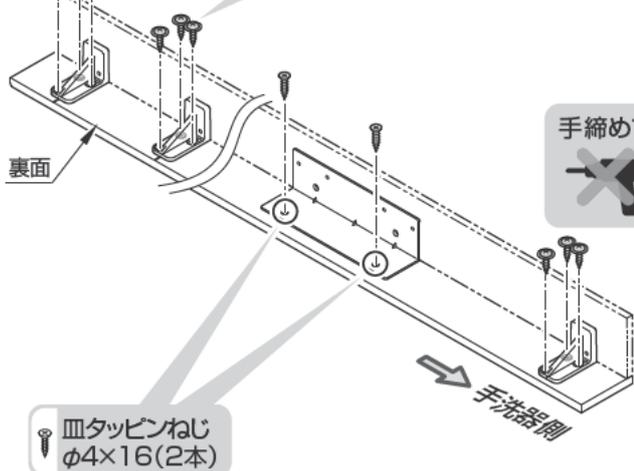
【固定穴位置】

- ② 紙切板を元にもどす

## メタル製紙巻器の場合

- ③ 座付なベタッピンねじ  
φ4×16(9本)

手締めで

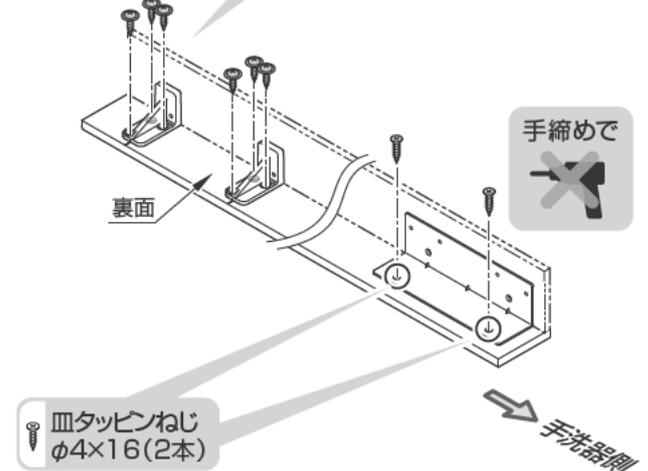


- 皿ッピンねじ  
φ4×16(2本)

## メタル製紙巻器の場合

- ③ 座付なベタッピンねじ  
φ4×16(6本)

手締めで

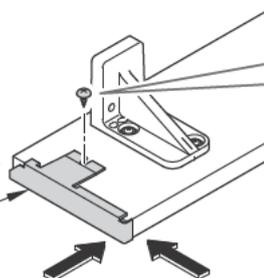


- 皿ッピンねじ  
φ4×16(2本)

④

- ① 固定  
ピッタリ

カウンターキャップ



- ② トラスッピンねじ  
φ4×10(1本)

手締めで



### 3 上段補強桟の取り付け

**1** けがき

**2** キャップの取り付け  
(上段補強桟のカット側)

座付なべタッピンねじ  
φ3×6(1本)

#### 壁裏補強なしの場合

100mm以下  
間柱 50

間柱用下穴が端部から  
100mm以下の場合50mmの下穴は不要

水平確認

間柱 35

間柱 受木 50

受木がある場合は  
受木中心

木口張り面: 下向き  
表面: 白

**3** 貫通穴φ5  
(壁にはあけない)

#### 壁裏補強ありの場合

水平確認

50

B

B/3

B/3

35

50

732

木口張り面: 下向き  
表面: 白

**3** 貫通穴φ5  
(壁にはあけない)

**4** けがき → 下穴 → ボードアンカー  
(オプション)

ねじ取付用: φ3  
ボードアンカー用: φ9

間柱 受木

間柱

間柱

間柱・受木にはねじ固定  
(ボードアンカーは  
取り付けない)

**5** 皿タッピンねじ  
φ4×40

※カウンターの長さによって、  
使用するねじの数が異なります。

水平確認

**5** 皿タッピンねじ  
φ4×40(4本)

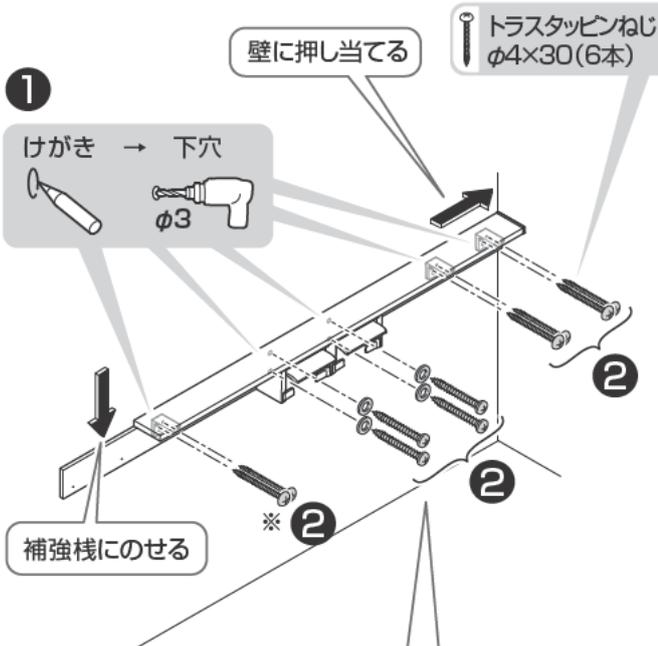
水平確認

**4** けがき → 下穴  
φ3

Sサイズ

Mサイズ

## 4 上段カウンターの取り付け



【樹脂紙巻器の場合】

ねじセット①

なべタッピンねじ φ4.5×40 (4本)

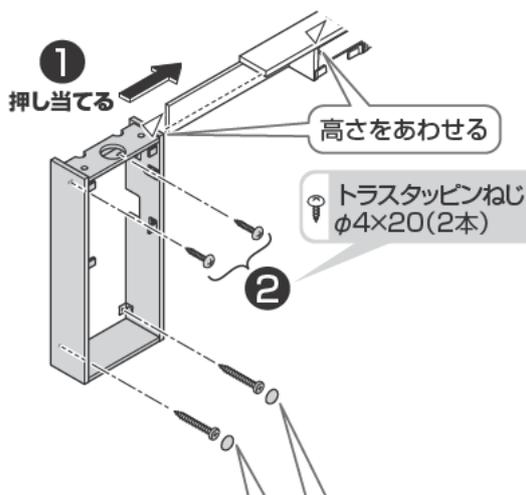
平座金 (4個)

【メタル紙巻器の場合】

皿タッピンねじ φ4×40 (2本)

※上段カウンター寸法が1100mmより小さい場合は手洗器側のブラケットなし

## 5 手洗器キャビネットの取り付け



けがき → 下穴※



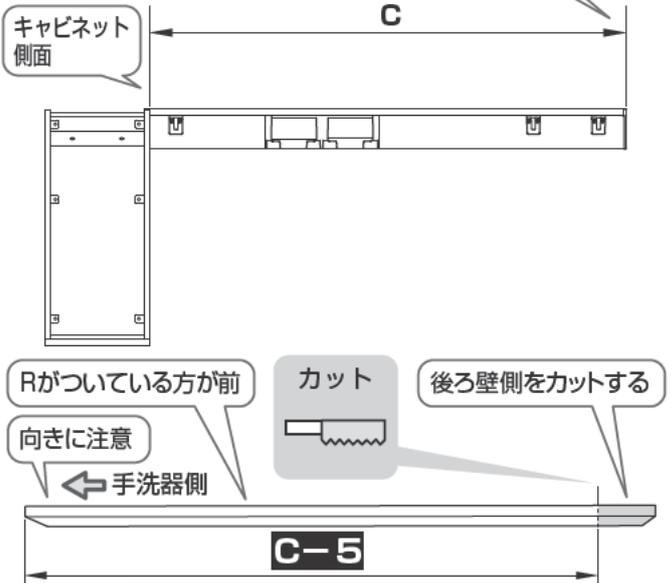
※【壁裏補強なしの場合】  
下穴 → ポードアンカー (オプション)



固定ねじ φ4.5×50 (2本)

## 6 下段カウンターのカット

1 カウンターをカットする



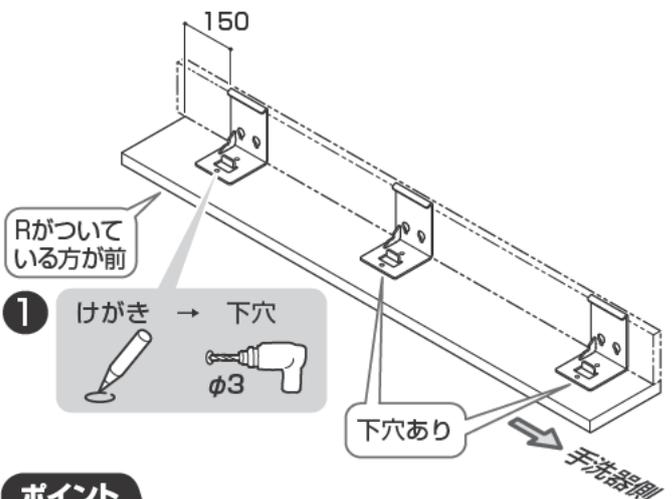
ポイント

表面(化粧あり)を上にしてカットする

## 7 下段カウンターの部材の取り付け

ポイント

ブラケット類の裏面に下段補強棧をあてがい、けがく

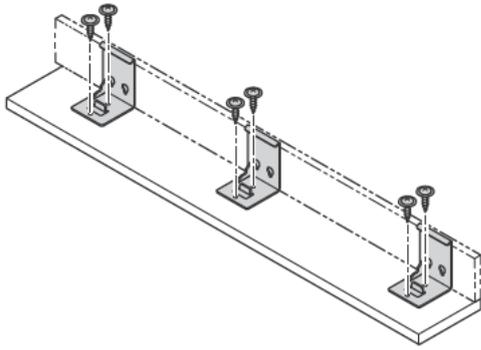


ポイント

下穴の深さは5mmであける  
※貫通させないこと

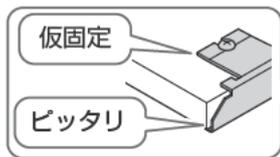
② 座付なべタッピンねじ  
φ4×16(6本)

手締めで

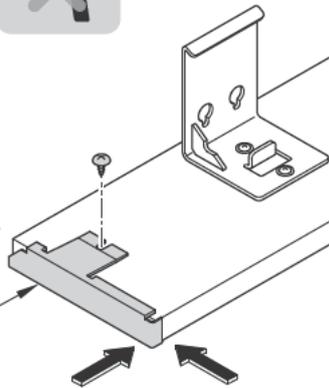


③ トラストタッピンねじ  
φ4×10(1本)

手締めで



カウンター  
キャップ



## MEMO

## MEMO

Sサイズ

Mサイズ

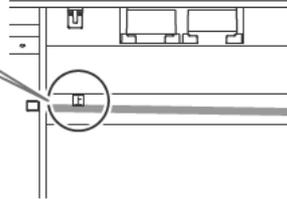
## 8 下段補強材の取り付け

## 壁裏補強なしの場合

## 注意

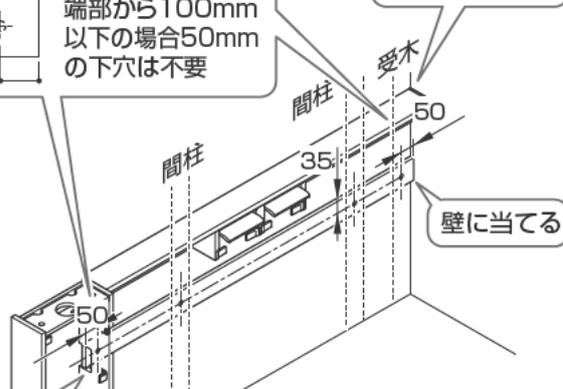
向きに注意!

Eマークを手洗器側に



100mm以下

間柱用下穴が  
端部から100mm  
以下の場合50mm  
の下穴は不要

受木がある場合は  
受木中心

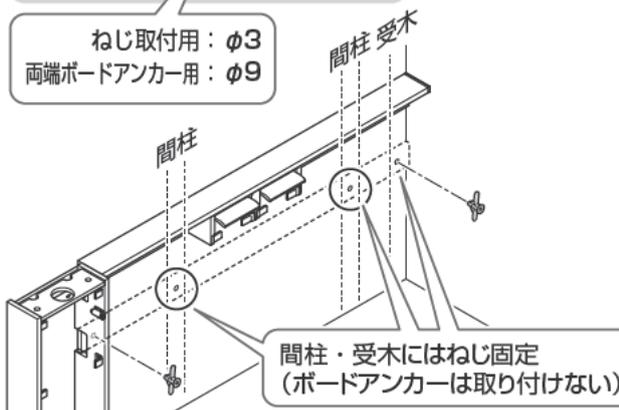
1 仮置き

切欠き部に  
差し込む2 貫通穴φ5  
(壁にはあけない)

下端を当てる

3 けがき → 下穴 → ボードアンカー  
(オプション)

ねじ取付用: φ3  
両端ボードアンカー用: φ9

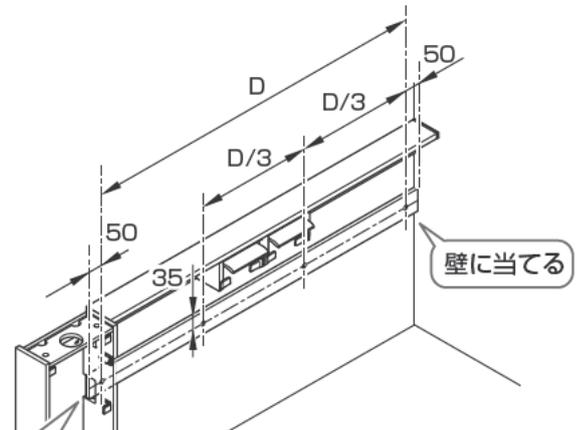
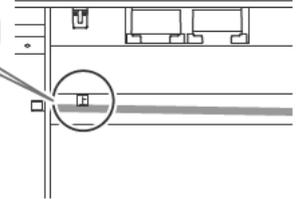


## 壁裏補強ありの場合

## 注意

向きに注意!

Eマークを手洗器側に



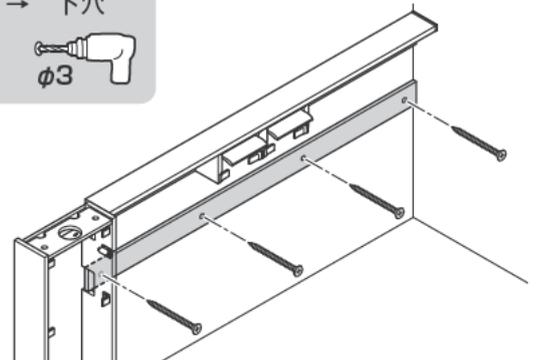
1 仮置き

切欠き部に  
差し込む2 貫通穴φ5  
(壁にはあけない)

下端を当てる

3 皿タッピンねじ  
φ4×40(4本)

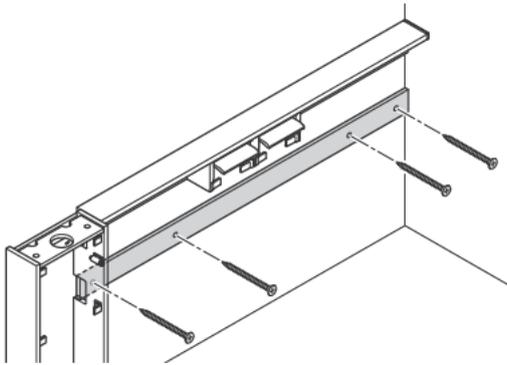
けがき → 下穴



## 壁裏補強なしの場合

4 皿タッピンねじ  
φ4×40

※カウンターの長さによって、使用するねじの数が異なります。



## MEMO

## 9 下段カウンターの取り付け

手洗器キャビネットに  
押し当てる

補強棧にのせる

1

けがき → 下穴

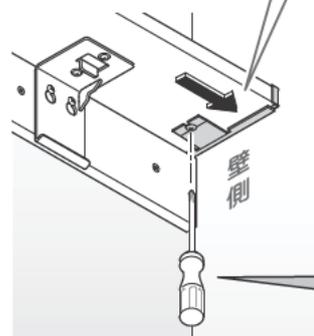


φ3

トラスタッピンねじ  
φ4×20(6本)

2

キャップを壁側に当てる



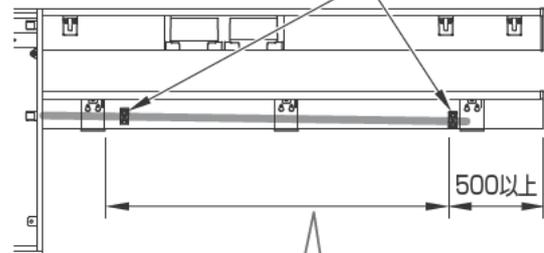
ポイント

ドライバーにて  
手締めする

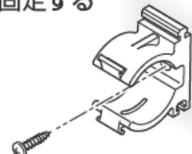
3

なべタッピンねじ  
φ4×16(2本)

配管支持材



補強棧の線上でなるべく離して  
固定する



凸が上

## 手洗器 M サイズ

## 2-M.手洗器キャビネット・カウンター

「手洗器Sサイズ」の場合  
P.28を参照してください。

## カウンターの水平について

ブラケットおよびカウンターが水平となるように、スペーサーなど(現場手配)で必ず調整してください。  
壁仕上げの状態(垂直、目地、鏡面など)によって、カウンターの見ばえに影響が出ることがあります。

## 1 カウンター類の加工



▶P.36

## 2 上段カウンター部材の取り付け



▶P.37

## 3 上段補強木の取り付け



▶P.39

## 4 上段カウンターの取り付け



▶P.40

## 5 手洗器キャビネットの加工



▶P.40

## 6 手洗器キャビネットの取り付け



▶P.40

## 7 下段カウンターのカット



▶P.41

## 8 下段カウンターの部材の取り付け



▶P.41

## 9 下段補強木の取り付け



▶P.42

## 10 下段カウンターの取り付け

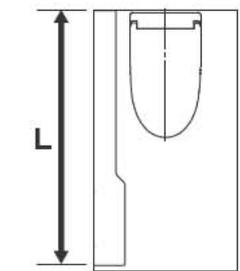


▶P.43

## 1 カウンター類の加工

カウンターをカットする場合

## 奥行寸法Lの測定範囲



## ポイント

表面(化粧あり)を上にしてカットする



## 注意



カット面は滑らかに仕上げる  
お客様の手が触れ、けがをする  
おそれがあります。

木口張り面:下向き  
表面:白

⊕マーク

下段カウンターと配管カバーは  
ここではカットしない1  
カット

手締めで



アングル材  
座付なベタタッピンねじ  
φ4×16(2本)

アングル材

アングル材(白)

手締めで

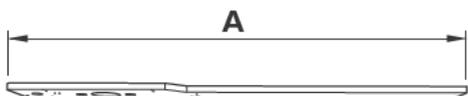


アングル材(白)  
座付なベタタッピンねじ  
φ4×16(1本)

## 2 上段カウンターの部材 の取り付け

### ポイント

ブラケット類の裏面に  
上段補強枠をあてがい、  
固定する

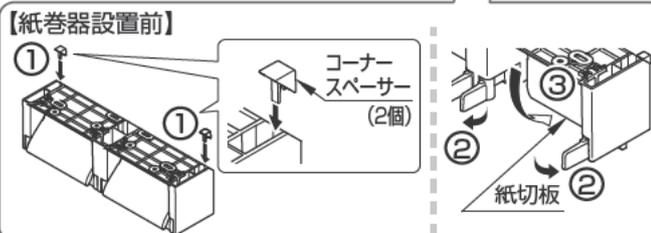
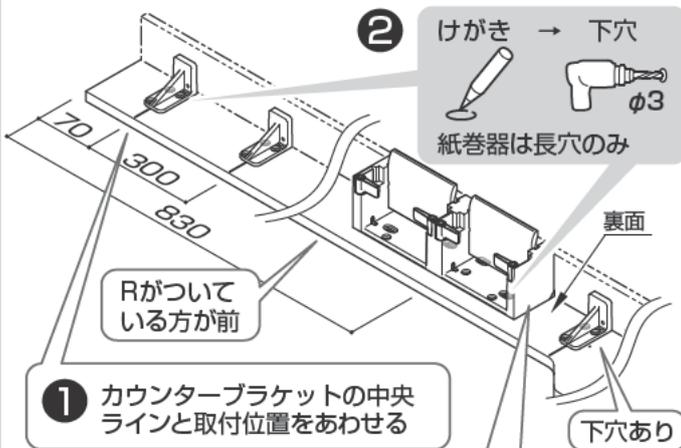


### A寸法が1550mm以上の場合

※ブラケットは3カ所

樹脂製紙巻器の場合

※図は左勝手の場合



### ポイント

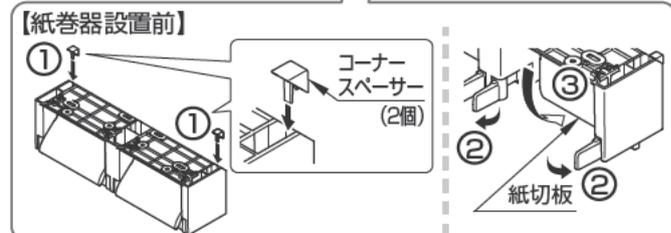
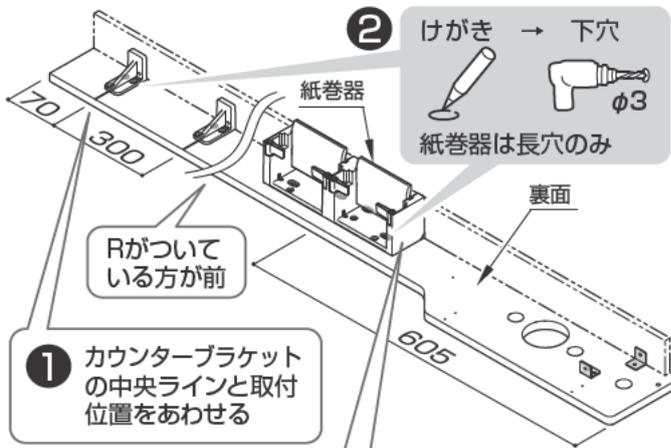
下穴の深さは5mmであける  
※貫通させないこと

### A寸法が1550mmより小さい場合

※ブラケットは2カ所

樹脂製紙巻器の場合

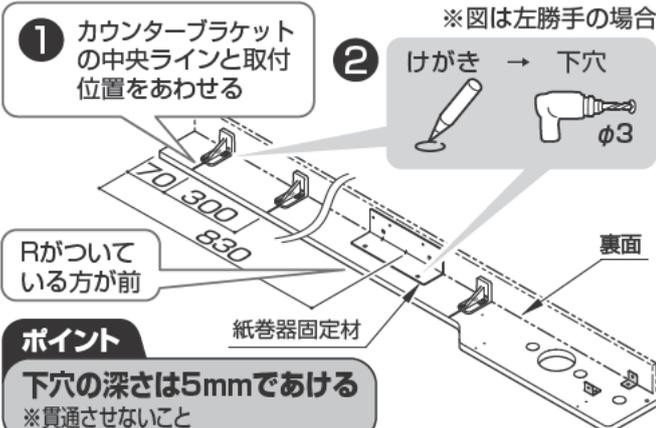
※図は左勝手の場合



### 注意

紙切板は外さない  
紙切板が動作不良を起こすことがあります。

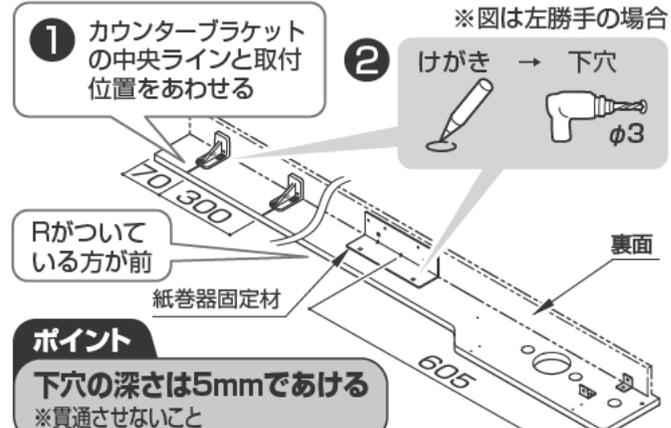
メタル製紙巻器の場合



### ポイント

下穴の深さは5mmであける  
※貫通させないこと

メタル製紙巻器の場合



### ポイント

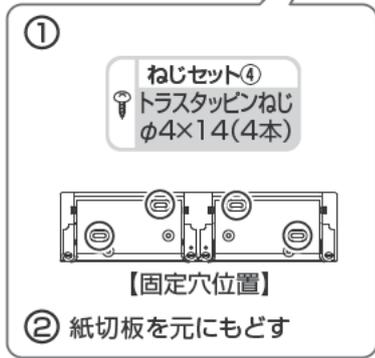
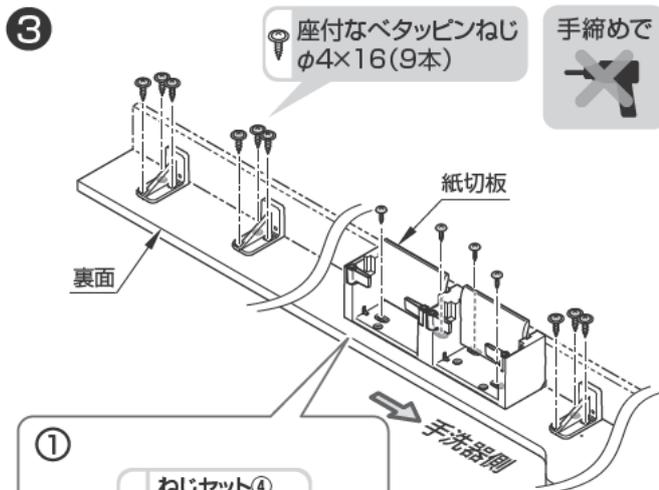
下穴の深さは5mmであける  
※貫通させないこと

Sサイズ

Mサイズ

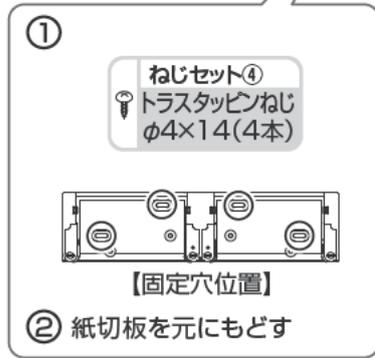
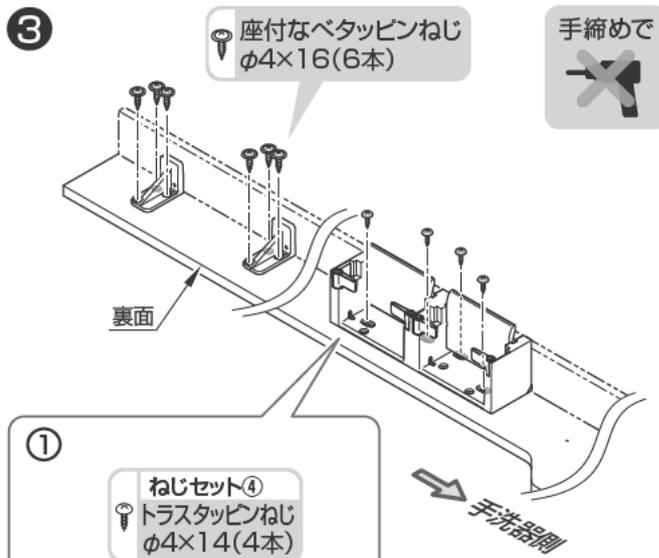
A寸法が1550mm以上の場合

樹脂製紙巻器の場合

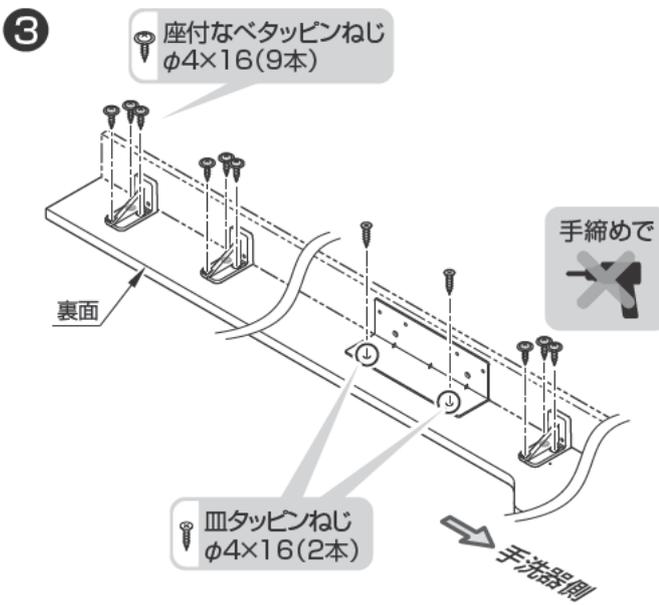


A寸法が1550mmより小さい場合

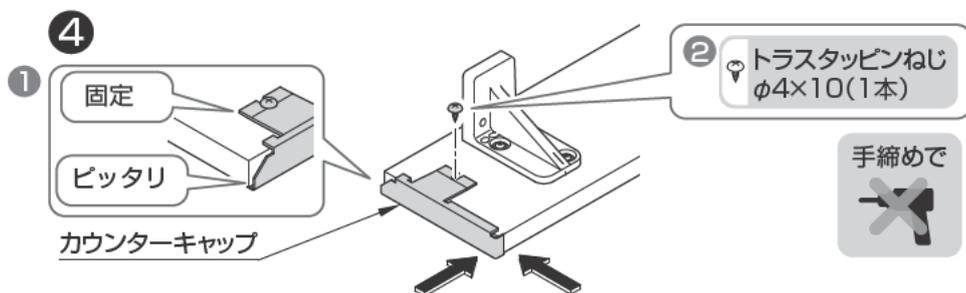
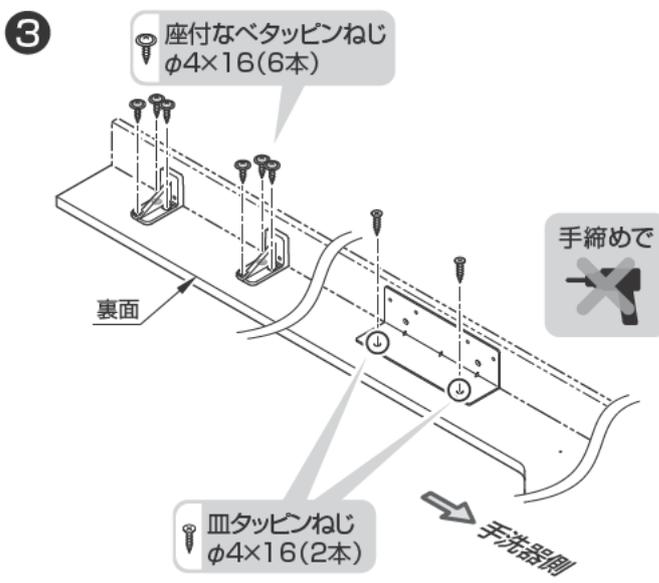
樹脂製紙巻器の場合



メタル製紙巻器の場合



メタル製紙巻器の場合



### 3 上段補強桟の取り付け

**1** けがき

**2** キャップの取り付け  
(上段補強桟のカット側)

座付なベタッピンねじ  
φ3×6(1本)

#### 壁裏補強なしの場合

100mm以下  
間柱 50

間柱用下穴が端部から  
100mm以下の場合50mmの下穴は不要

水平確認

間柱 35

間柱 受木 50

受木がある場合は  
受木中心

木口張り面: 下向き  
表面: 白

**3** 貫通穴φ5  
(壁にはあけない)

#### 壁裏補強ありの場合

水平確認

50

B

B/3

B/3

35

50

732

木口張り面: 下向き  
表面: 白

**3** 貫通穴φ5  
(壁にはあけない)

**4** けがき → 下穴 → ボードアンカー  
(オプション)

ねじ取付用: φ3  
ボードアンカー用: φ9

間柱 受木

間柱

間柱

間柱・受木にはねじ固定  
(ボードアンカーは  
取り付けない)

**5** 皿タッピンねじ  
φ4×40(4本)

水平確認

**4** けがき → 下穴  
φ3

**5** 皿タッピンねじ  
φ4×40

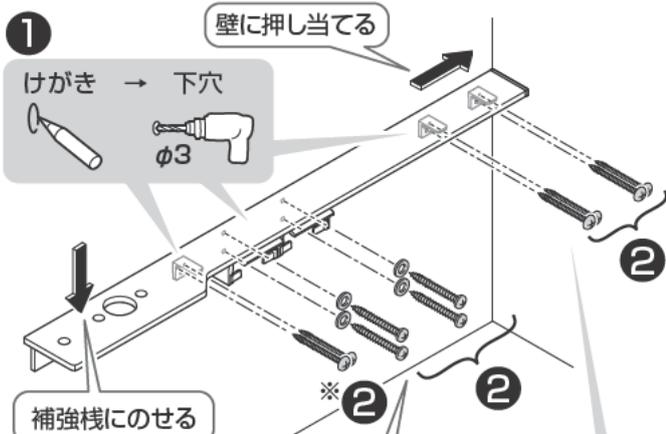
※カウンターの長さによって、  
使用するねじの数が異なります。

水平確認

Sサイズ

Mサイズ

## 4 上段カウンターの取り付け



【樹脂紙巻器の場合】

ねじセット①

なべタッピンねじ  $\phi 4.5 \times 40$  (4本) 平座金 (4個)

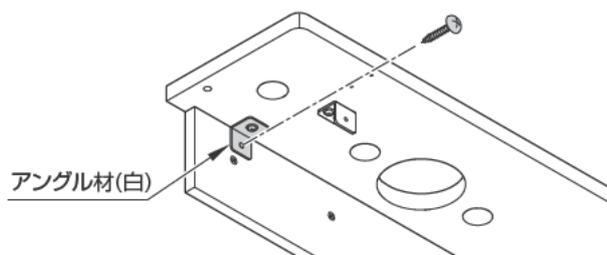
【メタル紙巻器の場合】

皿タッピンねじ  $\phi 4 \times 40$  (2本)

トラスタッピンねじ  $\phi 4 \times 30$  (6本)

※上段カウンター寸法が1550mmより小さい場合は  
手洗器側のブラケットなし

③ トラスタッピンねじ  $\phi 4 \times 20$  (1本)



MEMO

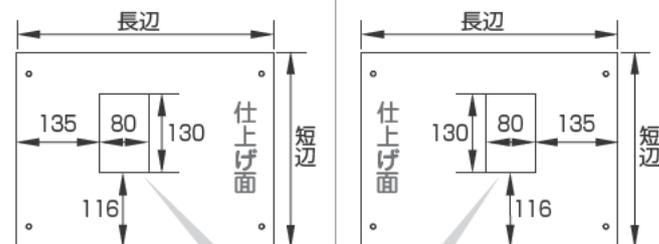
## 電気温水器付自動水栓の場合

## 5 手洗器キャビネットの加工

背板にコンセント用の穴を加工

【左勝手】

【右勝手】

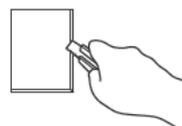


カット

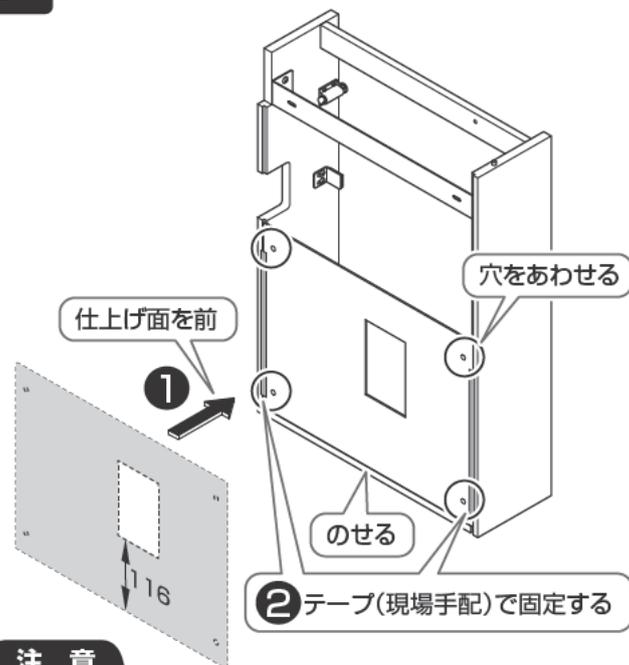
背板に開口

ポイント

小型のノコギリを使用すると  
簡単にあけられます。

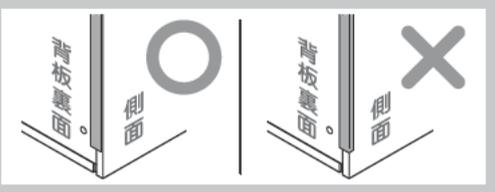


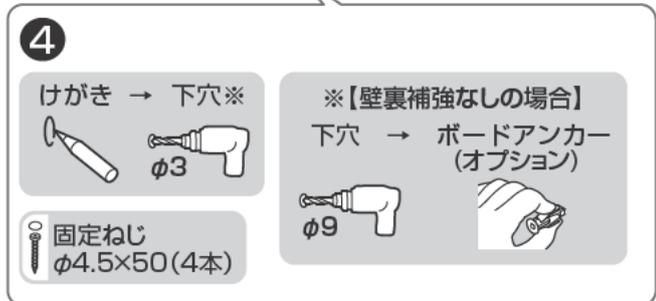
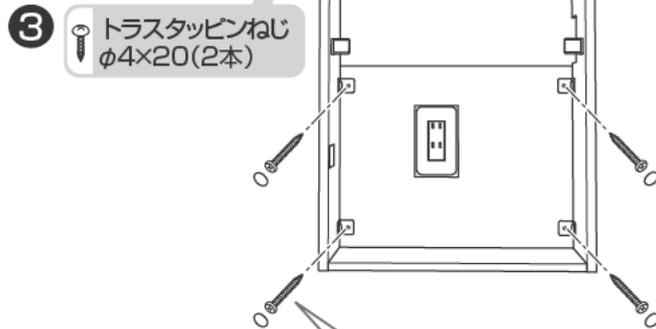
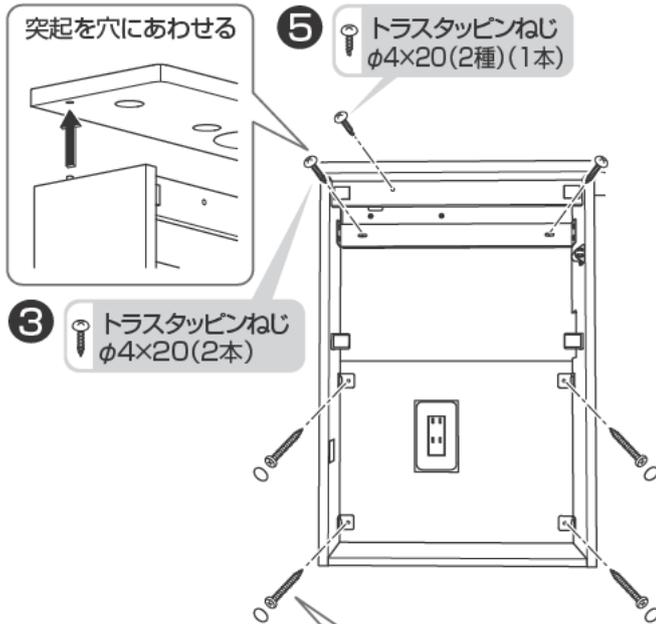
## 6 手洗器キャビネットの取り付け



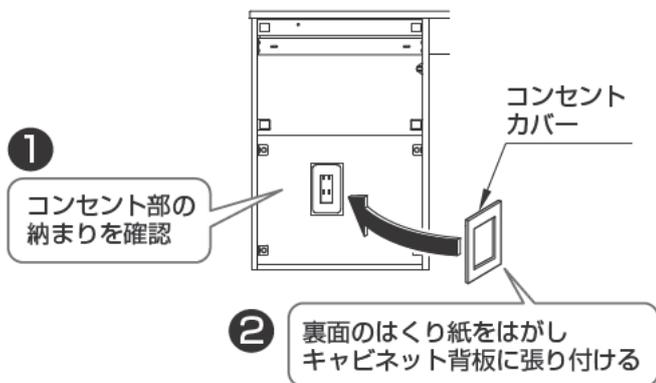
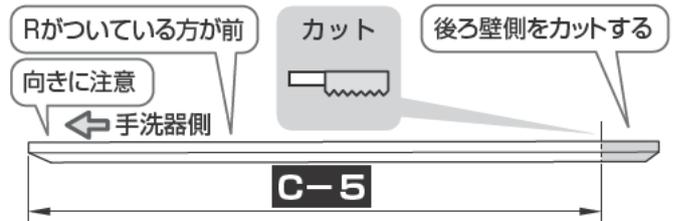
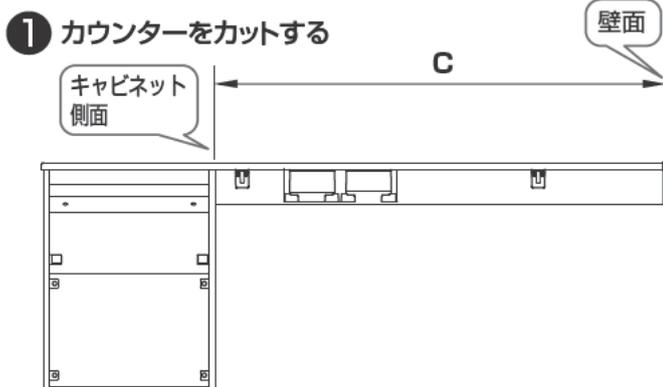
注意

側面にテープがかからないようにする





## コンセントがある場合

**7** 下段カウンターのカット

## ポイント

表面(化粧あり)を上にしてカットする

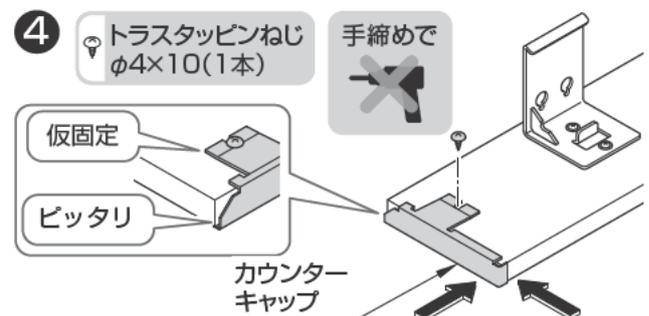
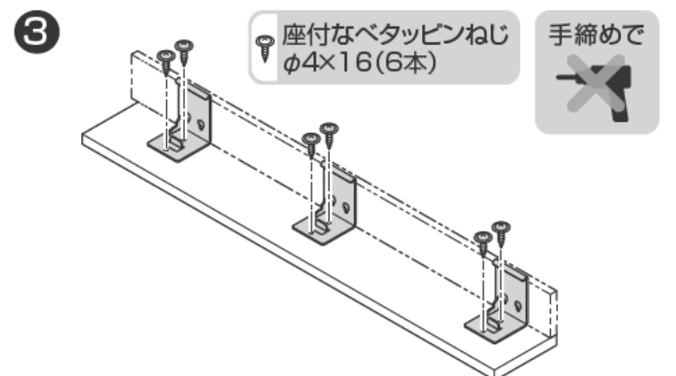
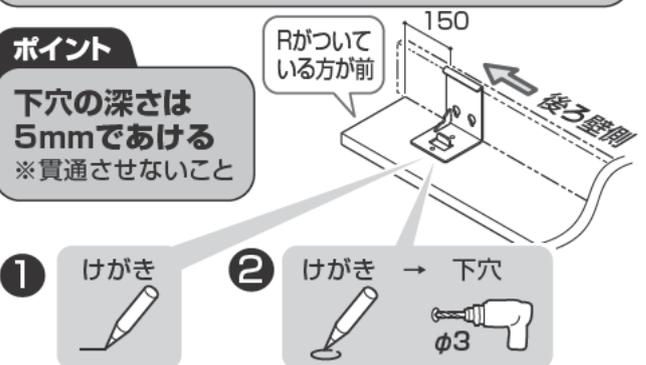
**8** 下段カウンターの部材の取り付け

## ポイント

ブラケット類の裏面に下段補強桟をあてがい、けがく



## ポイント

下穴の深さは  
5mmであける  
※貫通させないこと

Sサイズ

Mサイズ

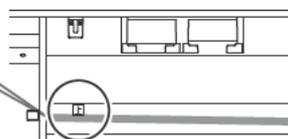
# 9 下段補強材の取り付け

## 壁裏補強なしの場合

**注意**

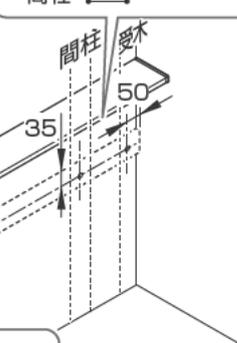
向きに注意!

☒マークを手洗器側に



**2** 貫通穴φ5  
(壁にはあけない)

100mm以下 間柱用下穴が  
端部から100mm  
以下の場合50mm  
の下穴は不要

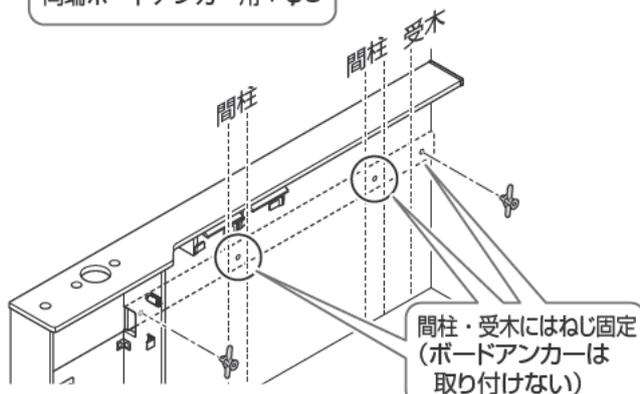


**1** 仮置き  
切欠き部に  
差し込む  
下端を当てる

**3** けがき → 下穴 → ボードアンカー  
(オプション)



ねじ取付用: φ3  
両端ボードアンカー用: φ9

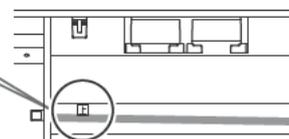


## 壁裏補強ありの場合

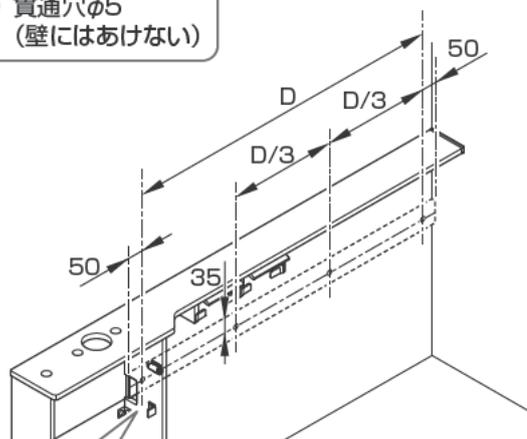
**注意**

向きに注意!

☒マークを手洗器側に



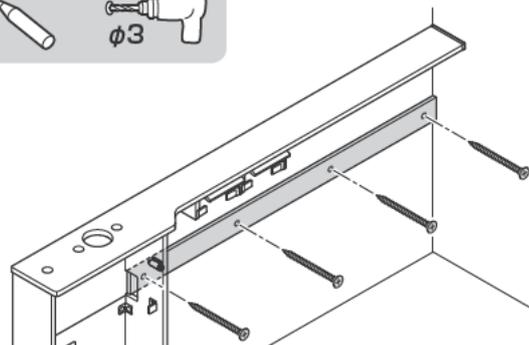
**2** 貫通穴φ5  
(壁にはあけない)



**1** 仮置き  
切欠き部に  
差し込む  
下端を当てる

**3** 皿タッピンねじ  
φ4×40(5本)

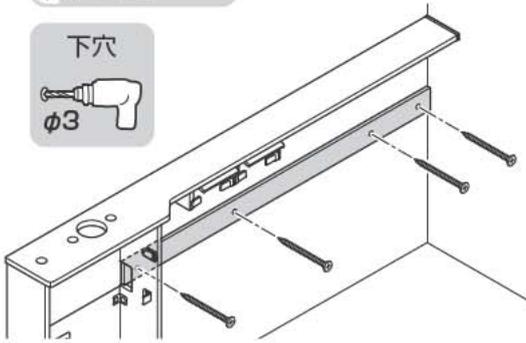
けがき → 下穴  
φ3



## 壁裏補強なしの場合

- 4 皿タッピンねじ  $\phi 4 \times 40$  ※カウンターの長さによって、使用するねじの数異なります。

下穴

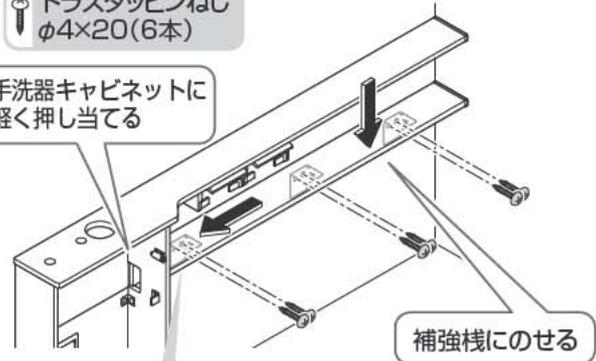


MEMO

## 10 下段カウンターの取り付け

- 1 トラストタッピンねじ  $\phi 4 \times 20$  (6本)

- ① 手洗器キャビネットに軽く押し当てる

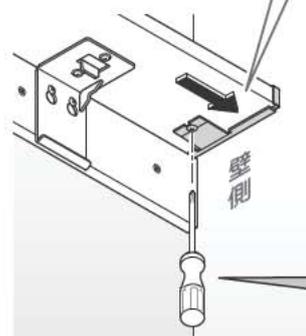


- ② けがき → 下穴



2

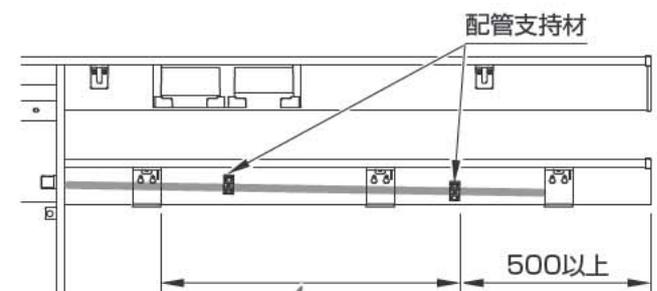
キャップを壁側に当てる



ポイント

ドライバーにて手締めする

- 3 なべタッピンねじ  $\phi 4 \times 16$  (2本)



補強棧の線上でなるべく離して固定する



2

キャビネット・カウンター

後ろ抜き

後ろ抜きリモデル | 左右抜きリモデル

# 3.手洗給水・排水部

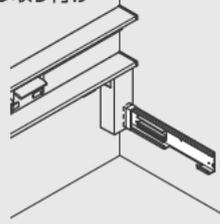
給水隠ぺいタイプ  
便器品番:CS989BDP

「給水露出タイプ」の場合  
P.47を参照してください。

※図はMサイズです。Sサイズも同様です。

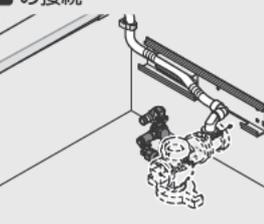
後ろ抜き(排水心高さ120mm)

## 1 配管ブラケットの取り付け



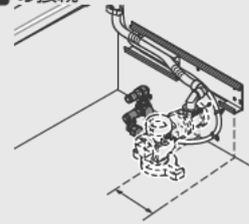
▶P.44

## 2 手洗器用排水ホースの接続



▶P.45

## 3 フレキホース(手洗器用)の接続



▶P.46

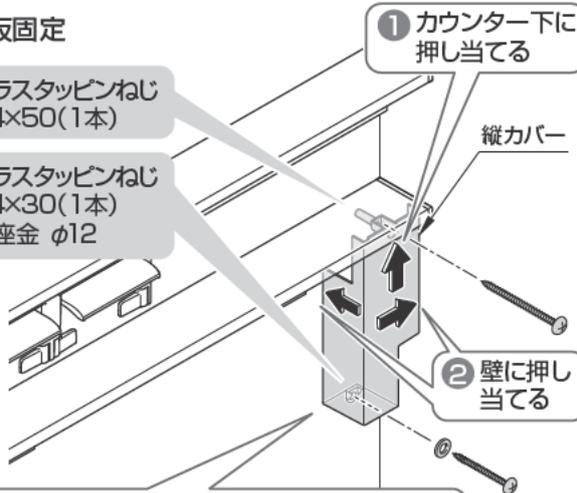
## 後ろ抜き (排水心高さ120mm)

### 1 配管ブラケットの取り付け

#### 1 仮固定

トラスタッピンねじ  
φ4×50(1本)

トラスタッピンねじ  
φ4×30(1本)  
平座金 φ12



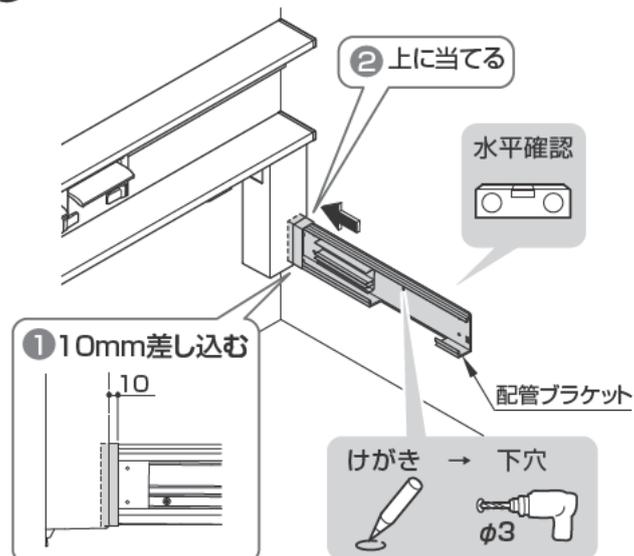
けがき → 下穴  
φ3

※【下地が石こうボードの場合】

けがき → 下穴※ → ボードアンカー



### 3 配管ブラケット位置けがき

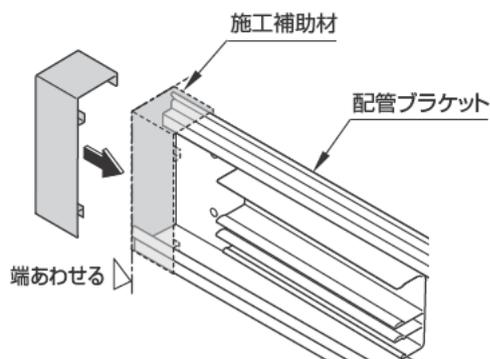


※【下地が石こうボードの場合】

けがき → 下穴※ → ボードアンカー



### 2 配管ブラケットに施工補助材を取り付ける



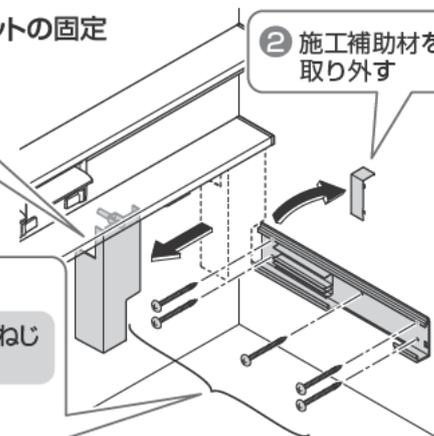
### 4 配管ブラケットの固定

1 縦カバーを取り外す

2 施工補助材を取り外す

3 トラスタッピンねじ  
φ4×40(5本)

水平確認



3

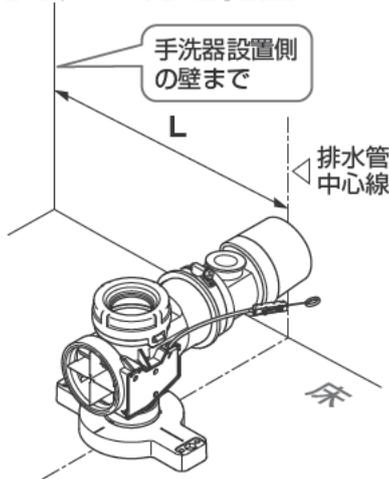
手洗給水・排水部

## 2 手洗器用排水ホースの接続

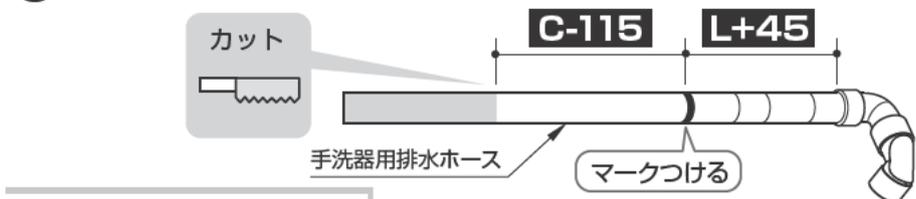
### 配管固定材の取り付け



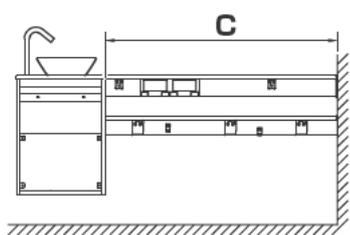
### 寸法Lの測定範囲



### ① 手洗器用排水ホースのカット



### 寸法Cの測定範囲



### ⚠ 注意

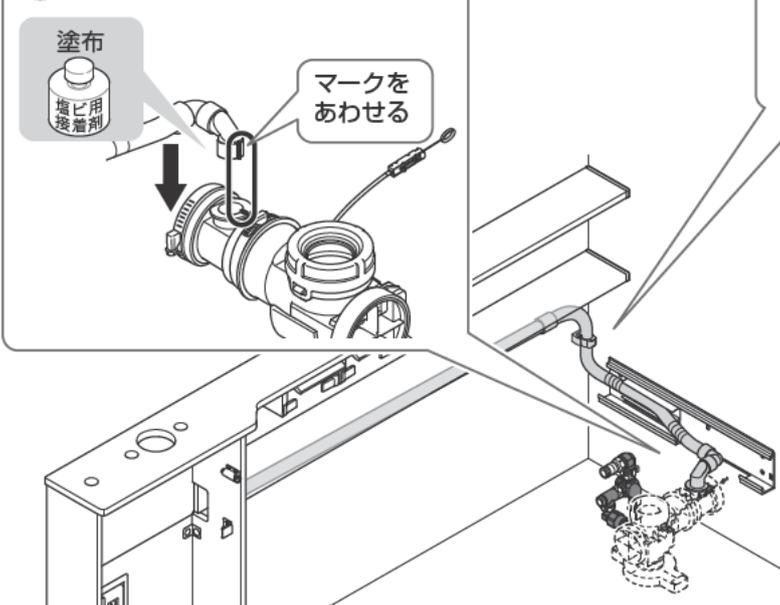
ホースカット時、押切タイプのパイプカッターは使用しない  
ホースの断面が変形し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

必ず守る

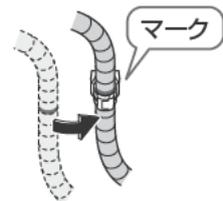


### ② 手洗器用排水ホースの接続

#### ① 排水ホースをソケットにつける

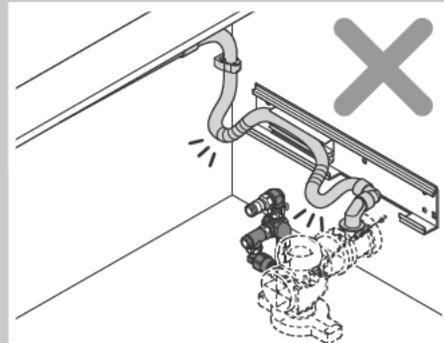


#### ② ホースを配管固定材に固定



### 逆勾配注意

手洗器用排水ホースがたるまないようにする  
手洗器から異音発生のおそれがあります。

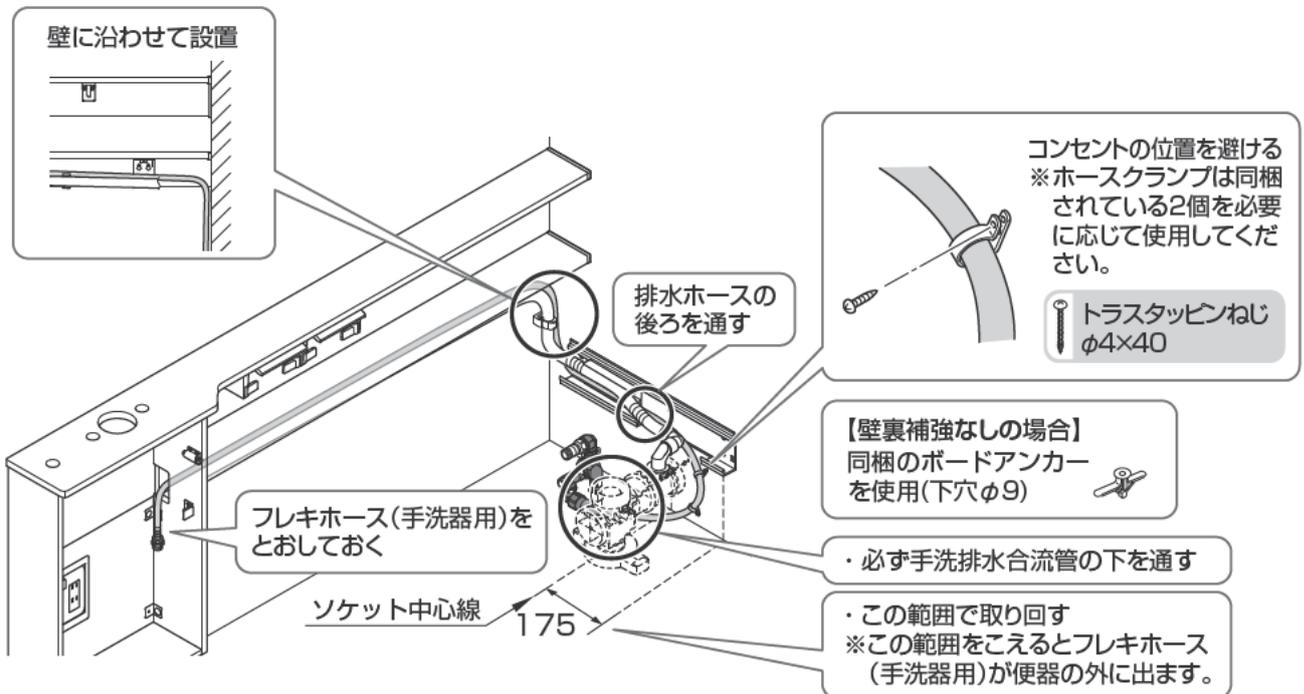


後ろ抜き

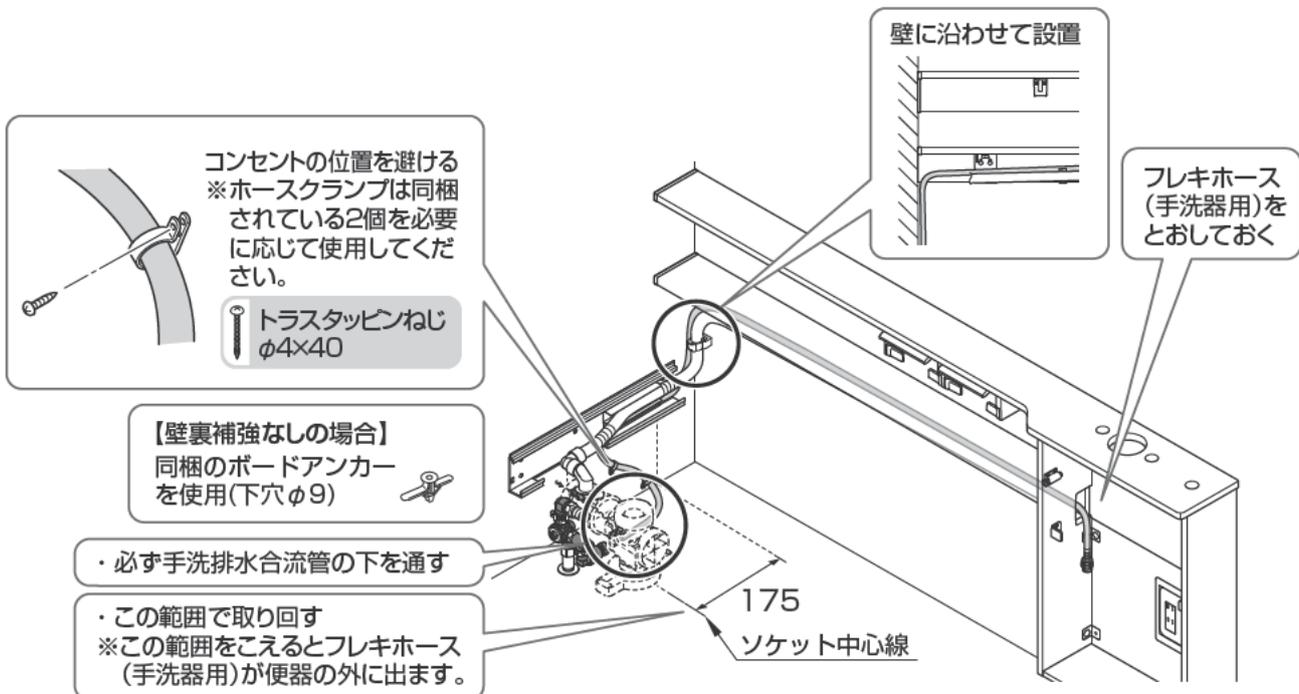
後ろ抜きリモデル | 左右抜きリモデル

### 3 フレキホース(手洗器用)の接続

左勝手



右勝手



MEMO

# 3.手洗給水・排水管

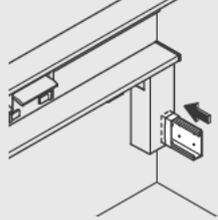
給水露出タイプ  
便器品番:CS989BDX

「給水隠ぺいタイプ」の場合  
P.44を参照してください。

※図はMサイズです。Sサイズも同様です。

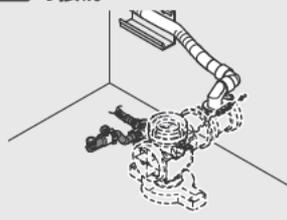
後ろ抜きリモデル  
左右抜きリモデル

## 1 配管ブラケットの取り付け



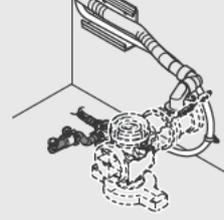
▶P.47

## 2 手洗器用排水ホースの接続



▶P.48

## 3 フレキホース(手洗器用)の接続

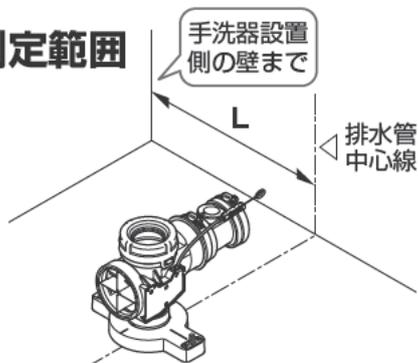


▶P.49

### 後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル

## 1 配管ブラケットの取り付け

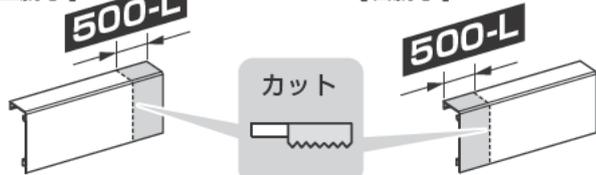
寸法Lの測定範囲



### 1 配管カバーのカット

【左勝手】

【右勝手】



### 2 仮固定

トラスタッピンねじ  
φ4×50(1本)

トラスタッピンねじ  
φ4×30(1本)  
平座金 φ12

縦カバー

2 壁に押し当てる

けがき → 下穴

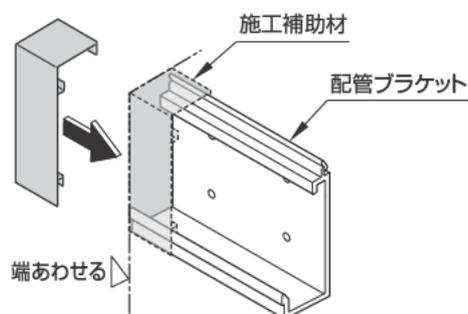


※【下地が石こうボードの場合】

けがき → 下穴※ → ボードアンカー



### 3 配管ブラケットに施工補助材を取り付ける



### 4 配管ブラケット位置けがき



2 上に当てる

1 10mm差し込む

水平確認

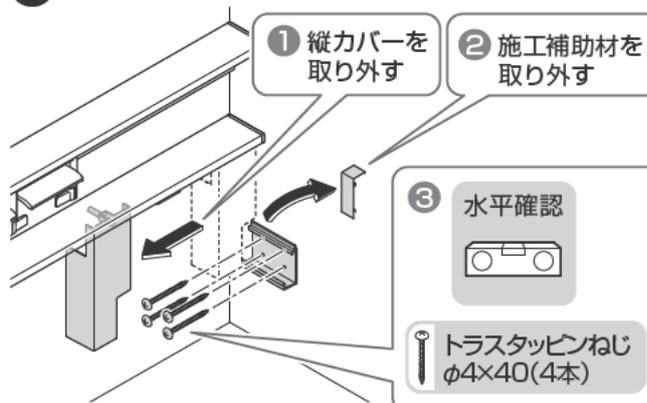
けがき → 下穴

※【下地が石こうボードの場合】

けがき → 下穴※ → ボードアンカー



### 5 配管ブラケットの固定



1 縦カバーを取り外す

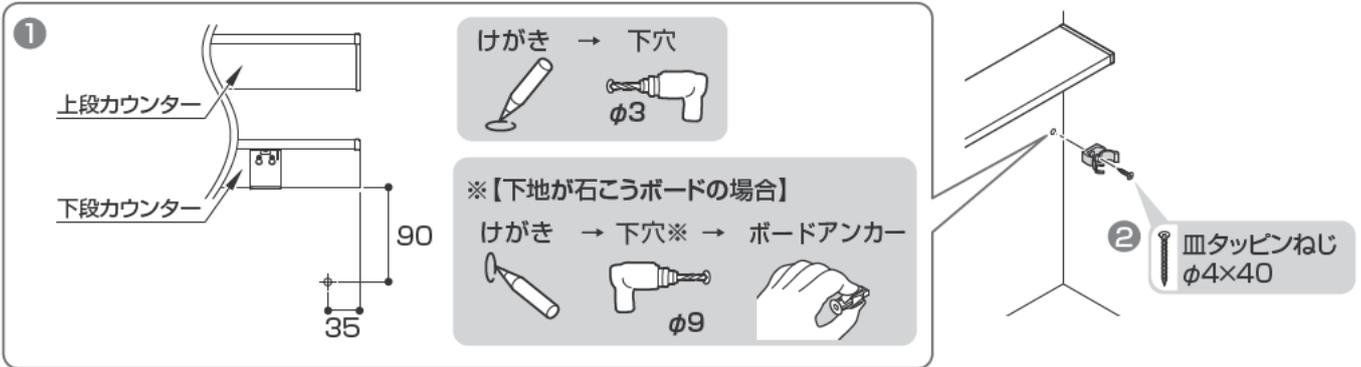
2 施工補助材を取り外す

3 水平確認

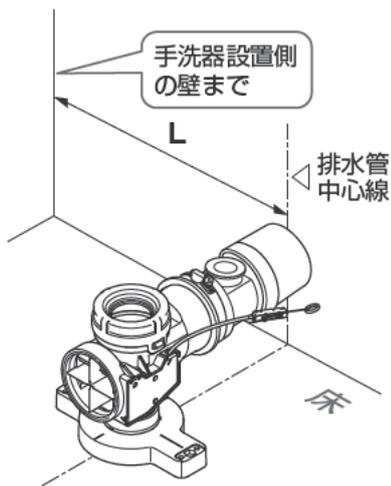
トラスタッピンねじ  
φ4×40(4本)

## 2 手洗器用排水ホースの接続

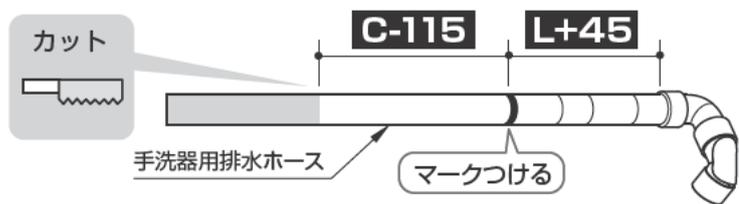
### 配管固定材の取り付け



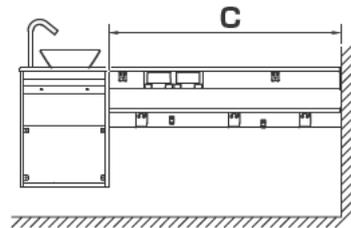
### 寸法Lの測定範囲



### ① 手洗器用排水ホースのカット



### 寸法Cの測定範囲



### ⚠ 注意

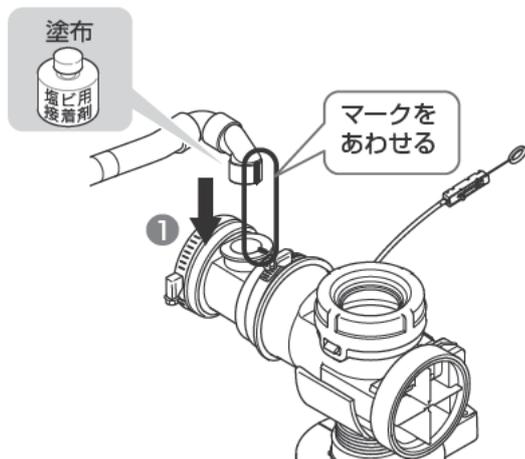
ホースカット時、押切タイプのパイプカッターは使用しない  
ホースの断面が変形し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

必ず守る



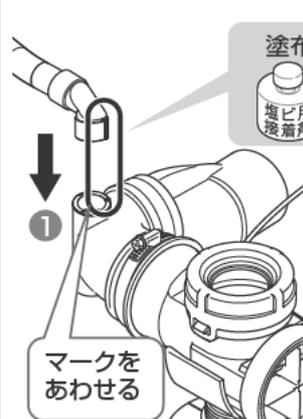
### ② 手洗器用排水ホースの接続

#### 後ろ抜き(リモデル)



#### 左右抜き(リモデル)

##### 【左勝手】



##### 【右勝手】



② 逆勾配にならないことを確認

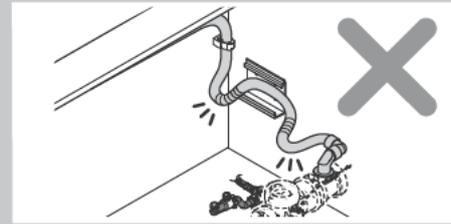
③ ホースを  
配管固定材に固定

マーク

逆勾配注意

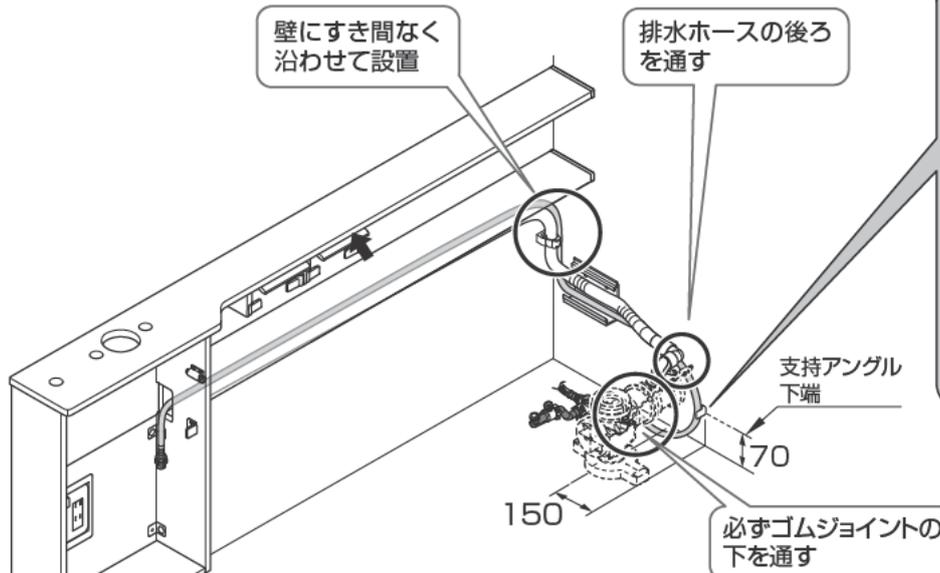
手洗器用排水ホースが  
たるまないように固定する

手洗器から異音発生のおそれがあります。



### 3 フレキホース(手洗器用)の接続

左勝手



ポイント

指定の位置に支持アングルを取り付ける  
給水ホースは支持アングルの内側で取り回す  
範囲をこえると給水ホースが便器の外に出ます。

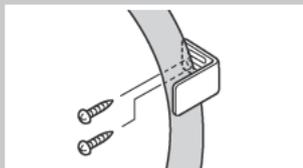


【壁裏補強なしの場合】  
同梱のボードアンカーを使用  
(下穴φ6)

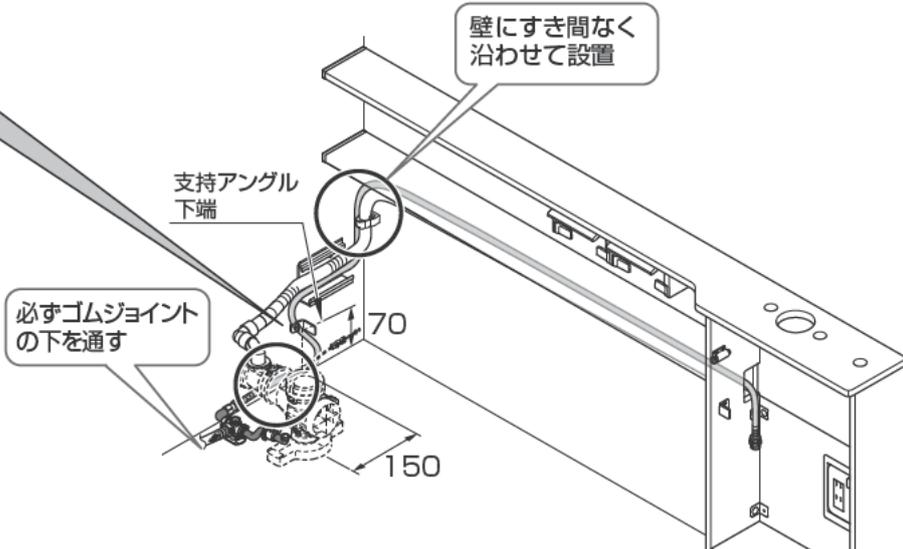
右勝手

ポイント

指定の位置に支持アングルを取り付ける  
給水ホースは支持アングルの内側で取り回す  
範囲をこえると給水ホースが便器の外に出ます。



【壁裏補強なしの場合】  
同梱のボードアンカーを使用  
(下穴φ6)



## 手洗器 S サイズ

Sサイズ

Mサイズ

## 4-S. 手洗器

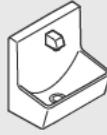
「手洗器Mサイズ」の場合  
P.55を参照してください。

## 1 排水金具の取り付け



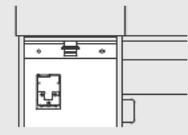
▶P.50

## 2 手洗器の取り付け



▶P.50

## 3 取付穴の下穴あけ



▶P.51

自動水栓の場合

## 4 配管固定材の固定



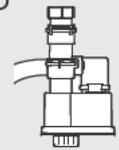
▶P.51

## 5 フレキホース(手洗器用)の接続



▶P.52

## 6 排水トラップの取り付け



▶P.54

4

手洗器

## 1 排水金具の取り付け

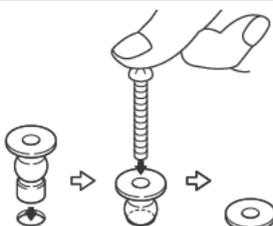
向きに  
注意

2

シリコン系  
シール剤

## ポイント

取り付けねじで押す



## 注意

排水金具ねじ部には、必ずシリコン系  
シール剤を塗布する

必ず守る

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の  
原因となります。

接続管を締め過ぎない



禁止

排水金具が破損し、水漏れして家財などをぬらす  
財産損害発生の原因となります。  
(手締めで止まる位置まで回し、工具にて半回転  
締め付けるくらいが適切です。)

## 2 手洗器の取り付け

トラスタッピンねじ  
φ4×30(2本)

1

けがき → 下穴※  
φ3カウンター上で  
折り曲げる  
225  
(固定位置)

型紙

2

※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー  
(オプション)

φ9



## 警告



**クッション材の張り付けは確実に**  
水などがキャビネット内に浸入してコンセントに  
かかり、火災や感電の原因となります。

必ず守る

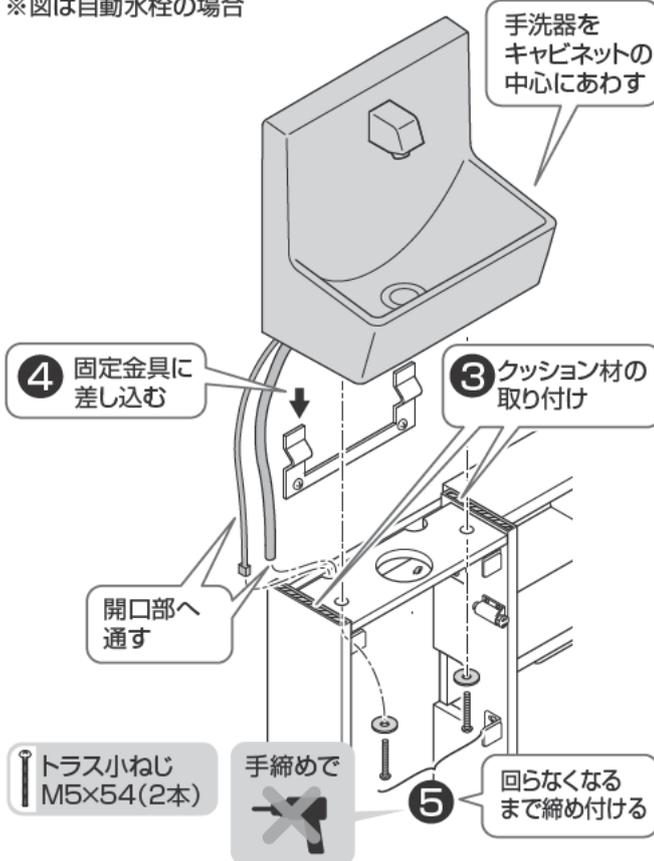
## 注意



**水栓部分を持たない**  
給水金具が破損して水漏れし、財産損害発生の  
原因となります。

禁止

※図は自動水栓の場合



## 注意

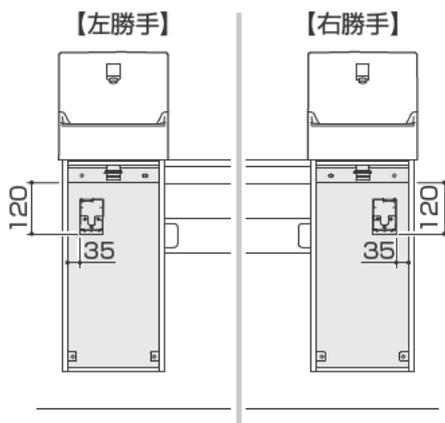


**固定ねじを締め過ぎない**  
天板が破損する原因となります。

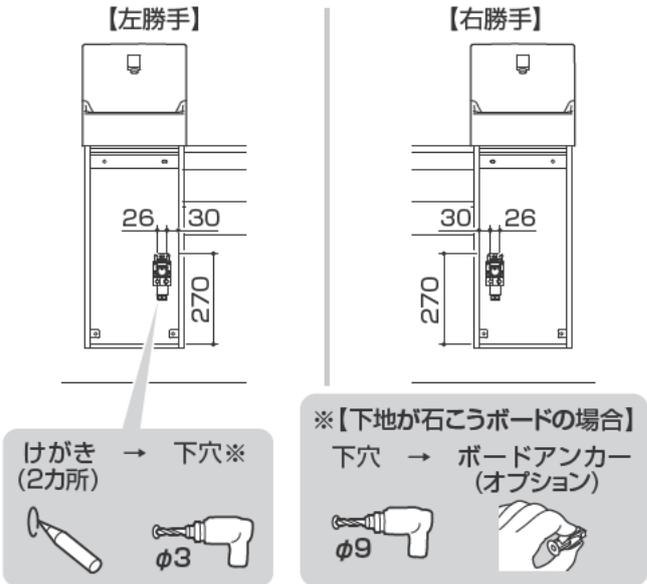
禁止

## 3 取付穴の下穴あけ

## コントローラー固定材取付位置

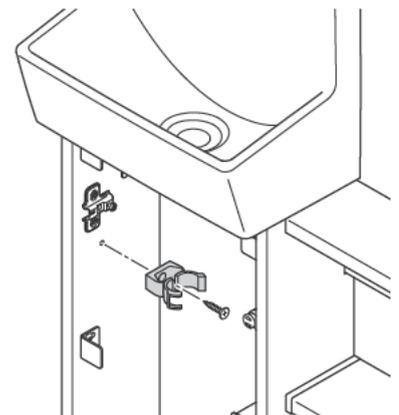


## 自動水栓の場合



## 4 配管固定材の固定

皿タッピンねじ  
φ4×16(1本)



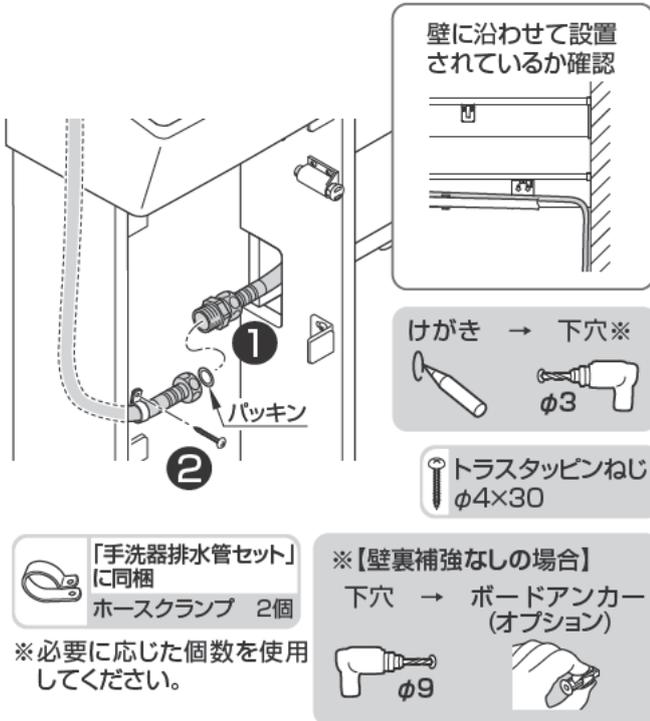
## MEMO

Sサイズ

Mサイズ

## 5 フレキホース(手洗器用)の接続

### ハンドル式水栓

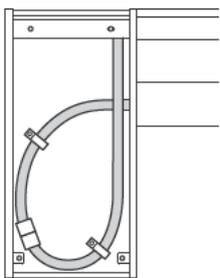


※必要に応じた個数を使用してください。

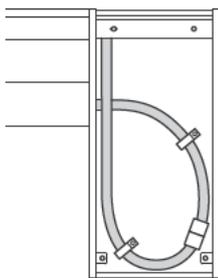
## フレキホース(手洗器用)の取り回し

### カウンター長さ1600の場合

#### 左勝手

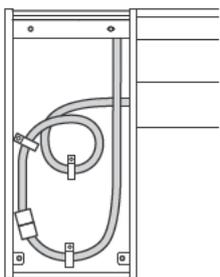


#### 右勝手

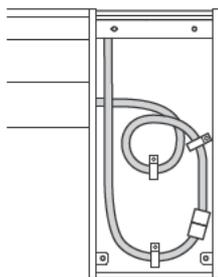


### カウンター長さ1190の場合

#### 左勝手



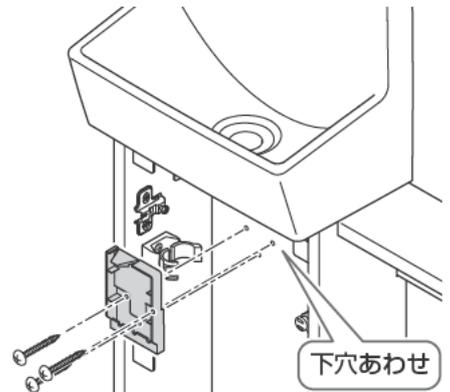
#### 右勝手



### 自動水栓

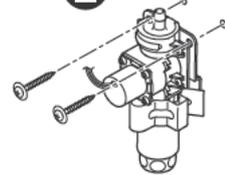
#### 1 コントローラー固定材の取り付け

トラスタッピンねじ  
φ4×30(3本)



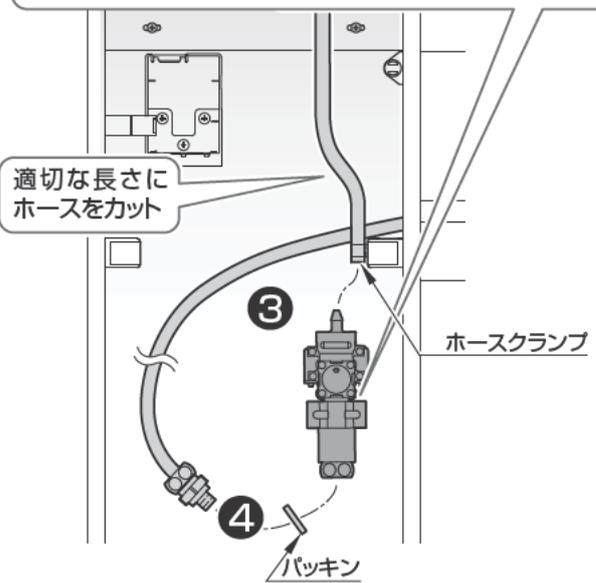
座付タッピンねじ  
φ4.5×38(2本)

2



下穴位置  
▶P.51参照

適切な長さに  
ホースをカット



#### 4 スパウト連結ホースの接続

##### ⚠ 注意



必ず守る

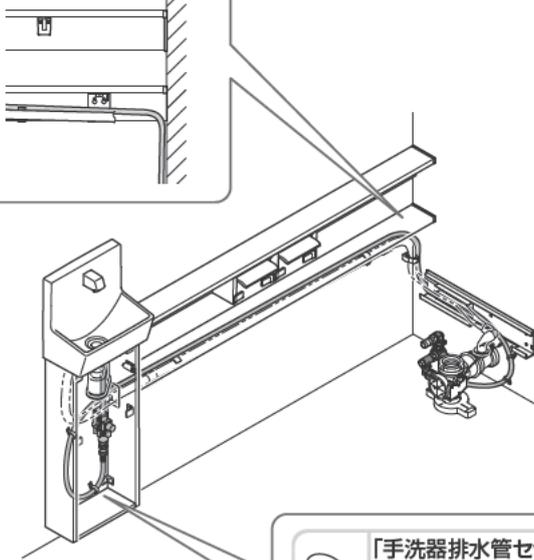
- ・スパウト連結ホースは、切断面が垂直になるようにカットする
- ・スパウト連結ホース接続後、確実に固定されていることを確認する

水漏れして家財などをめらす財産  
損害発生の原因となります。

90°

## ⑤ フレキホース (手洗器用) の固定

壁に沿わせて設置  
されているか確認



「手洗器排水管セット」  
に同梱  
ホースクランプ 2個

※必要に応じた個数を使用  
してください。

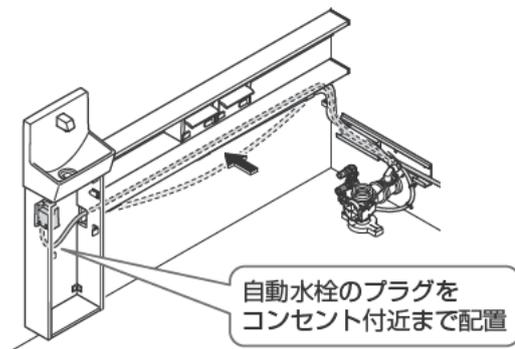
## ⑥

**注意**

接続はハウジ  
ングを持って  
差し込む



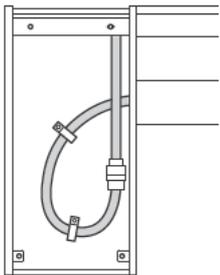
## ⑦ 電源コードの配置



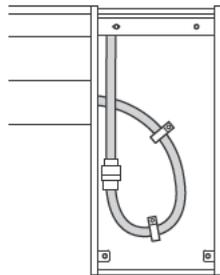
## フレキホース(手洗器用)の取り回し

### カウンター長さ1600の場合

左勝手

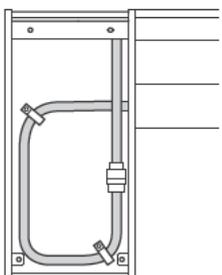


右勝手

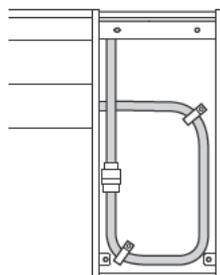


### カウンター長さ1190の場合

左勝手



右勝手

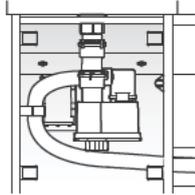


# MEMO

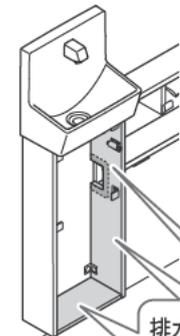
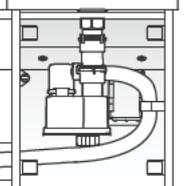
## 6 排水トラップの取り付け

### 取り付け状態

【左勝手】

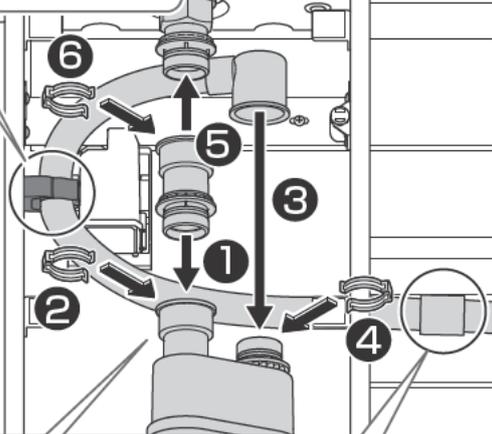


【右勝手】



排水ホースに  
接着剤塗布前、  
必要に応じて、  
内面や開口まわり  
を養生する

7 配管支持材にトラップ  
排水管を通す  
※固定はしない



1 3 5

注意

斜めに差し込まない  
水漏れして家財などを  
ぬらす財産損害発生  
の原因となります。

禁止



塗布  
塩ビ用  
接着剤

8

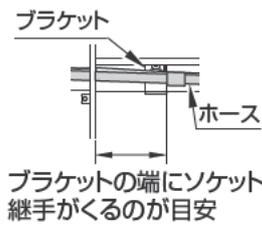
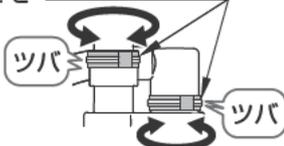


注意

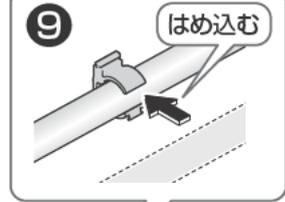
クイックファスナーが正しく固定されて  
いることを確認する  
全周にツバがかかっていることを確認する

必ず守る

水漏れして家財などを クイックファスナー  
ぬらす財産損害発生  
の原因となります。

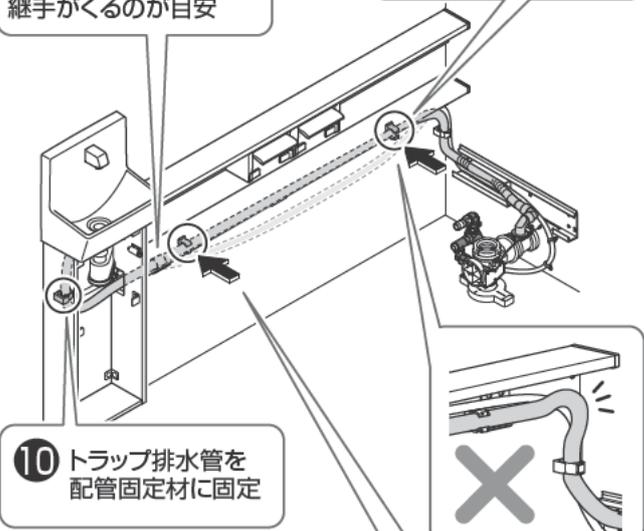


ブラケットの端にソケット  
継手がくるのが目安



9

はめ込む



10 トラップ排水管を  
配管固定材に固定

11 フレキホースを排水管の上のせ  
インシュロックで固定する  
※自動水栓の電源コードがある  
場合は排水管の上のせる

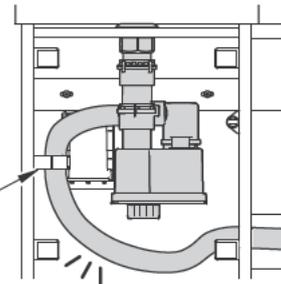
電源コード  
フレキホース

### 逆勾配注意

トラップ排水管がたるまないように固定する  
手洗器から異音発生のおそれがあります。



配管固定材



▶次はP.59 5.下段カウンター(取り外し) ^

## 手洗器 M サイズ

## 4-M. 手洗器

「手洗器Sサイズ」の場合  
P.50を参照してください。1 排水金具・手洗器  
固定金具の  
取り付け

▶ P.55

## 2 手洗器の取り付け



▶ P.55

## 3 水栓金具の取り付け



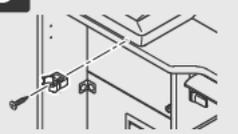
▶ P.56

## 4 取付穴の下穴あけ



▶ P.56

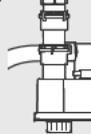
## 5 配管固定材の固定



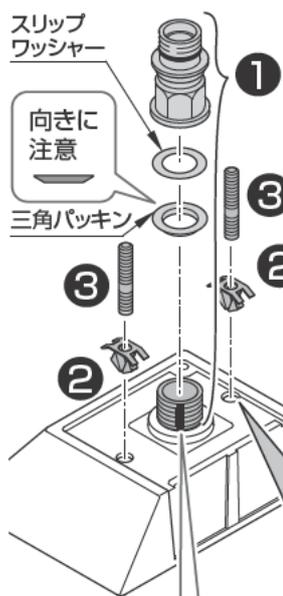
▶ P.56

6 フレキホース(手洗器用)  
の接続

▶ P.56

7 排水トラップの  
取り付け

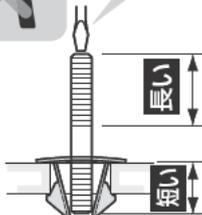
▶ P.58

1 排水金具・手洗器固定金具の  
取り付け

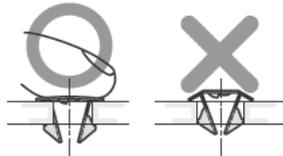
シリコーン系シール剤

ねじ部が見えなくなるまで  
締め付ける

手締めで



## ポイント

陶器とのすき間がなくなる  
まで、しっかり押し込む取付ボルトが途中までしか入ら  
ず、手洗器が固定できません。

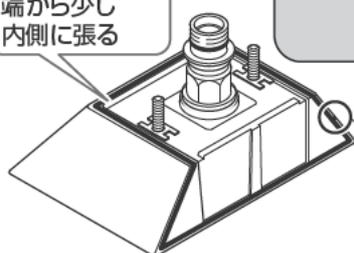
## 注意

排水金具ねじ部には、必ずシリコーン  
系シール剤を塗布する  
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の  
原因となります。

## 接続管を締め過ぎない

排水金具が破損し、水漏れして家財などをめらす  
財産損害発生の原因となります。  
(手締めで止まる位置まで回し、工具にて半回転  
締め付けるくらいが適切です。)

## 2 手洗器の取り付け

1 クッション材の  
取り付けはみ出さぬよう  
端から少し  
内側に張る

## 警告

クッション材の張り  
付けは確実に  
水などがキャビネット  
内に浸入してコンセント  
にかかり、火災や感  
電の原因となります。

必ず守る

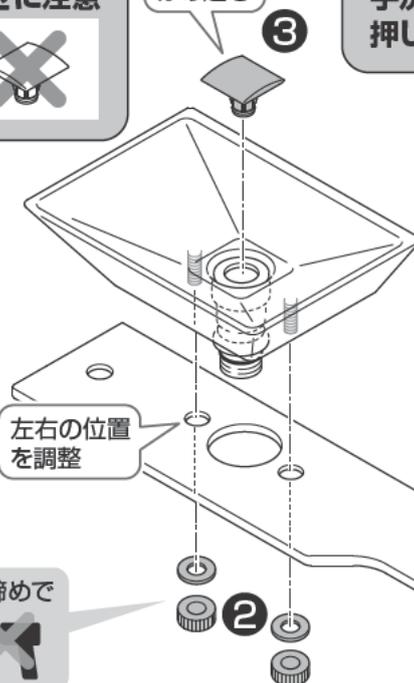
継ぎ目

## ポイント

向きに注意

しっかり  
はめ込む

## ポイント

手洗器を壁に  
押し当てる

手締めで

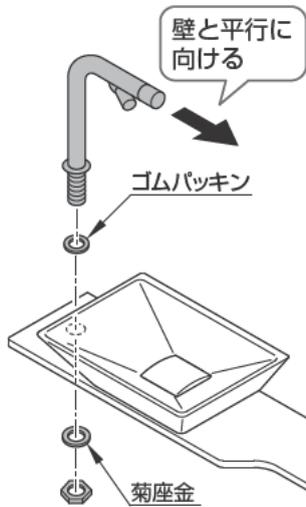


Sサイズ

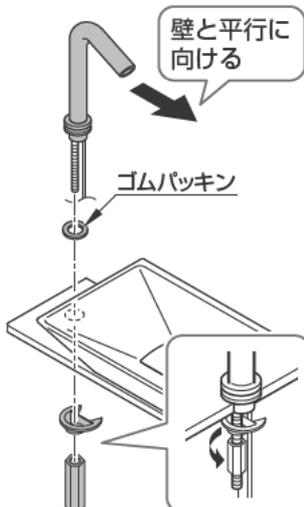
Mサイズ

### 3 水栓金具の取り付け

ハンドル式水栓



自動水栓



### 4 取付穴の下穴あけ

けがき → 下穴※



※【下地が石こうボードの場合】  
下穴 → ボードアンカー  
(オプション)

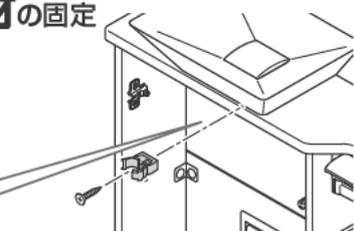


【けがき位置】  
ハンドル式水栓: 1カ所  
自動水栓: 6カ所  
電気温水器付自動水栓:  
10カ所

### 5 配管固定材の固定

皿タッピンねじ  
φ4×40 (1本)

配管固定材を固定する



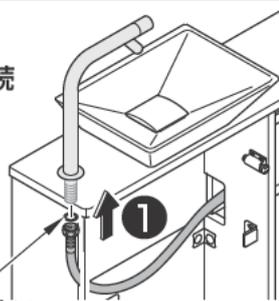
### 6 フレキホース (手洗器用)の接続

ハンドル式水栓

#### ② フレキホースの固定

「手洗器排水管セット」  
に同梱  
ホースクランプ 2個 パッキン

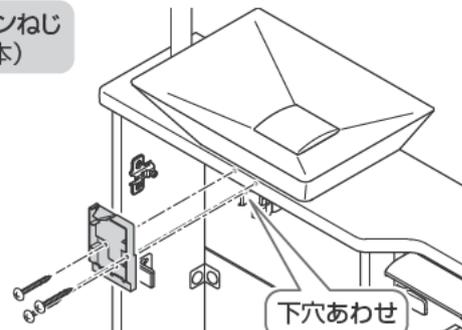
※必要に応じた個数を使用してください。  
フレキホースの取り回し▶次ページ参照



自動水栓・電気温水器付自動水栓

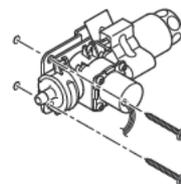
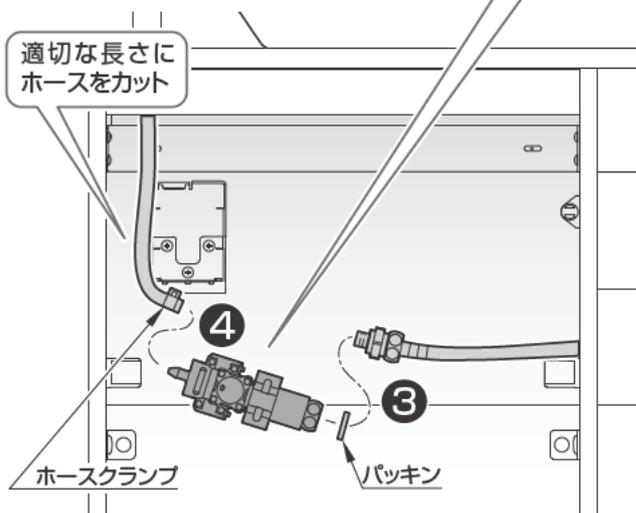
#### ① コントローラー固定材の取り付け

トラスタッピンねじ  
φ4×30 (3本)



座付タッピンねじ  
φ4.5×38 (2本)

②

適切な長さに  
ホースをカット

#### ④ スパウト連結ホースの接続

※電気温水器を設置する場合▶次ページ参照

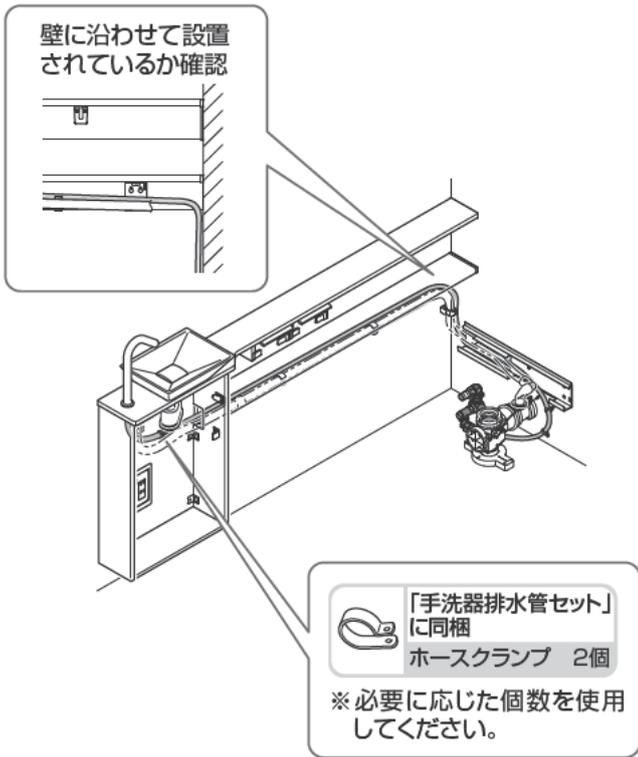
⚠ 注意

❗ 必ず守る

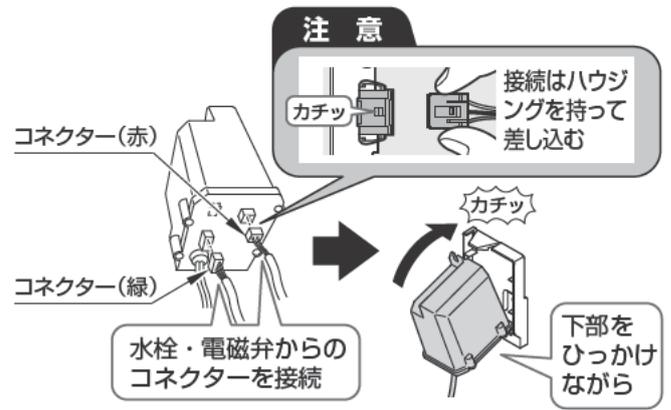
- スパウト連結ホースは、切断面が垂直になるようにカットする
  - スパウト連結ホース接続後、確実に固定されていることを確認する
- 水漏れして家財などをぬらす財産  
損害発生の原因となります。

90°

### 5 フレキホース (手洗器用) の固定

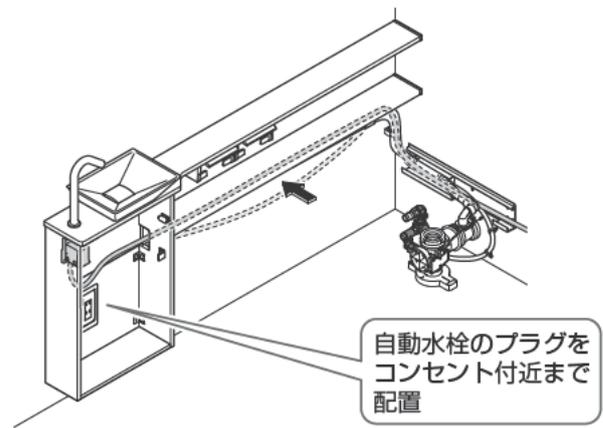


### 6



### 7 電源コード配置

※電気温水器付の場合不要



## フレキホース(手洗器用)の取り回し

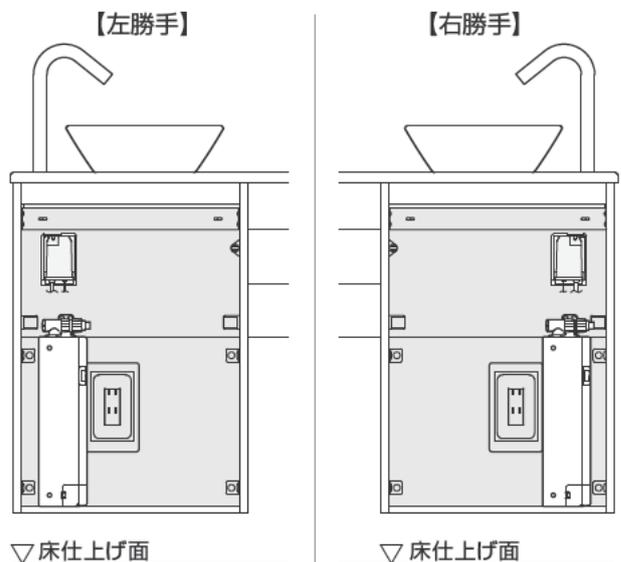
| カウンターをカットしない場合        |     |
|-----------------------|-----|
| 左勝手                   | 右勝手 |
|                       |     |
| 背板                    | 背板  |
| カウンターを100mm以上カットする場合※ |     |
| 左勝手                   | 右勝手 |
|                       |     |
| 背板                    | 背板  |

※フレキホース(手洗器用)を大便器の後でたるませるなど、調整しながら行ってください。

### 電気温水器付自動水栓

▶電気温水器施工説明書

### 電気温水器取付位置

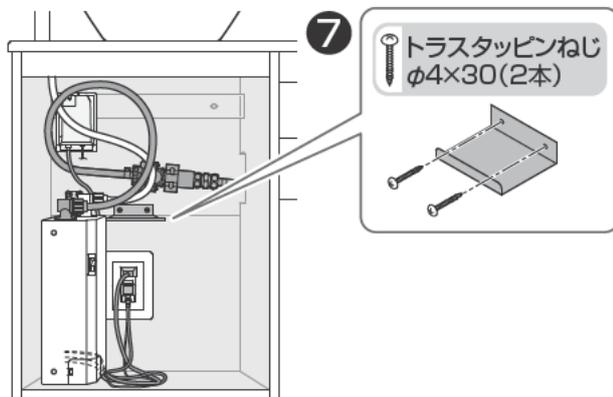
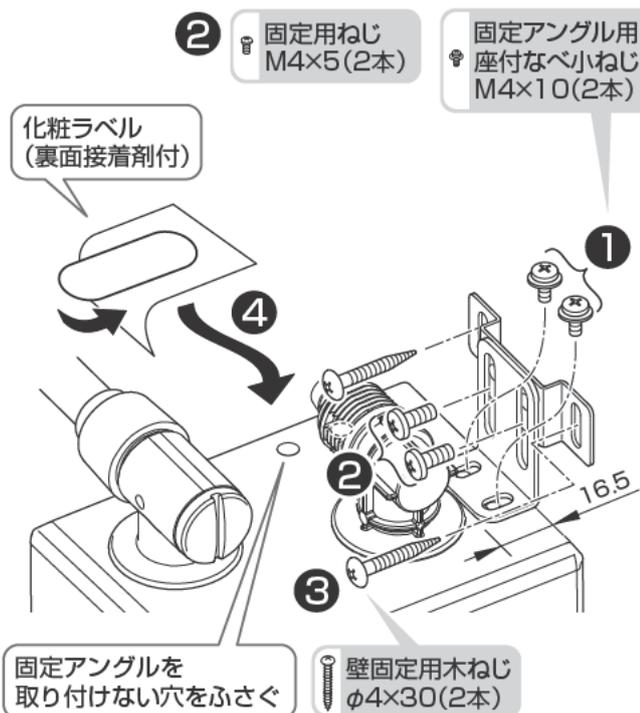


Sサイズ

Mサイズ

4

手洗器



▽床仕上げ面

## ⚠ 警告

電源コード・アース線は、キャビネットと電気温水器との間や、扉に挟まない  
コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源コードはコンセントプレートカバーの上を通さない  
結露水がコードを伝わりコンセントにかかり、火災や感電のおそれがあります。



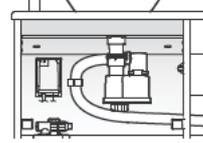
禁止

コンセント  
プレートカバー

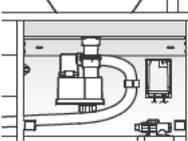
## 7 排水トラップの取り付け

## 取り付け状態

【左勝手】

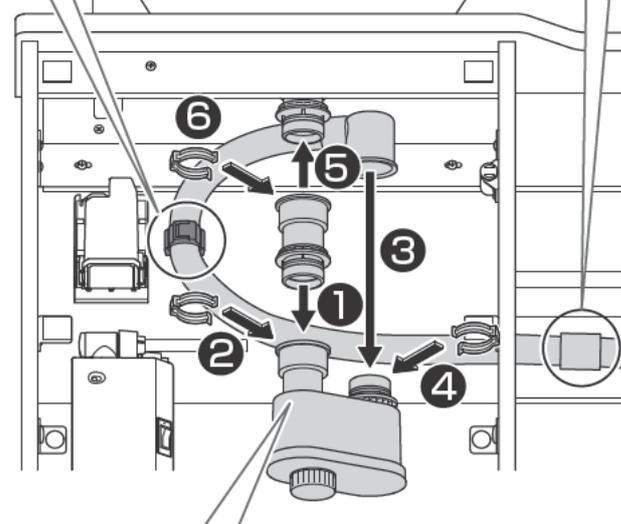
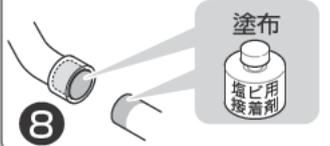


【右勝手】



接着剤塗布前、必要に応じて、内面や開口まわりを養生する

7 配管固定材に  
トラップ排水管を通す  
※固定はしない



1 3 5

## ⚠ 注意



禁止

斜めに差し込まない  
水漏れして家財などを  
ぬらす財産損害発生  
の原因となります。



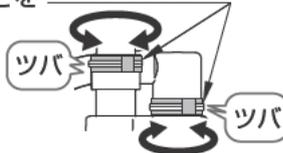
## ⚠ 注意

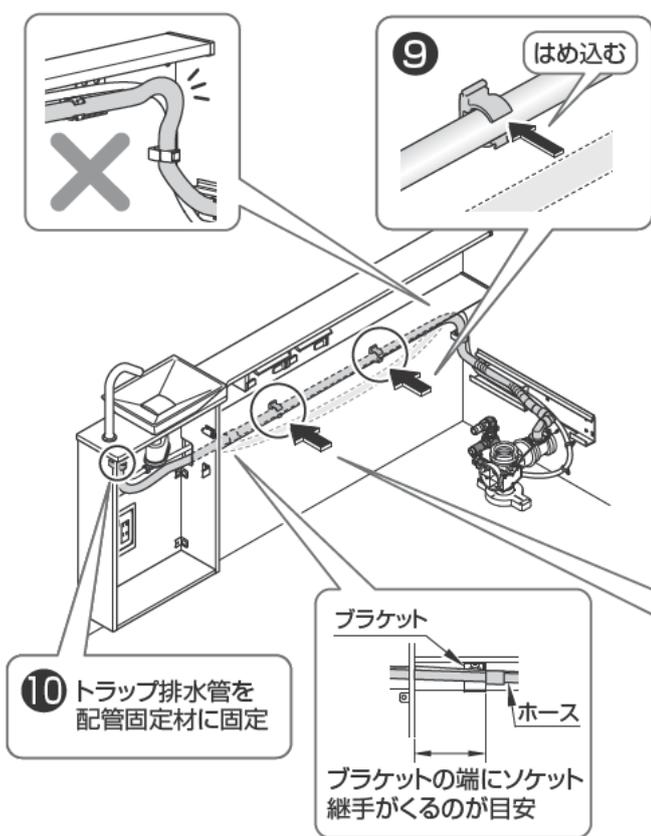


必ず守る

クイックファスナーが正しく固定されて  
いることを確認する  
全周にツバがかかっていることを確認する

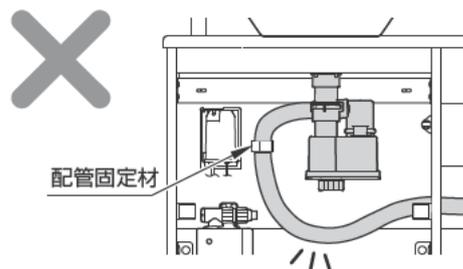
水漏れして家財などを クイックファスナー  
ぬらす財産損害発生  
の原因となります。



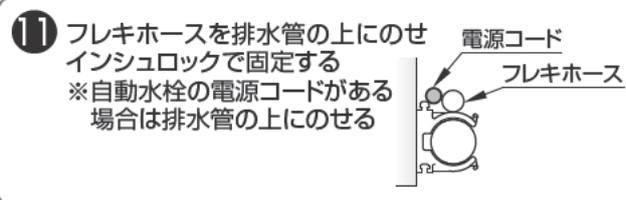


**逆勾配注意**

トラップ排水管がたるまないように固定する  
手洗器から異音発生のおそれがあります。



配管固定材



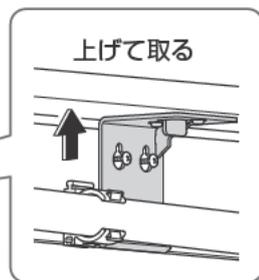
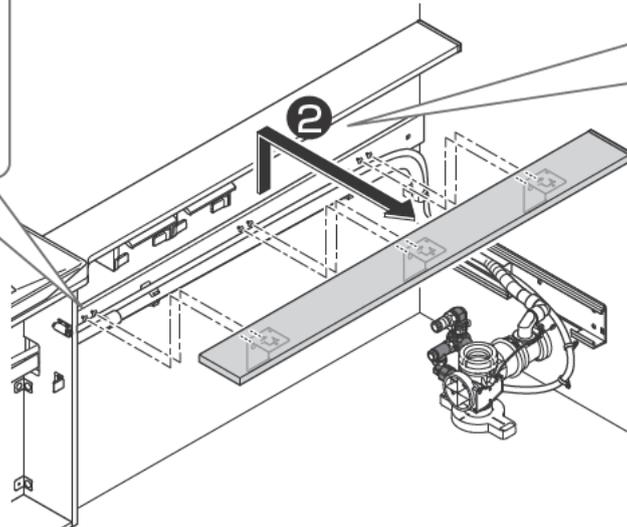
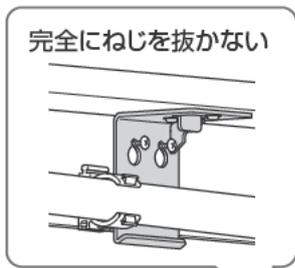
# 5. 下段カウンター (取り外し)

## 1

### 下段カウンターの取り外し

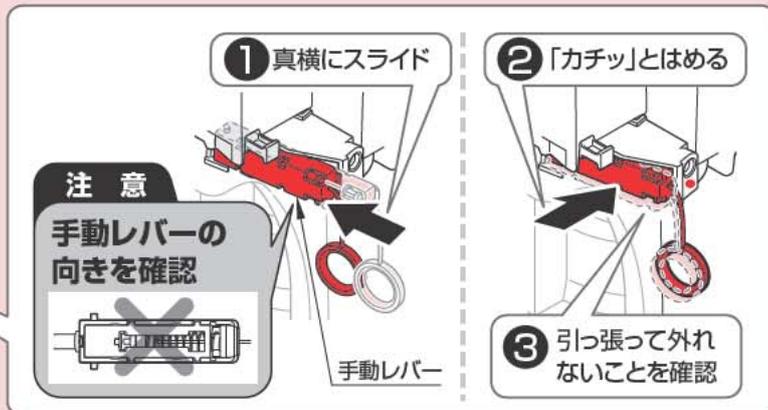
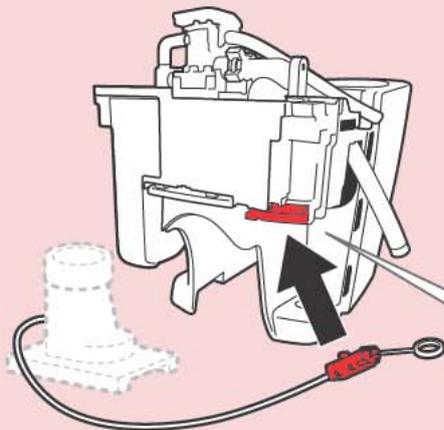
左勝手の場合のみ

#### ① ねじをゆるめる



# 6. 手動レバー

## 1 手動レバーの取り付け



ブザー音が鳴り、ランプがすべて点滅している場合



**1** 電源プラグを抜く

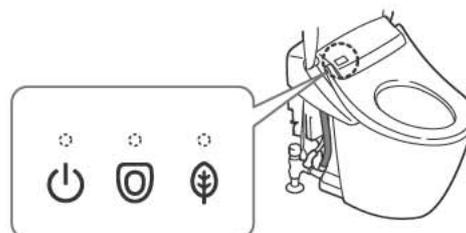


**2** **1** に従って手動レバーを取り付ける

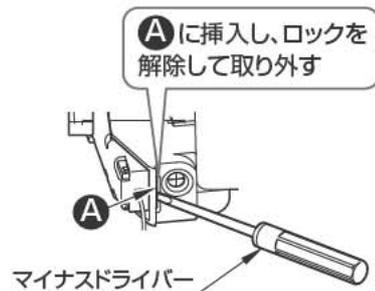
**3** 電源プラグを差し込む



**4** ブザー音が止まり、ランプの点滅がすべて消えていることを確認する



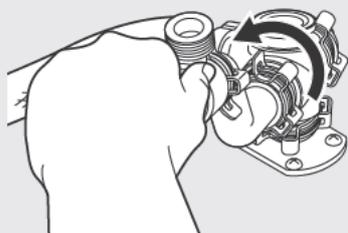
【手動レバーの取り外し】



# MEMO

# 7.大便器

## 1 大便器固定の準備



▶P.61

## 2 大便器の固定



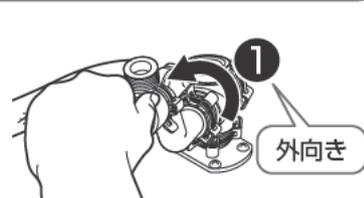
▶P.61

## 1 大便器固定の準備

後ろ抜きの場合



後ろ抜きリモテル・左右抜きリモテルの場合



**注意**

分岐金具を外向きにする

便器本体または分岐金具が干渉して破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



必ず実行

給水ホース、分岐金具を踏まないように注意する

取り回し例



## 2 便器排水口、排水ソケットの接続部周辺の汚れ除去



ゴムジョイントがきちんと取り付いていることを確認

## 2 大便器の固定



トラスタッピンねじ  
φ5×40(2本)

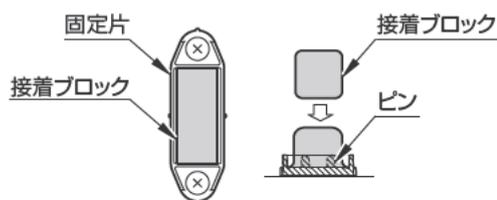
注意書(クラフト紙)

接着ブロック

クラフト紙に包んだ状態のまま

固定片

### 接着ブロックについて



※【施工直後にやり直す場合】  
形状を図のように整える

※接着ブロックの方向性は特になし

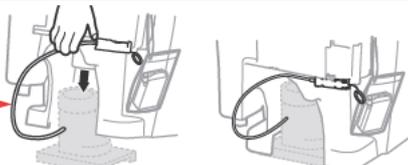
※【接着ブロックが固くなった場合】

気温が下がると固くなる場合があるため、20~30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用する

※詳細は、接着ブロックに付属の注意書を参照

### 手動レバーの取り回しかた

手動レバーを挟まないこと

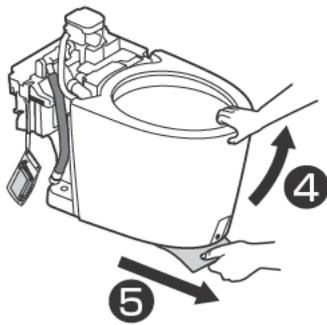


**注意**

※手動レバーは排水管の下を通す

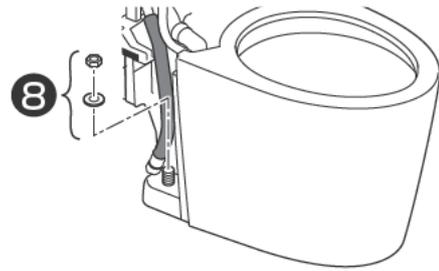
手動レバーを引っ張ったり、便器に挟まない

### ③ センターラベルを基準に便器の位置を微調整



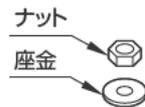
#### 注意

便器が床につくまで  
しっかり便器を押さえる



#### 注意

**ナットを確実に締める**  
締め過ぎて便器を割らない  
ように注意してください。



最後の締め増しは、手締めにより行い、便器  
を割らないように注意すること

### ⑨ 分岐金具を元の位置に戻す

## 8. ウォシュレット

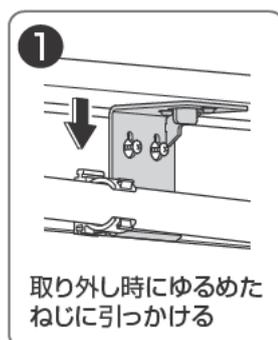
### 1 ウォシュレットの設置

▶ウォシュレット施工説明書

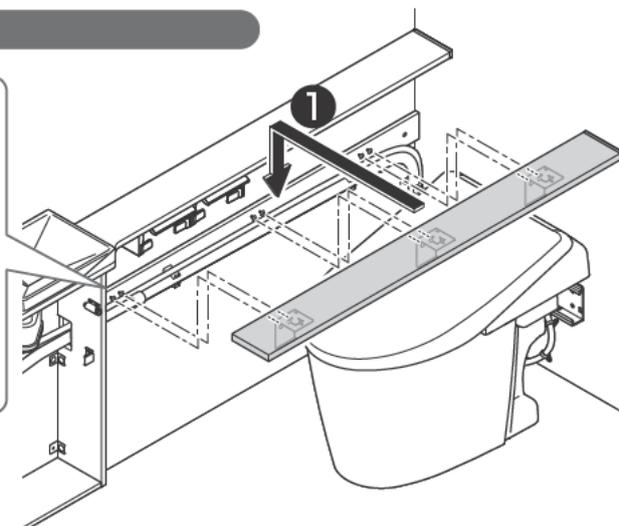
## 9. 下段カウンター（取り付け）

### 1 下段カウンターの取り付け

左勝手の場合のみ

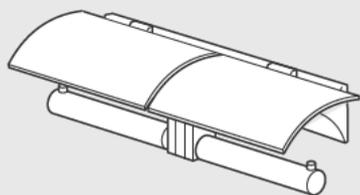


#### ② ねじ固定



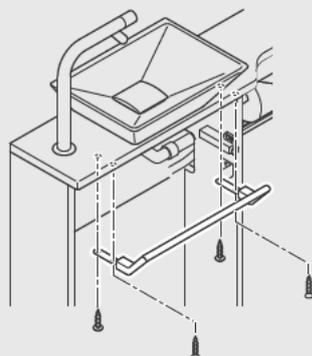
# 10.器具類

## 1 メタル製紙巻器



▶P.63

## 2 タオル掛け



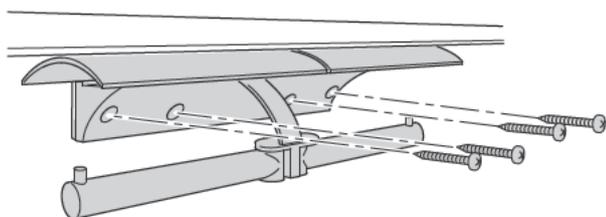
▶P.63

## 1 メタル製紙巻器

下穴



なべタッピンねじ  
φ4×40(4本)



## 2 タオル掛け

手洗器下取付タイプ

【手洗器Mサイズの場合】

カウンター裏面の下穴に固定  
※ねじの取付位置を間違えると、  
扉に傷がつきます。

手締めで



奥側

トラスタッピンねじ  
φ4×16 (2本)

手前側

皿タッピンねじ  
φ3×16 (2本)

【手洗器Sサイズの場合】

▶専用施工説明書

手締めで



トラス小ねじ  
M4×25(2本)

扉に下穴をあけ  
タオル掛けを取り付ける

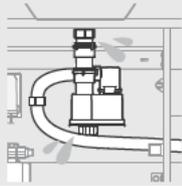


壁取付タイプ

▶専用施工説明書

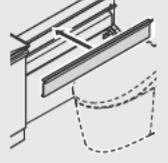
# 11. 確認・仕上げ

## 1 通水・水漏れの確認



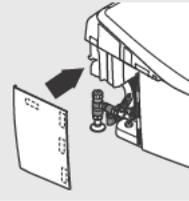
▶P.64

## 2 カバー類の取り付け・扉の調整



▶P.64

## 3 すっきりパネル



▶P.66

## 4 シリコン系シール剤の塗布



▶P.66

## 1 通水・水漏れの確認

ウォシュレットの施工説明書に従い、吐水確認(試運転)を行ってください。

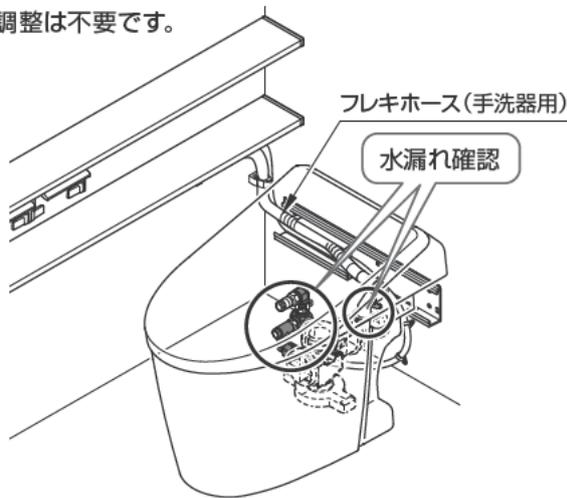
### 【確認のポイント】

□給水・排水接続部(溶着部、クイックファスナー部)からの水漏れがないか

□流量は少なくないか

※流量が少ない場合は、止水栓を閉めて、フィルターを掃除してください。

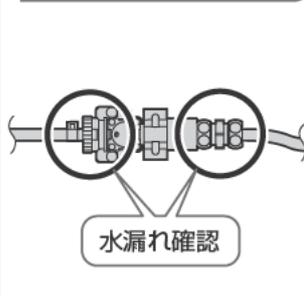
止水栓に定流量弁が内蔵されているため、流量の調整は不要です。



### 排水部



### 給水部

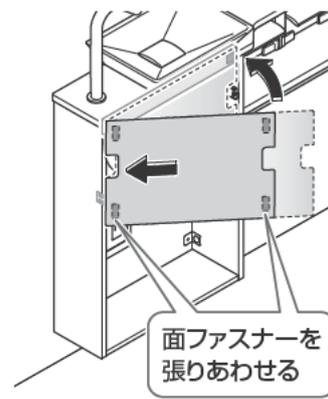


※自動水栓の光電センサーLEDは、電源を入れてから約10分間は点滅もしくは感知のたびに点滅しますが、その後は点滅は消え、正常に作動します。

## 2 カバー類の取り付け・扉の調整

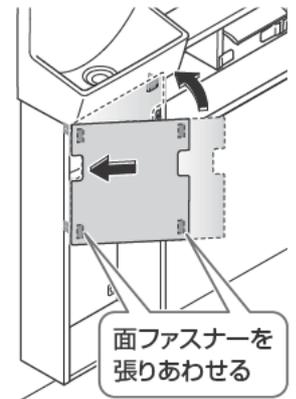
### 1 キャビネットカバー

手洗器Mサイズ



面ファスナーを張りあわせる

手洗器Sサイズ



面ファスナーを張りあわせる

### ⚠ 注意



取り付け時は強く押し込む  
落下してけがの原因となります。

必ず守る

### 2 扉の調整

【上下】

回し過ぎない

ゆるめる ①

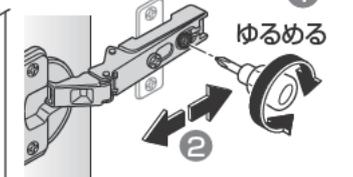
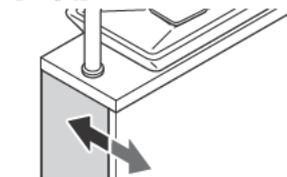


【扉がゆるんだとき】



① 締めつける

【前後】

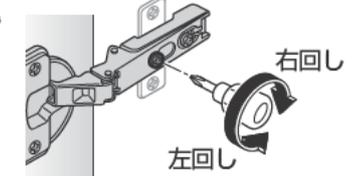
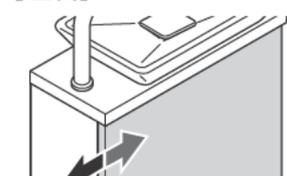


①

ゆるめる

②

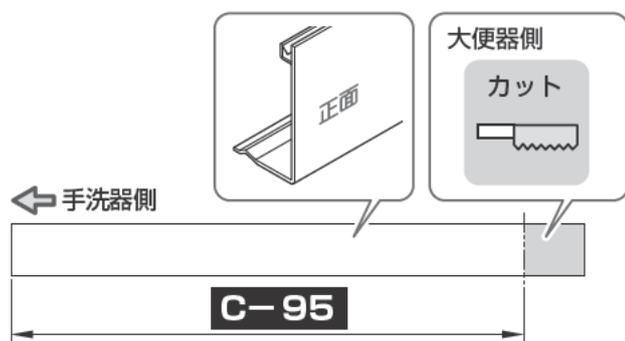
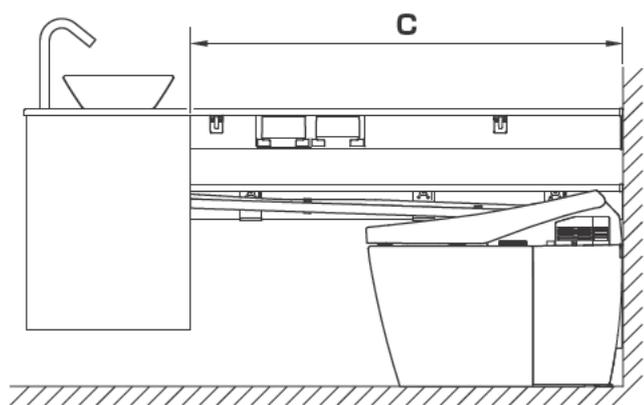
【左右】



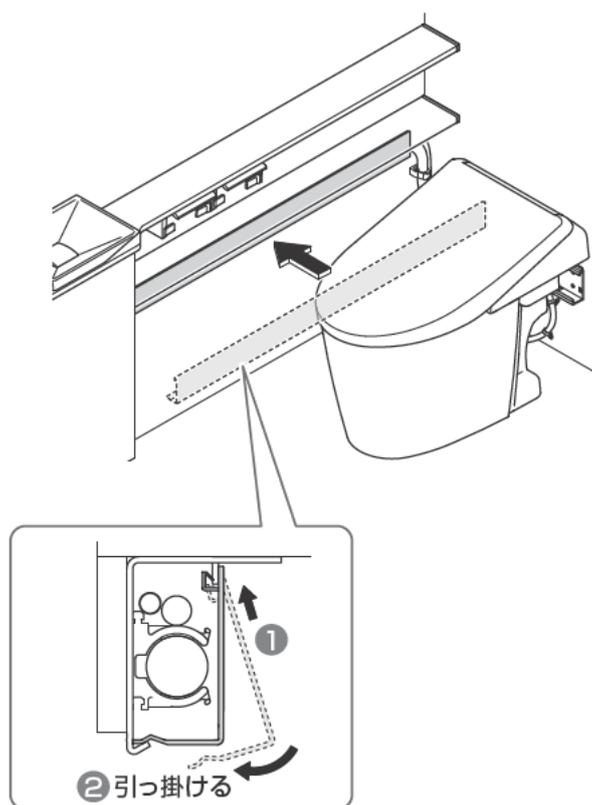
右回し

左回し

## ③ 配管カバー(カウンター側)

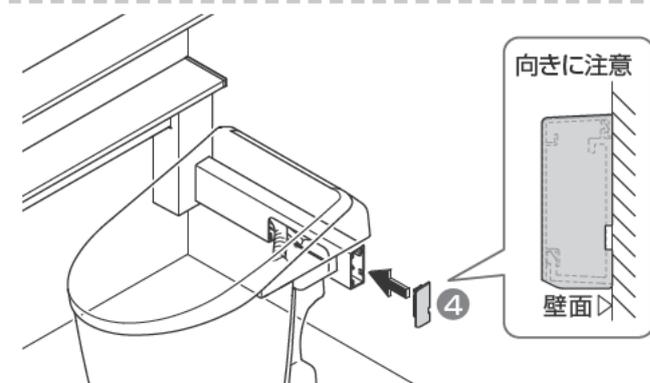
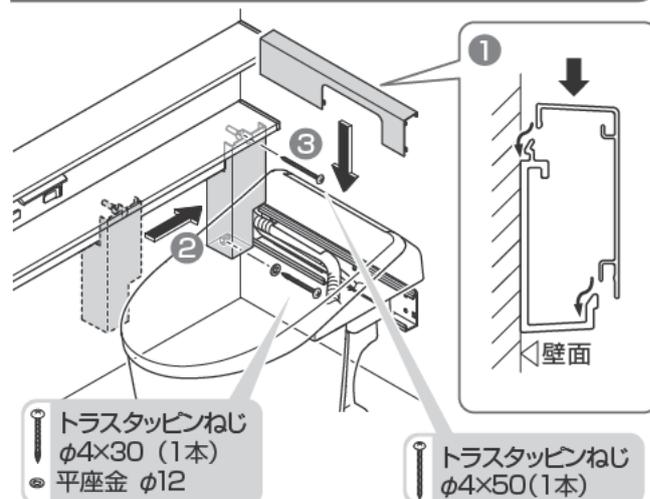


## ④ 配管カバー(カウンター側)

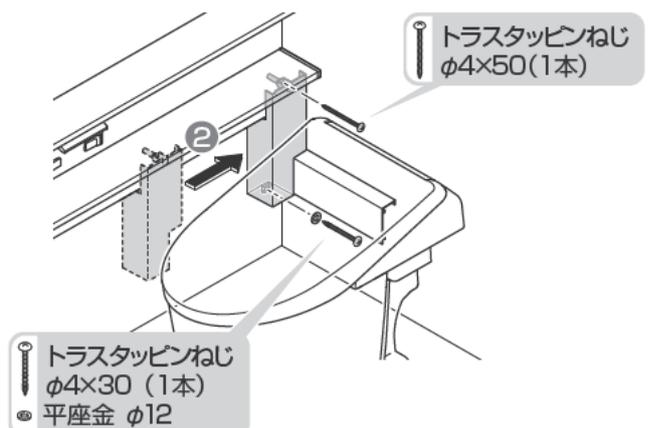
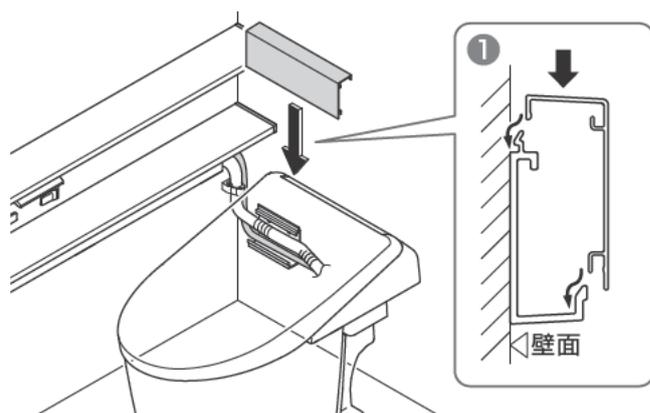


## ⑤ 配管カバー(間口側)

後ろ抜き(排水心高さ120mm) 給水隠ぺいタイプ・便器品番:CS989BDP



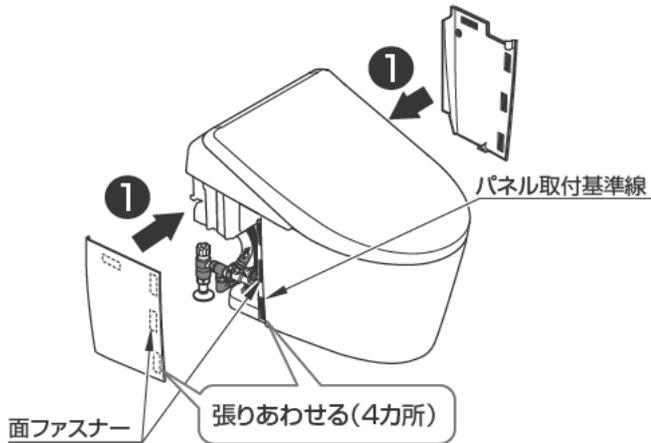
後ろ抜きモデル・左右抜きモデル 給水露出タイプ・便器品番:CS989BDX



### 3 すっきりパネル

ウォシュレット本体の試運転確認後に取り付ける

後ろ抜き(排水心高さ120mm) 給水隠ぺいタイプ・便器品番:CS989BDP



後ろ抜きモデル・左右抜きモデル 給水露出タイプ・便器品番:CS989BDX

#### ふさぎ板について

排水抜き方向に応じて 〇の部分を取り外してから取り付ける

##### 排水管

##### 【すっきりパネル(左)】

手洗いふさぎ板  
排水ふさぎ板  
給水ふさぎ板

左抜き  
ねじ: 3カ所

右抜き、後ろ抜き  
ねじ: 1カ所

##### 【すっきりパネル(右)】

右抜き  
ねじ: 3カ所

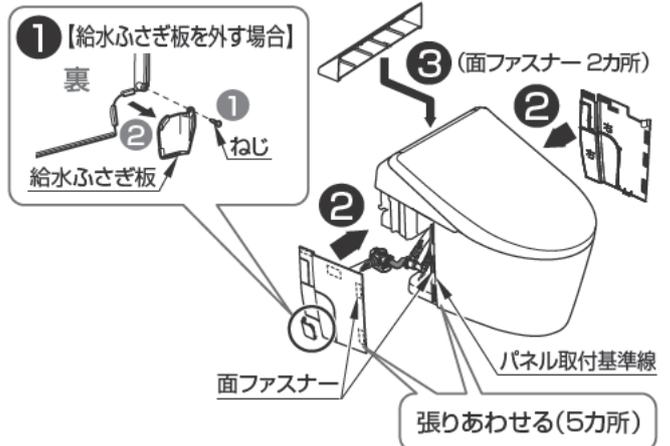
##### 手洗器

##### 【すっきりパネル(左)】

左勝手  
ねじ: 1カ所

##### 【すっきりパネル(右)】

右勝手  
ねじ: 1カ所



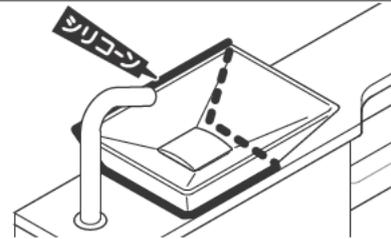
### 4 シリコン系シール剤の塗布

※TOTOおすすめシリコン系シール剤(別途手配)  
メジシール(クリア): YG903S

手洗器 Mサイズ

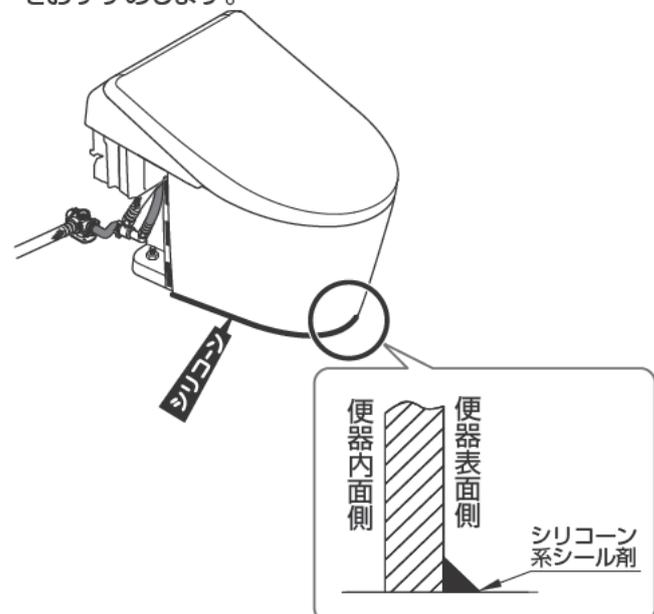
#### 警告

シリコン系シール剤の塗布  
(コーキング)は確実に  
必ず守る 水などがキャビネット内に浸入してコンセント  
にかかり、火災や感電の原因となります。



#### 大便器

水や小水の浸入を防止するため、便器床設置部周囲に  
防カビ性の透明シリコン系シール剤を塗布すること  
をおすすめします。



# MEMO

工事店様へ

このたびはネオレストハイブリッドシリーズ手洗器付(ワンデーリモデル)を施工いただき  
ありがとうございました。

UGX1141

